

千代田区高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 策定のためのアンケート調査報告書

平成29年3月

千代田区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の概要	3
2. 報告書を利用するにあたって	7
第2章 調査結果	9
1. 基本属性	11
2. 家族や生活状況について	14
3. からだを動かすことについて	27
4. 食べることについて	42
5. 毎日の生活について	54
6. 地域での活動について	76
7. たすけあいについて	85
8. 健康について	101
9. 経済状況について	110
10. 将来の生活について	113
資料（調査票）	123

第 1 章 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

日常生活圏域ごとの高齢者の生活実態や課題等を把握し、千代田区高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画策定の基礎資料とする。

(2) 調査対象

区内在住の要介護 1 ～ 5 の認定を受けていない 65 歳以上の人 (4,000 人)

(3) 調査方法

郵送配付・郵送回収

(4) 調査期間

平成 29 年 2 月 2 日～2 月 16 日

(5) 回収結果

配付数 A	回収数 B	回収率 C (B/A)	有効回収数 D	有効回収率 E (D/A)
4,000 (2,000 人×2 圏域)	2,294	57.4%	2,284	57.1%

第2章 調査結果

(6) 調査項目

調査項目	問番号	設 問
1. 基本属性	—	調査できない理由
	問 1	調査票の記入日
	問 2	調査票の記入者
2. 家族や生活状況について	問 3	家族構成
	問 4	介護・介助の必要性
	問 4-1	介護・介助が必要になった主な原因
	問 4-2	主な介護・介助者
	問 5	経済的にみた現在の暮らしの状況
	問 6	居住形態
	問 6-1	必要な居住支援
	問 7	住まいの困りごとの有無
	問 7-1	住まいの困りごとの内容
3. からだを動かすことについて	問 8	階段を手すりや壁をつたわずに昇ること
	問 9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること
	問 10	15 分位続けて歩くこと
	問 11	過去 1 年間の転んだ経験
	問 12	転倒に対する不安
	問 13	週 1 回以上の外出
	問 14	昨年と比べた外出回数
	問 15	外出を控えること
	問 15-1	外出を控えている理由
	問 16	外出する際の移動手段
4. 食べることに ついて	問 17	身長・体重
	問 18	半年前と比べた固いものの食べにくさ
	問 19	お茶や汁物等でむせること
	問 20	口の渇き
	問 21	毎日の歯磨き
	問 22	噛み合わせ
	問 23	歯の数と入れ歯の利用状況
	問 23-1	毎日の入れ歯の手入れ
	問 24	6 か月間での 2 ～ 3 kg 以上の体重減少
	問 25	誰かと食事をともにする機会

調査項目	問番号	設 問
5. 毎日の生活について	問 26	物忘れの多さ
	問 27	自分で電話番号を調べて電話をかけること
	問 28	今日が何月何日かわからない時
	問 29	バスや電車を使って1人で外出すること
	問 30	自分で食品・日用品の買物をする事
	問 31	自分で食事の用意をすること
	問 32	自分で請求書の支払いをすること
	問 33	自分で預貯金の出し入れをすること
	問 34	年金などの書類の記入
	問 35	新聞を読むこと
	問 36	本や雑誌を読むこと
	問 37	健康についての記事や番組への関心
	問 38	友人の家を訪ねること
	問 39	家族や友人の相談にのること
	問 40	病人を見舞うこと
	問 41	若い人に自分から話しかけること
	問 42	趣味の有無
	問 43	生きがいの有無
6. 地域での活動について	問 44	会・グループ等への参加頻度
	問 45	地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向
	問 46	地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向
7. たすけあいについて	問 47	心配事や愚痴を聞いてくれる人
	問 48	心配事や愚痴を聞いてあげる人
	問 49	病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人
	問 50	看病や世話をしてあげる人
	問 51	家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手
	問 52	友人・知人と会う頻度
	問 53	1 か月間に会った友人・知人の人数
	問 54	よく会う友人・知人との関係
	問 55	昼間の災害時または急病時に手助けを頼める人

第2章 調査結果

調査項目	問番号	設 問
8. 健康について	問 56	健康状態
	問 57	幸福度
	問 58	1 か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと
	問 59	1 か月間に物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめなかったこと
	問 60	飲酒の状況
	問 61	喫煙の状況
	問 62	現在治療中または後遺症のある病気
9. 経済状況について	問 63	平成 28 年中の収入の種類
	問 64	個人の平成 28 年中の総収入
10. 将来の生活について	問 65	将来希望する暮らし
	問 66	介護が必要になったときの住まいの希望
	問 66-1	介護が必要になったときの建て替えやリフォームの予定
	問 66-2	住み替える場合の課題
	問 67	安全に安心して生活していくために必要なこと

2. 報告書を利用するにあたって

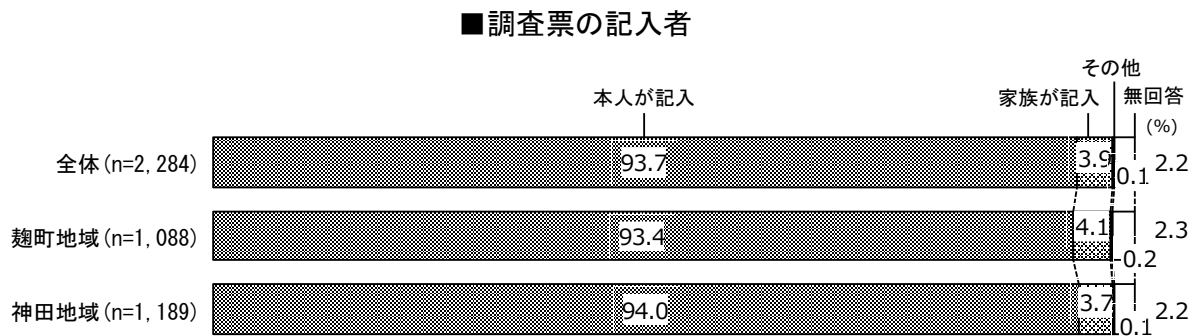
- ・図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- ・回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- ・図・表中の「-」は回答者が皆無のものである。
- ・複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- ・質問において、性別、年齢別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- ・図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

第 2 章 調査結果

1. 基本属性

(1) 調査票の記入者（問2）

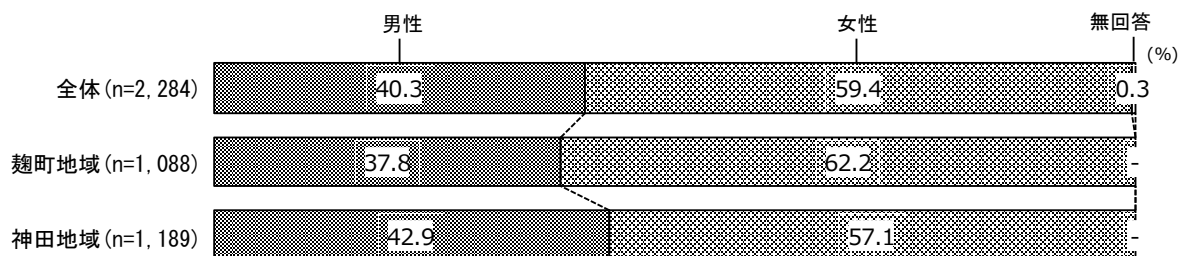
調査票の記入者は、「本人が記入」が93.7%、「家族が記入」が3.9%となっている。なお、圏域による大きな違いはみられない。



(2) 性別

性別は、「男性」が40.3%、「女性」が59.4%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「女性」(62.2%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「男性」(42.9%)が麴町地域に比べ多くなっている。

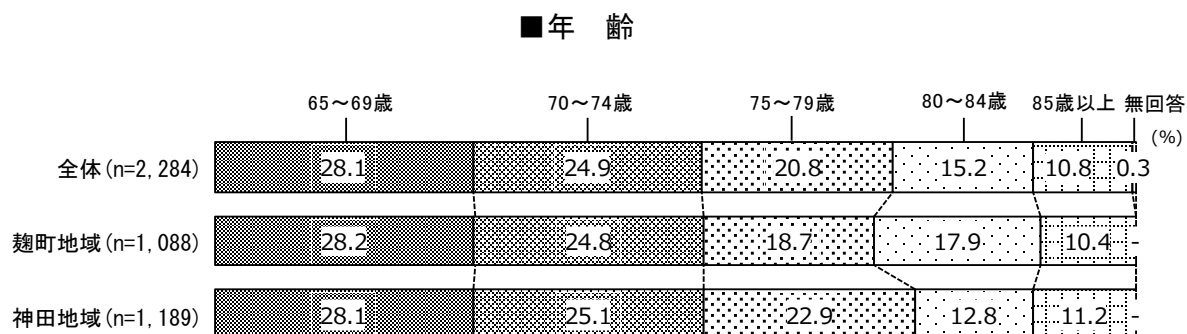


第2章 調査結果

(3) 年齢

年齢は、「65～69歳」(28.1%)が最も多く、「70～74歳」(24.9%)、「75～79歳」(20.8%)と続いている。なお、前期高齢者(65～74歳)は53.0%、後期高齢者(75歳以上)は46.8%、平均は74.9歳となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「80～84歳」(17.9%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「75～79歳」(22.9%)が麴町地域に比べ多くなっている。



(4) 圏域

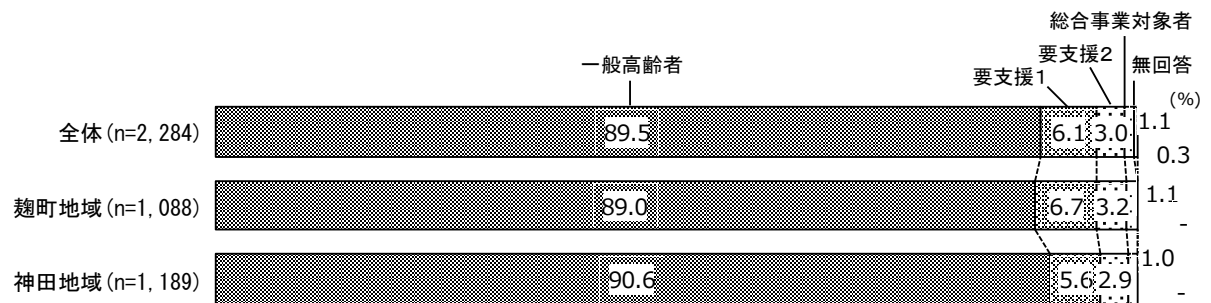
圏域は、「麴町地域」が47.6%、「神田地域」が52.1%となっている。



(5) 認定状況

認定状況は、「一般高齢者」が89.5%、「要支援1」が6.1%、「要支援2」が3.0%、「総合事業対象者」が1.1%となっている。なお、圏域による大きな違いはみられない。

■ 認定状況

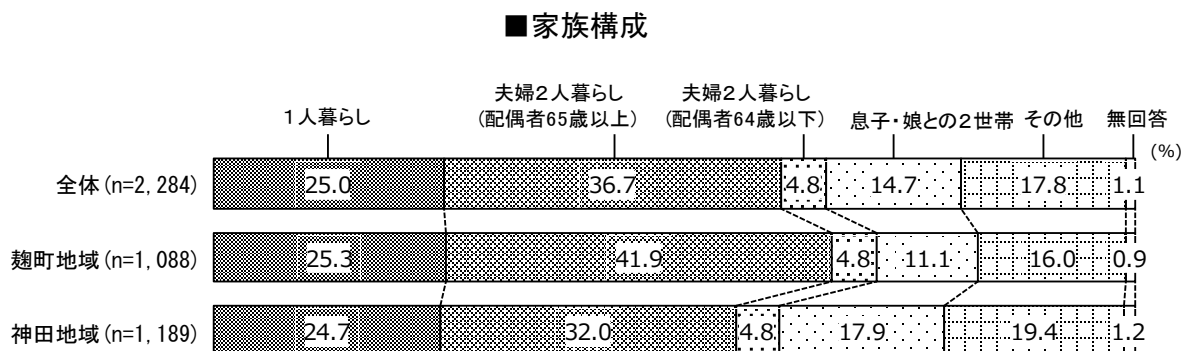


2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成（問3）

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（36.7%）が最も多く、次いで「1人暮らし」（25.0%）が多くなっている。

圏域別にみると、麴町地域は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（41.9%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「息子・娘との2世帯」（17.9%）が麴町地域に比べ多くなっている。



性別にみると、男性は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（43.5%）と「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（10.1%）が女性に比べて多く、女性は「1人暮らし」（31.3%）が男性に比べて多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「1人暮らし」（31.1%）が65～74歳に比べて多くなっている。

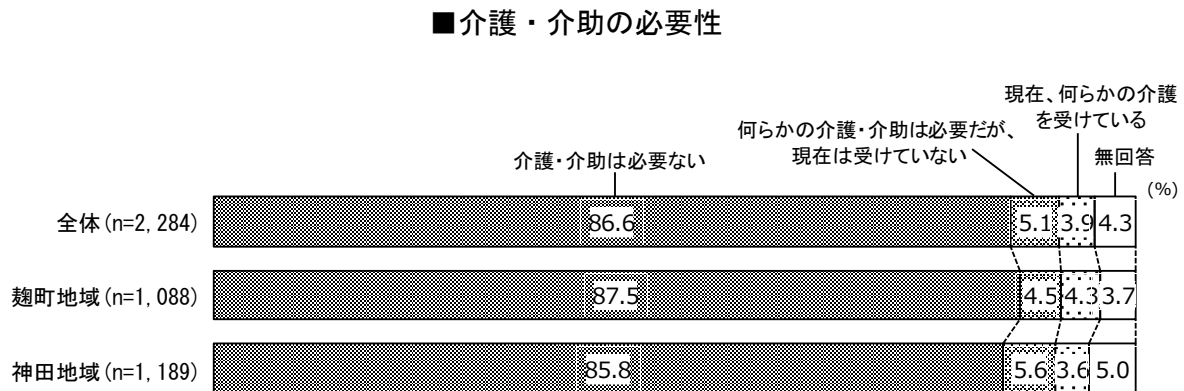
認定状況別にみると、一般高齢者は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多く、総合事業対象者、要支援1、要支援2は「1人暮らし」が最も多くなっている。

		(%)				
		1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他
全体	(n=2,284)	25.0	36.7	4.8	14.7	17.8
性別	男性 (n=921)	15.7	43.5	10.1	13.4	16.3
	女性 (n=1,356)	31.3	32.1	1.2	15.6	18.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	19.6	37.1	7.4	12.9	22.2
	75歳以上 (n=1,068)	31.1	36.2	1.9	16.7	12.7
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	22.5	38.0	5.1	14.9	18.4
	総合事業対象者 (n=24)	37.5	29.2	4.2	12.5	16.7
	要支援1 (n=139)	47.5	23.0	1.4	15.1	11.5
	要支援2 (n=69)	49.3	27.5	1.4	7.2	13.0

(2) 介護・介助の必要性 (問4)

介護・介助の必要性は、「介護・介助は必要ない」が86.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.1%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が3.9%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「介護・介助は必要ない」(89.6%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、「介護・介助は必要ない」が65～74歳は93.2%、75歳以上は79.1%となっている。

認定状況別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が一般高齢者でも3.9%みられ、要支援1、2では1割台半ばから2割弱となっている。

		(%)			
		介護・介助は必要ない	現在、何らかの介護を受けていない	介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている
全体	(n=2,284)	86.6	5.1	3.9	4.3
性別	男性 (n=921)	89.6	4.3	2.0	4.1
	女性 (n=1,356)	84.6	5.6	5.3	4.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	93.2	2.3	0.9	3.6
	75歳以上 (n=1,068)	79.1	8.2	7.4	5.2
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	91.0	3.9	1.3	3.9
	総合事業対象者 (n=24)	79.2	8.3	4.2	8.3
	要支援1 (n=139)	46.8	18.0	26.6	8.6
	要支援2 (n=69)	40.6	14.5	37.7	7.2

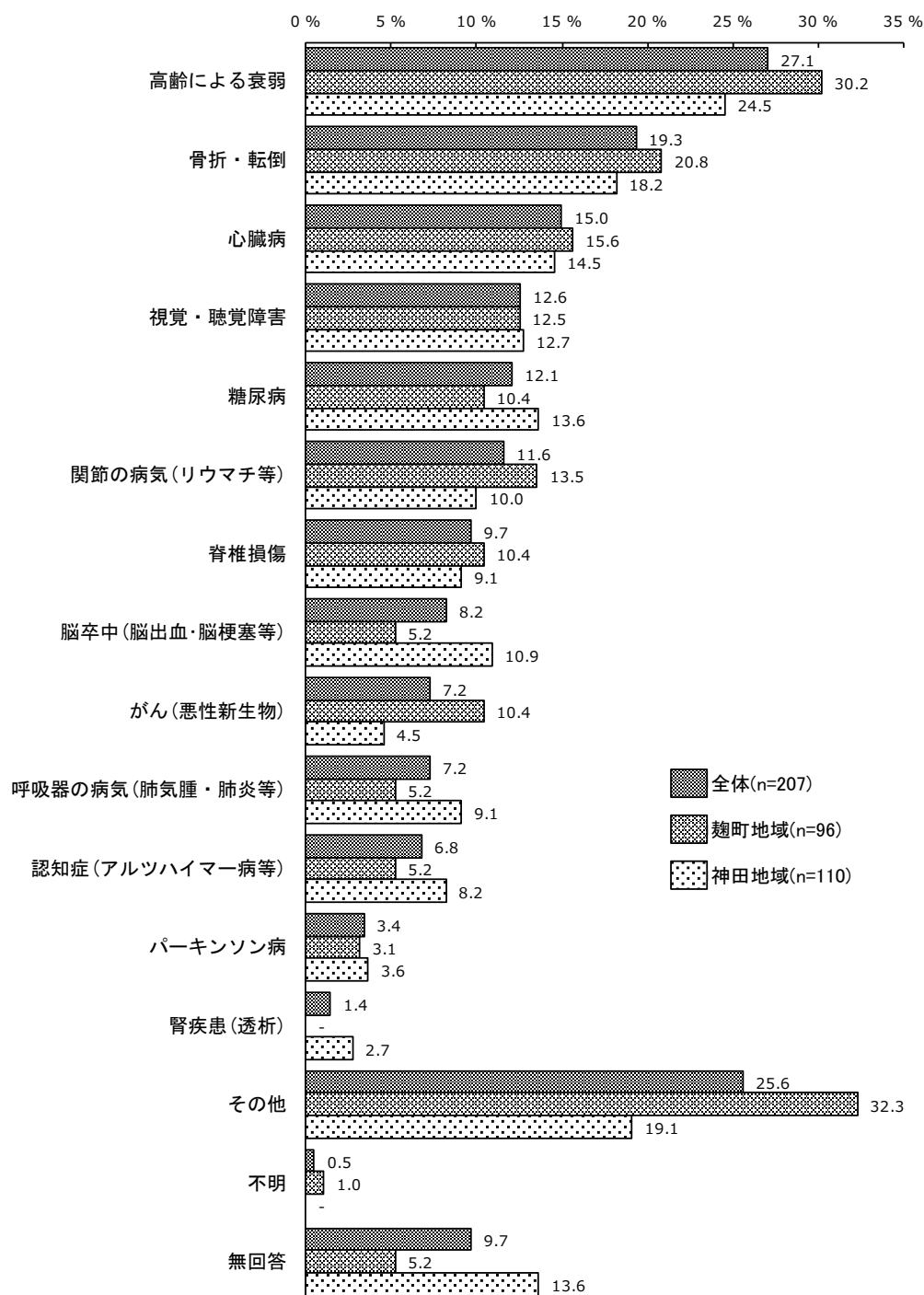
(3) 介護・介助が必要になった主な原因（問4-1）

介護・介助が必要な人（問4で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人）の介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」(27.1%)が最も多く、「その他」(25.6%)、「骨折・転倒」(19.3%)、「心臓病」(15.0%)と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「高齢による衰弱」(30.2%)、「がん(悪性新生物)」(10.4%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(10.9%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）

〈介護・介助が必要な人〉



性別にみると、男性は「糖尿病」「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「(ともに 17.2%)」、「認知症(アルツハイマー病等)」(13.8%) が女性に比べ多く、女性は「骨折・転倒」(21.6%) が男性に比べ多くなっている。

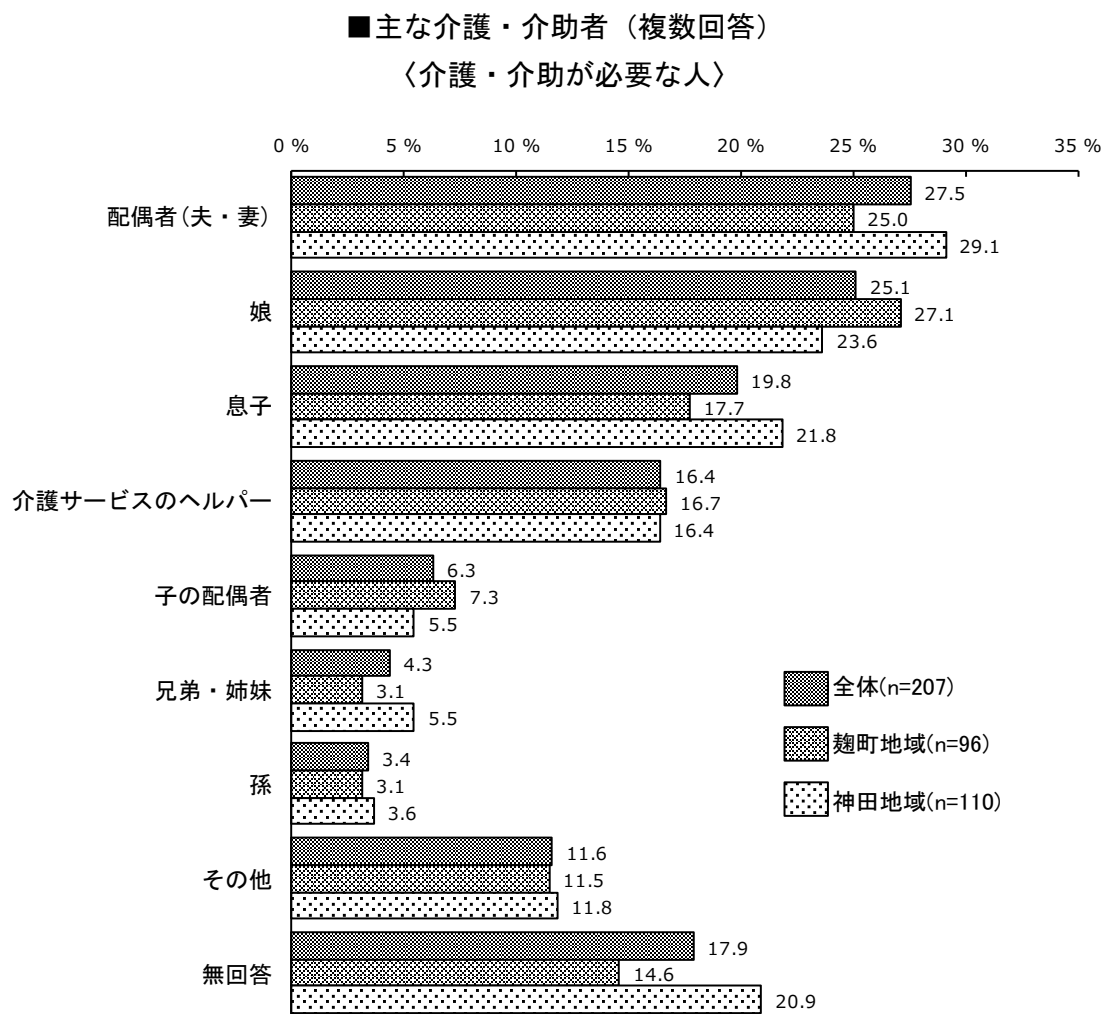
年齢別にみると、65～74 歳は「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「がん(悪性新生物)」「(ともに 17.9%) が 75 歳以上に比べ多く、75 歳以上は「高齢による衰弱」(29.9%)、「心臓病」(16.8%) が 65～74 歳に比べ多くなっている。

		(%)							
		高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	視覚・聴覚障害	糖尿病	関節の病気(リウマチ等)	脊椎損傷	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
全体 (n=207)		27.1	19.3	15.0	12.6	12.1	11.6	9.7	8.2
性別	男性 (n=58)	25.9	13.8	15.5	15.5	17.2	6.9	5.2	17.2
	女性 (n=148)	27.7	21.6	14.9	11.5	10.1	13.5	11.5	4.7
年齢	65～74歳 (n=39)	15.4	15.4	7.7	12.8	17.9	12.8	5.1	17.9
	75歳以上 (n=167)	29.9	20.4	16.8	12.6	10.8	11.4	10.8	6.0
認定状況	一般高齢者 (n=105)	28.6	20.0	13.3	13.3	16.2	9.5	4.8	5.7
	総合事業対象者 (n=3)	33.3	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1 (n=62)	24.2	14.5	19.4	12.9	8.1	11.3	14.5	11.3
	要支援2 (n=36)	27.8	27.8	13.9	11.1	8.3	19.4	16.7	11.1
		がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(気腫・肺炎等)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	腎疾患(透析)	その他	不明	無回答
全体 (n=207)		7.2	7.2	6.8	3.4	1.4	25.6	0.5	9.7
性別	男性 (n=58)	3.4	5.2	13.8	6.9	1.7	15.5	1.7	10.3
	女性 (n=148)	8.8	8.1	4.1	2.0	1.4	29.1	-	9.5
年齢	65～74歳 (n=39)	17.9	7.7	5.1	5.1	7.7	33.3	-	5.1
	75歳以上 (n=167)	4.8	7.2	7.2	3.0	-	23.4	0.6	10.8
認定状況	一般高齢者 (n=105)	7.6	3.8	10.5	3.8	2.9	21.0	-	14.3
	総合事業対象者 (n=3)	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	要支援1 (n=62)	8.1	14.5	4.8	3.2	-	30.6	1.6	4.8
	要支援2 (n=36)	5.6	5.6	-	2.8	-	22.2	-	5.6

(4) 主な介護・介助者（問4-2）

介護・介助が必要な人（問4で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人）の主な介護・介助者は、「配偶者（夫・妻）」（27.5%）が最も多く、「娘」（25.1%）、「息子」（19.8%）と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「娘」（27.1%）が神田地域に比べやや多く、神田地域は「配偶者（夫・妻）」（29.1%）、「息子」（21.8%）が麴町地域に比べやや多くなっている。



性別にみると、男性は「配偶者(夫・妻)」(53.4%)が女性に比べ多く、女性は「娘」(29.7%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「配偶者(夫・妻)」(43.6%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「娘」(27.5%)が65～74歳に比べ多くなっている。

		(%)								
		配偶者 (夫・妻)	娘	息子	介護サ ービスの ヘルパー	子の 配偶者	兄弟・ 姉妹	孫	その他	無 回 答
全体 (n=207)		27.5	25.1	19.8	16.4	6.3	4.3	3.4	11.6	17.9
性別	男性 (n=58)	53.4	13.8	19.0	12.1	6.9	3.4	－	6.9	19.0
	女性 (n=148)	16.9	29.7	20.3	18.2	6.1	4.7	4.7	13.5	17.6
年齢	65～74歳 (n=39)	43.6	15.4	20.5	12.8	2.6	7.7	－	15.4	10.3
	75歳以上 (n=167)	23.4	27.5	19.8	17.4	7.2	3.6	4.2	10.8	19.8
認定 状況	一般高齢者 (n=105)	36.2	27.6	21.0	5.7	7.6	1.9	3.8	10.5	21.0
	総合事業対象者 (n=3)	33.3	－	33.3	－	－	－	－	－	66.7
	要支援 1 (n=62)	16.1	25.8	19.4	22.6	4.8	8.1	3.2	9.7	14.5
	要支援 2 (n=36)	19.4	19.4	16.7	38.9	5.6	5.6	2.8	19.4	11.1

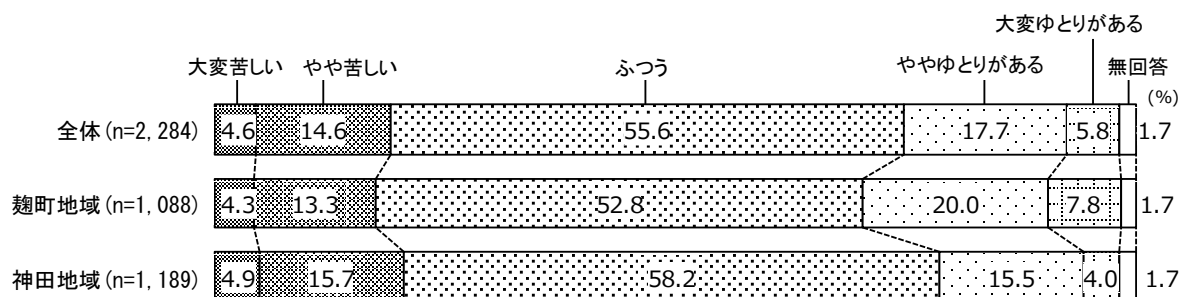
第2章 調査結果

(5) 経済的にみた現在の暮らしの状況（問5）

経済的にみた現在の暮らしの状況は、“苦しい”（「大変苦しい」「やや苦しい」の合計）が19.2%、“ゆとりがある”（「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の合計）は23.5%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は“ゆとりがある”（27.8%）が神田地域に比べ多くなっている。

■経済的にみた現在の暮らしの状況



性別にみると、男性は“ゆとりがある”（26.1%）が女性に比べやや多く、女性は「ふつう」（57.3%）が男性に比べやや多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は“ゆとりがある”（27.1%）が75歳以上に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、一般高齢者は“ゆとりがある”（24.6%）が総合事業対象者、要支援1、要支援2に比べ多くなっている。

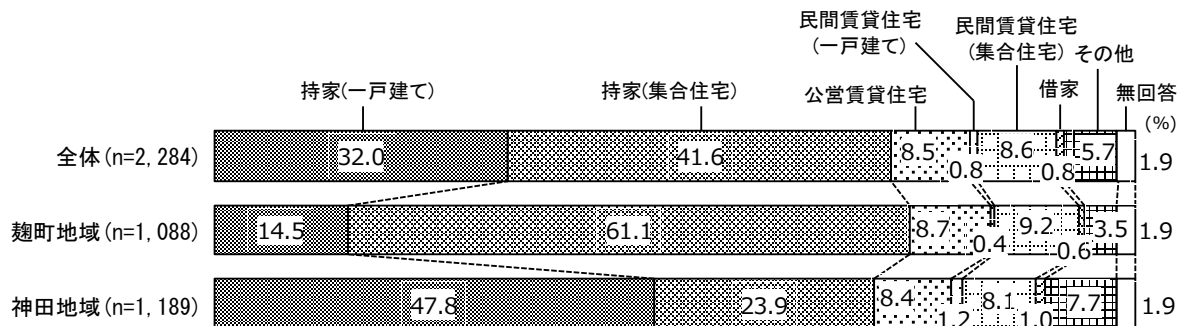
		（％）				
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある
						無回答
全体 (n=2,284)		4.6	14.6	55.6	17.7	5.8
性別	男性 (n=921)	4.0	15.1	53.2	19.0	7.1
	女性 (n=1,356)	5.0	14.2	57.3	16.7	5.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	3.8	13.6	53.8	19.7	7.4
	75歳以上 (n=1,068)	5.5	15.6	57.7	15.4	4.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	4.7	14.3	54.9	18.3	6.3
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	12.5	66.7	12.5	-
	要支援1 (n=139)	3.6	16.5	63.3	13.7	1.4
	要支援2 (n=69)	4.3	18.8	59.4	8.7	4.3

(6) 居住形態 (問6)

居住形態は、「持家(集合住宅)」(41.6%)が最も多く、次いで「持家(一戸建て)」(32.0%)が多くなっている。

圏域別にみると、麴町地域は「持家(集合住宅)」(61.1%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「持家(一戸建て)」(47.8%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■ 居住形態



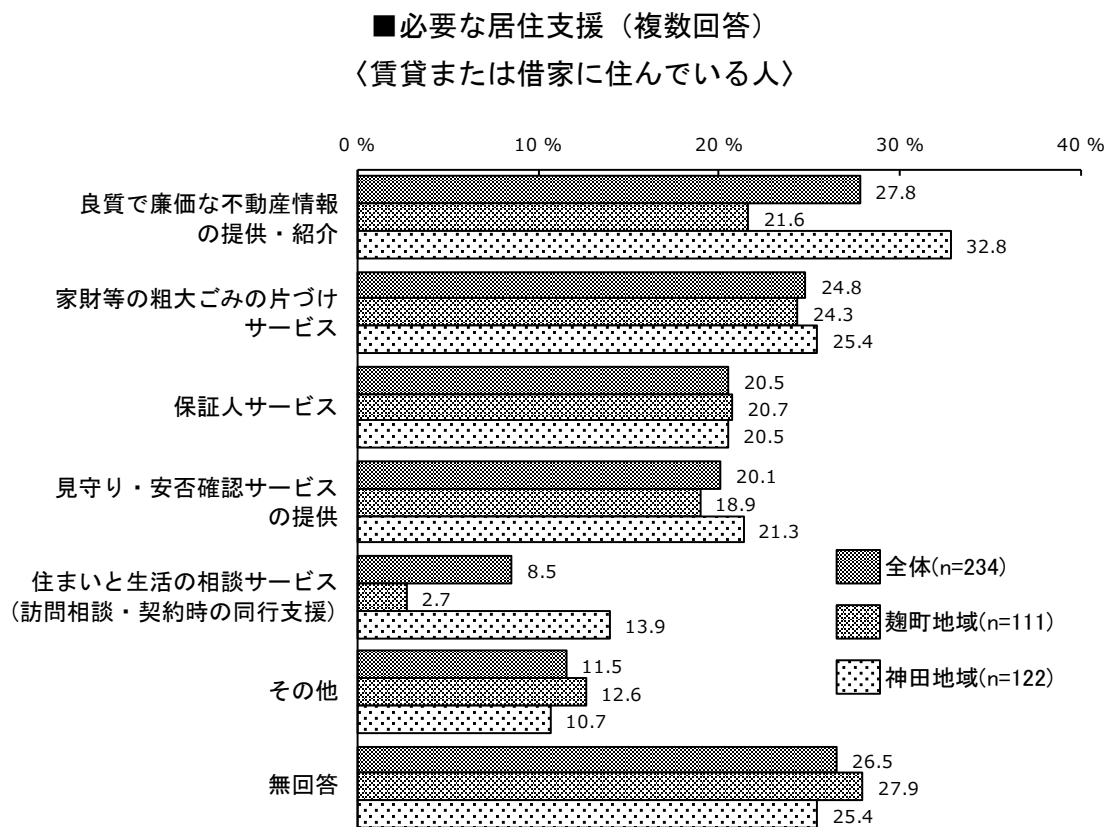
年齢別にみると、65～74歳は「持家(集合住宅)」(43.6%)が75歳以上に比べやや多くなっている。

		(%)							
		持家 (一戸建て)	持家 (集合住宅)	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 (一戸建て)	民間 賃貸住宅 (集合住宅)	借家	その他	無回答
全体 (n=2, 284)		32.0	41.6	8.5	0.8	8.6	0.8	5.7	1.9
性別	男性 (n=921)	33.6	41.9	6.3	0.8	8.9	0.9	6.1	1.6
	女性 (n=1, 356)	30.8	41.5	10.1	0.8	8.4	0.8	5.5	2.1
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	30.7	43.6	8.1	0.6	9.7	0.7	5.6	1.0
	75歳以上 (n=1, 068)	33.2	39.5	9.1	1.0	7.4	0.9	5.8	3.0
認定 状況	一般高齢者 (n=2, 045)	32.1	41.8	8.0	0.8	8.9	0.8	5.6	1.9
	総合事業対象者 (n=24)	33.3	33.3	16.7	4.2	-	4.2	4.2	4.2
	要支援 1 (n=139)	31.7	40.3	13.7	0.7	4.3	-	6.5	2.9
	要支援 2 (n=69)	24.6	43.5	11.6	-	11.6	1.4	7.2	

(7) 必要な居住支援（問6-1）

賃貸または借家に住んでいる人（問6で「民間賃貸住宅（一戸建て）」「民間賃貸住宅（集合住宅）」「借家」と回答した人）の必要な居住支援は、「良質で廉価な不動産情報の提供・紹介」（27.8%）が最も多く、次いで「家財等の粗大ごみの片づけサービス」（24.8%）が多くなっている。

圏域別にみると、神田地域は「良質で廉価な不動産情報の提供・紹介」（32.8%）、「住まいと生活の相談サービス（訪問相談・契約時の同行支援）」（13.9%）が麹町地域に比べて多くなっている。



性別にみると、男性は「保証人サービス」(24.7%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「良質で廉価な不動産情報の提供・紹介」(33.8%)「家財等の粗大ごみの片づけサービス」(30.8%)「保証人サービス」(25.6%)が75歳以上に比べ多くなっている。

		(%)					
		良質で廉価な不動産情報の提供・紹介	家財等の粗大ごみの片づけサービス	保証人サービス	見守り・安否確認サービス	住まいと生活の相談・契約時の同行支援	その他
		無回答					
全体	(n=234)	27.8	24.8	20.5	20.1	8.5	11.5
性別	男性 (n=97)	29.9	22.7	24.7	17.5	8.2	10.3
	女性 (n=136)	25.7	26.5	17.6	22.1	8.8	12.5
年齢	65～74歳 (n=133)	33.8	30.8	25.6	18.8	9.0	9.8
	75歳以上 (n=100)	19.0	17.0	14.0	22.0	8.0	14.0
認定状況	一般高齢者 (n=215)	27.9	25.1	20.9	20.5	8.4	11.2
	総合事業対象者 (n=2)	50.0	50.0	50.0	—	—	—
	要支援1 (n=7)	28.6	28.6	14.3	—	14.3	14.3
	要支援2 (n=9)	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	22.2

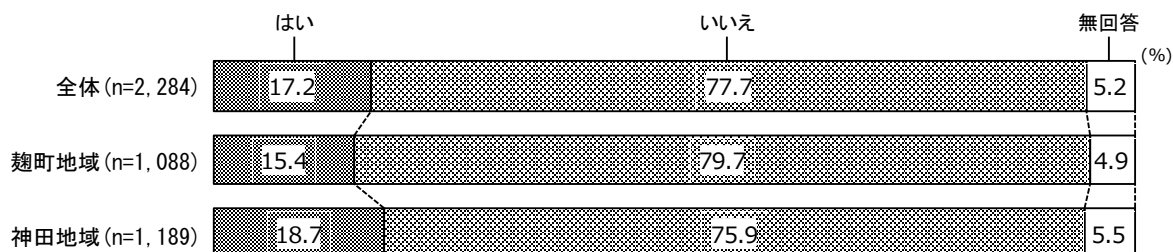
第2章 調査結果

(8) 住まいの困りごとの有無（問7）

住まいの困りごとの有無は、「はい」が17.2%、「いいえ」が77.7%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「いいえ」（79.7%）が神田地域に比べやや多く、神田地域は「はい」（18.7%）が麴町地域に比べやや多くなっている。

■住まいの困りごとの有無



年齢別にみると、65～74歳は「いいえ」（79.9%）が75歳以上に比べやや多くなっている。

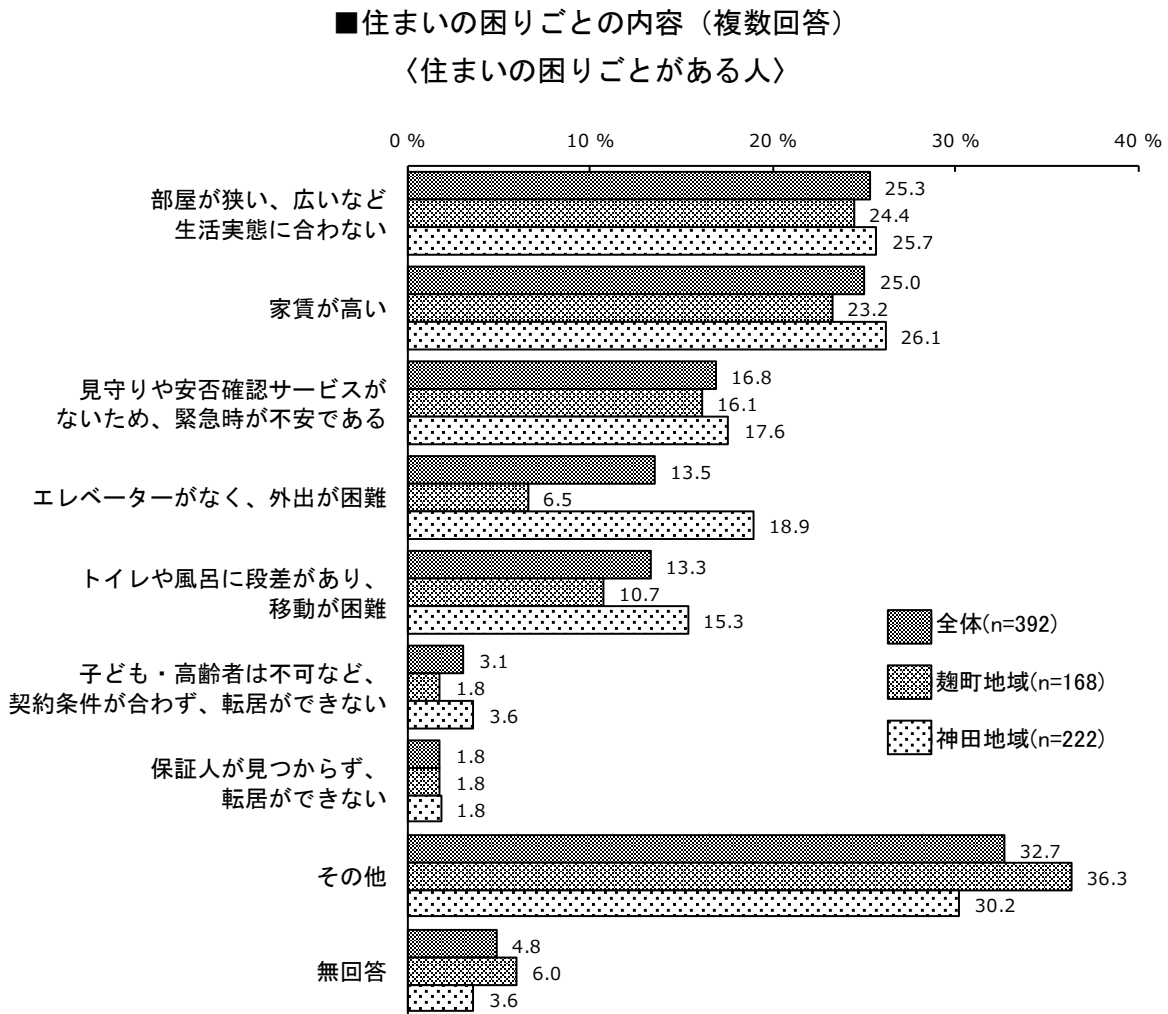
認定状況別にみると、要支援2は「いいえ」が6割と全体に比べ少なくなっており、「はい」が3割となっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		17.2	77.7	5.2
性別	男性 (n=921)	15.9	79.0	5.1
	女性 (n=1,356)	18.0	76.8	5.2
年齢	65～74歳 (n=1,209)	17.5	79.9	2.6
	75歳以上 (n=1,068)	16.8	75.2	8.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	16.4	78.7	4.8
	総合事業対象者 (n=24)	29.2	70.8	-
	要支援1 (n=139)	19.4	72.7	7.9
	要支援2 (n=69)	29.0	59.4	11.6

(9) 住まいの困りごとの内容 (問7-1)

住まいの困りごとがある人(問7で「はい」と回答した人)の困りごとの内容は、「その他」(32.7%)が最も多く、「部屋が狭い、広いなど生活実態に合わない」(25.3%)、「家賃が高い」(25.0%)と続いている。なお、「その他」の内容は、老朽化による建て替え、修繕、耐震の問題が多くなっている。

圏域別にみると、神田地域は「エレベーターがなく、外出が困難」(18.9%)が麹町地域に比べ多くなっている。



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「部屋が狭い、広いなど生活実態に合わない」(33.6%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「部屋が狭い、広いなど生活実態に合わない」(28.4%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「トイレや風呂に段差があり、移動が困難」(16.2%)が65～74歳に比べ多くなっている。

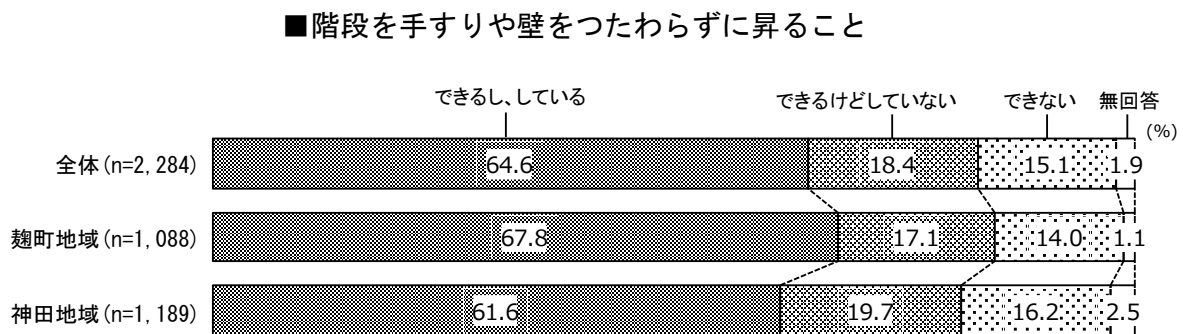
		部屋が狭い、 広いなど生活実態に 合わない	家賃が高い	見守りや安否確認サービスがないため、緊急時が不安である	エレベーターがなく、外出が困難	トイレや風呂に段差があり、移動が困難	子ども・高齢者は不可など、契約条件が合わず、転居ができない	保証人が見つからず、転居ができない	その他	無回答	(%)
全体 (n=392)		25.3	25.0	16.8	13.5	13.3	3.1	1.8	32.7	4.8	
性別	男性 (n=146)	33.6	22.6	16.4	16.4	13.7	3.4	2.1	30.8	2.7	
	女性 (n=244)	20.1	26.2	17.2	11.9	13.1	2.5	1.6	34.0	5.7	
年齢	65～74歳 (n=211)	28.4	26.1	16.1	12.8	10.9	2.8	2.4	35.1	1.4	
	75歳以上 (n=179)	21.2	23.5	17.9	14.5	16.2	2.8	1.1	30.2	8.4	
認定状況	一般高齢者 (n=336)	26.8	25.6	16.1	13.7	13.1	3.0	1.8	31.8	4.5	
	総合事業対象者 (n=7)	-	14.3	28.6	-	-	-	-	85.7	-	
	要支援 1 (n=27)	18.5	25.9	14.8	22.2	11.1	3.7	3.7	37.0	3.7	
	要支援 2 (n=20)	15.0	15.0	30.0	5.0	25.0	-	-	25.0	10.0	

3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること（問8）

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることは、「できるし、している」が64.6%、「できるけどしていない」が18.4%、「できない」が15.1%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「できるし、している」(67.8%)が神田地域に比べ多くとなっている。



性別にみると、男性は「できるし、している」(72.3%)が女性に比べ多く、女性は「できない」(18.7%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、「できるし、している」が65～74歳は76.0%、75歳以上は51.6%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は7割、要支援1は2割台半ば、要支援2は2割弱となっている。

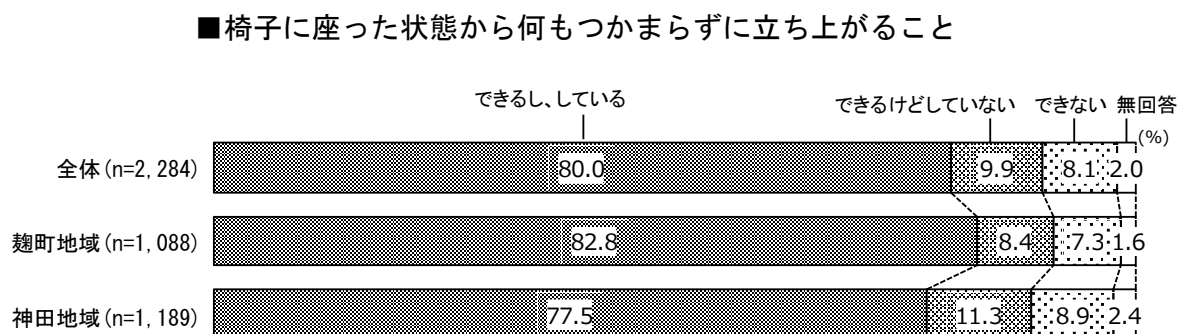
		(%)			
		できるし、している	できるけどいない	できない	無回答
全体 (n=2,284)		64.6	18.4	15.1	1.9
性別	男性 (n=921)	72.3	15.9	9.9	2.0
	女性 (n=1,356)	59.3	20.2	18.7	1.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	76.0	16.5	6.8	0.7
	75歳以上 (n=1,068)	51.6	20.6	24.6	3.2
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	69.2	18.5	10.8	1.5
	総合事業対象者 (n=24)	37.5	33.3	25.0	4.2
	要支援1 (n=139)	24.5	19.4	51.8	4.3
	要支援2 (n=69)	17.4	10.1	66.7	5.8

第2章 調査結果

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること（問9）

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることは、「できるし、している」が80.0%、「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が8.1%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「できるし、している」(82.8%)が神田地域に比べ多くなっている。



性別にみると、男性は「できるし、している」(82.7%)が女性に比べ多く、女性は「できない」(10.1%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、「できるし、している」が65～74歳は87.9%、75歳以上は71.1%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は8割台半ば、要支援1は5割、要支援2は4割弱となっている。

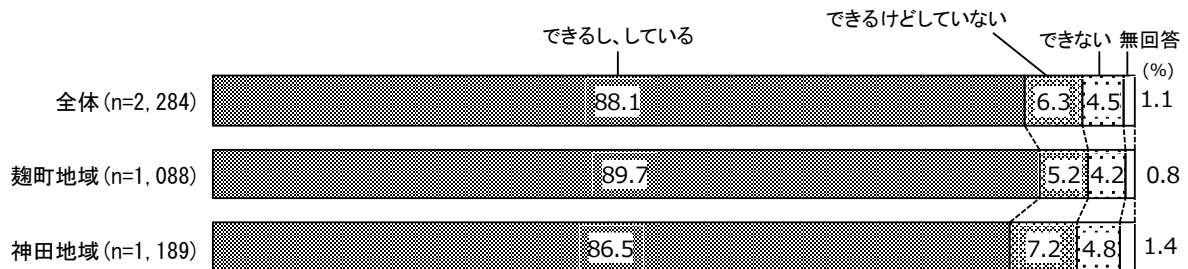
		(%)			
		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体 (n=2,284)		80.0	9.9	8.1	2.0
性別	男性 (n=921)	82.7	10.0	5.2	2.1
	女性 (n=1,356)	78.2	9.8	10.1	1.9
年齢	65～74歳 (n=1,209)	87.9	7.4	3.6	1.1
	75歳以上 (n=1,068)	71.1	12.7	13.2	3.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	83.7	9.1	5.7	1.5
	総合事業対象者 (n=24)	62.5	29.2	8.3	-
	要支援1 (n=139)	49.6	18.0	25.9	6.5
	要支援2 (n=69)	37.7	10.1	44.9	7.2

(3) 15分位続けて歩くこと (問10)

15分位続けて歩くことは、「できるし、している」が88.1%、「できるけどしていない」が6.3%、「できない」が4.5%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「できるし、している」(89.7%)が神田地域に比べやや多くなっている。

■15分位続けて歩くこと



年齢別にみると、「できるし、している」が65～74歳は91.8%、75歳以上は83.8%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は9割、要支援1は6割台半ば、要支援2は5割台半ばとなっている。

		(%)			
		しで てき いる し、	しで てき いる ない けど	で き な い	無 回 答
全体 (n=2,284)		88.1	6.3	4.5	1.1
性別	男性 (n=921)	88.3	6.4	3.8	1.5
	女性 (n=1,356)	87.9	6.2	5.0	0.9
年齢	65～74歳 (n=1,209)	91.8	5.9	1.7	0.6
	75歳以上 (n=1,068)	83.8	6.7	7.7	1.8
認定 状況	一般高齢者 (n=2,045)	90.6	5.8	2.6	0.9
	総合事業対象者 (n=24)	95.8	4.2	-	-
	要支援1 (n=139)	64.7	9.4	23.0	2.9
	要支援2 (n=69)	56.5	14.5	24.6	4.3

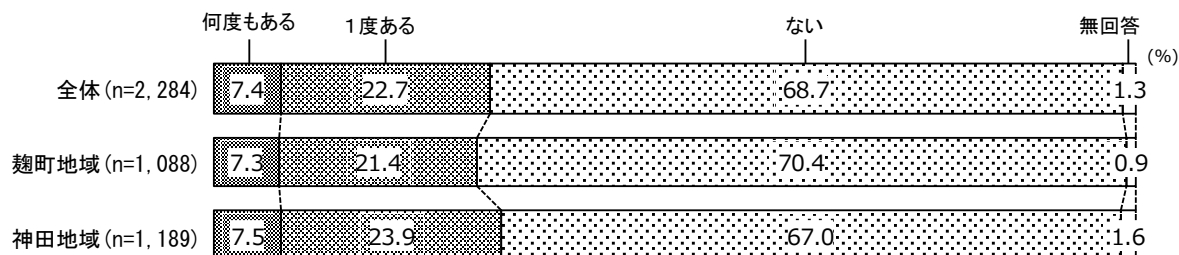
第2章 調査結果

(4) 過去1年間の転んだ経験 (問11)

過去1年間の転んだ経験は、「何度もある」が7.4%、「1度ある」が22.7%、「ない」が68.7%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■過去1年間の転んだ経験



性別にみると、男性は「ない」(71.2%)が女性に比べやや多く、女性は「1度ある」(24.1%)が男性に比べやや多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「ない」(73.3%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「1度ある」(25.6%)が65～74歳に比べ多くなっている。

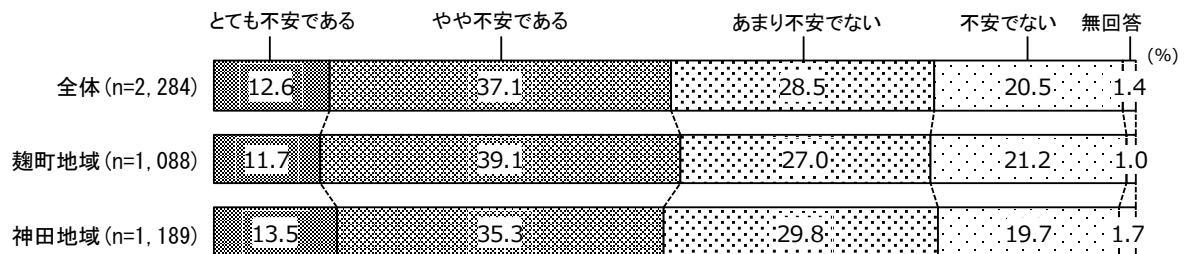
認定状況別にみると、「ない」が一般高齢者は7割強、要支援1は5割弱、要支援2は4割弱となっている。

		(%)			
		何 度 も あ る	1 度 あ る	な い	無 回 答
全体	(n=2,284)	7.4	22.7	68.7	1.3
性別	男性 (n=921)	6.6	20.6	71.2	1.5
	女性 (n=1,356)	7.9	24.1	66.9	1.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	5.7	20.2	73.3	0.8
	75歳以上 (n=1,068)	9.3	25.6	63.4	1.8
認定 状況	一般高齢者 (n=2,045)	6.2	21.7	71.1	1.1
	総合事業対象者 (n=24)	8.3	29.2	62.5	-
	要支援1 (n=139)	15.8	32.4	48.9	2.9
	要支援2 (n=69)	26.1	31.9	37.7	4.3

(5) 転倒に対する不安 (問 12)

転倒に対する不安は、“不安である”（「とても不安である」「やや不安である」の合計）が 49.7%、“不安でない”（「あまり不安でない」「不安でない」の合計）が 49.0%となっている。なお、圏域による大きな違いはみられない。

■ 転倒に対する不安



性別にみると、男性は“不安でない”（59.3%）が女性に比べ多く、女性は“不安である”（57.0%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は“不安でない”が 60.5%を占めており、75歳以上は“不安である”が 62.4%を占めている。

認定状況別にみると、“不安である”が一般高齢者は4割台半ば、要支援1と要支援2は8割台となっている。

		(%)				
		とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全体 (n=2,284)		12.6	37.1	28.5	20.5	1.4
性別	男性 (n=921)	6.7	32.4	29.0	30.3	1.6
	女性 (n=1,356)	16.7	40.3	28.1	13.7	1.2
年齢	65～74歳 (n=1,209)	7.0	31.6	33.6	26.9	0.9
	75歳以上 (n=1,068)	19.0	43.4	22.7	13.1	1.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	10.0	35.9	30.3	22.5	1.2
	総合事業対象者 (n=24)	12.5	54.2	29.2	4.2	-
	要支援1 (n=139)	38.8	47.5	10.1	1.4	2.2
	要支援2 (n=69)	37.7	44.9	10.1	2.9	4.3

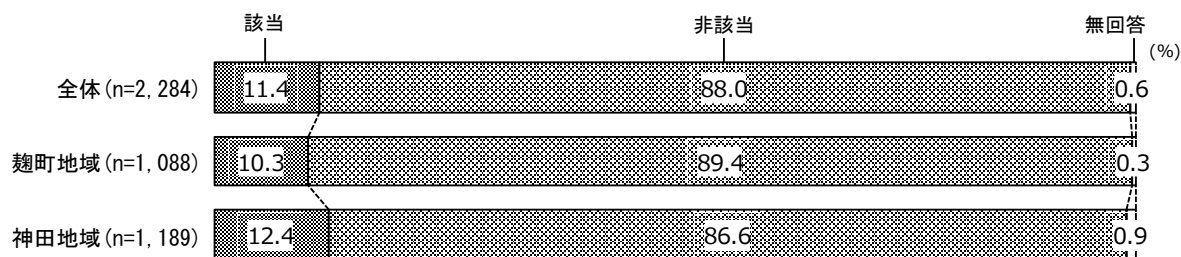
第2章 調査結果

(6) 運動器の機能低下リスク該当者

運動器の機能低下リスク該当者（問8～問10で「できない」、問11で「何度もある」「1度ある」、問12で「とても不安である」「やや不安である」と回答した人のうち、5問中3問以上該当している人）は11.4%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■運動器の機能低下リスク該当者



性別にみると、女性は「該当」（13.9%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「該当」が19.7%となっている。

認定状況別にみると、「該当」が一般高齢者は1割弱、要支援1は4割、要支援2は5割台半ばとなっている。

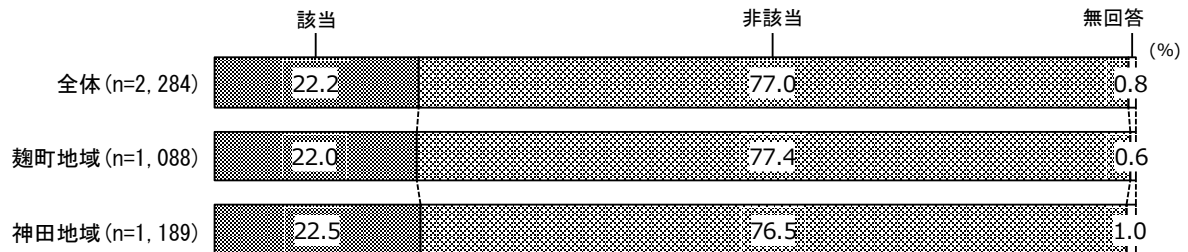
		(%)		
		該当	非該当	無回答
全体 (n=2,284)		11.4	88.0	0.6
性別	男性 (n=921)	7.8	91.1	1.1
	女性 (n=1,356)	13.9	85.8	0.3
年齢	65～74歳 (n=1,209)	4.1	95.5	0.3
	75歳以上 (n=1,068)	19.7	79.4	0.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	7.9	91.5	0.5
	総合事業対象者 (n=24)	12.5	87.5	-
	要支援1 (n=139)	40.3	58.3	1.4
	要支援2 (n=69)	56.5	42.0	1.4

(7) 転倒リスク該当者

転倒リスク該当者（問11で「何度もある」「1度ある」と回答し、かつ問12で「とても不安である」「やや不安である」と回答した人）は22.2%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 転倒リスク該当者



性別にみると、女性は「該当」（25.2%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「該当」が28.4%となっている。

認定状況別にみると、「該当」が一般高齢者は2割、要支援1と要支援2は4割台半ばとなっている。

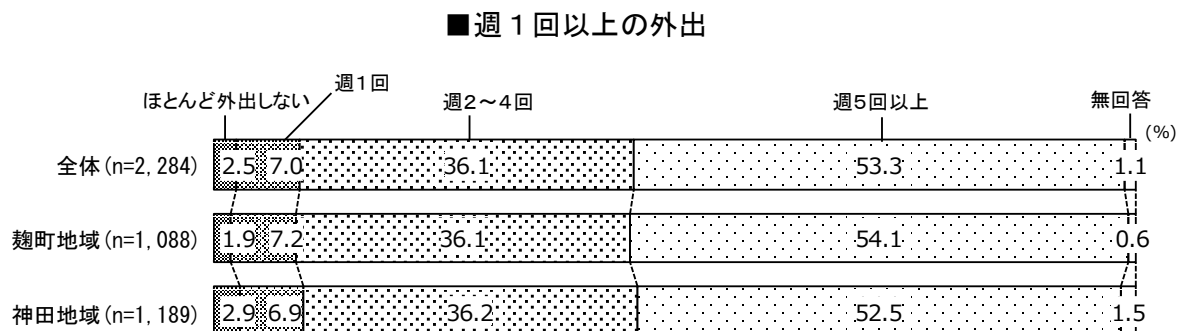
		(%)		
		該当	非該当	無回答
全体 (n=2,284)		22.2	77.0	0.8
性別	男性 (n=921)	17.8	81.0	1.2
	女性 (n=1,356)	25.2	74.2	0.6
年齢	65～74歳 (n=1,209)	16.8	82.8	0.4
	75歳以上 (n=1,068)	28.4	70.3	1.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	19.7	79.7	0.7
	総合事業対象者 (n=24)	29.2	70.8	-
	要支援1 (n=139)	46.0	51.8	2.2
	要支援2 (n=69)	47.8	49.3	2.9

第2章 調査結果

(8) 週1回以上の外出 (問13)

週1回以上の外出は、「ほとんど外出しない」が2.5%、「週1回」が7.0%、「週2～4回」が36.1%、「週5回以上」が53.3%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「週5回以上」(62.8%)が女性に比べ多く、女性は「週2～4回」(41.0%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「ほとんど外出しない」が4.0%、「週1回」が9.7%となっている。

認定状況別にみると、「ほとんど外出しない」が要支援2で1割強みられ、「週1回」が要支援1と要支援2は約2割となっている。

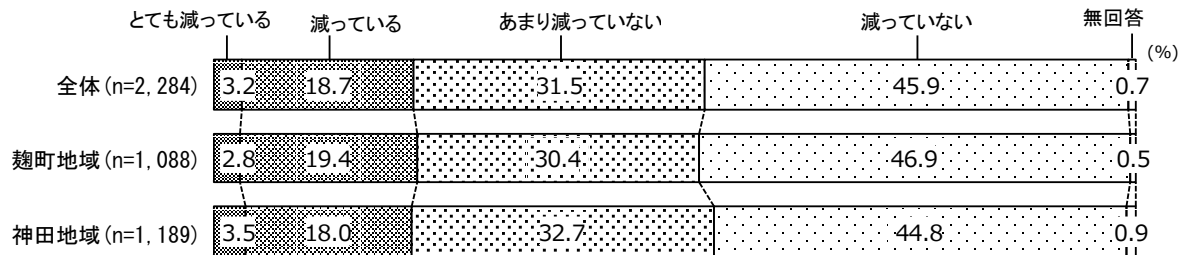
		(%)				
		ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体 (n=2,284)		2.5	7.0	36.1	53.3	1.1
性別	男性 (n=921)	1.8	5.3	29.0	62.8	1.1
	女性 (n=1,356)	2.9	8.2	41.0	46.8	1.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	1.1	4.6	30.3	63.3	0.7
	75歳以上 (n=1,068)	4.0	9.7	42.8	41.9	1.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	1.7	5.8	34.9	56.7	1.0
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	16.7	41.7	37.5	-
	要支援1 (n=139)	8.6	17.3	51.1	20.9	2.2
	要支援2 (n=69)	13.0	20.3	40.6	23.2	2.9

(9) 昨年と比べた外出回数 (問 14)

昨年と比べた外出回数は、“減っている”（「とても減っている」「減っている」の合計）が 21.9%、“減っていない”（「あまり減っていない」「減っていない」の合計）が 77.4% となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 昨年と比べた外出回数



性別にみると、男性は“減っていない”（81.5%）が女性に比べ多く、女性は“減っている”（24.9%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は“減っている”が 31.2% となっている。

認定状況別にみると、“減っている”が一般高齢者は 2 割弱、要支援 1 は 5 割台半ば、要支援 2 は 6 割台半ばとなっている。

		(%)				
		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体 (n=2,284)		3.2	18.7	31.5	45.9	0.7
性別	男性 (n=921)	1.5	16.0	29.3	52.2	1.0
	女性 (n=1,356)	4.4	20.5	33.2	41.4	0.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	1.6	12.1	30.1	55.7	0.5
	75歳以上 (n=1,068)	5.1	26.1	33.3	34.6	0.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	2.0	16.2	32.2	48.9	0.6
	総合事業対象者 (n=24)	8.3	25.0	25.0	37.5	4.2
	要支援 1 (n=139)	11.5	41.7	29.5	15.8	1.4
	要支援 2 (n=69)	20.3	43.5	20.3	15.9	-

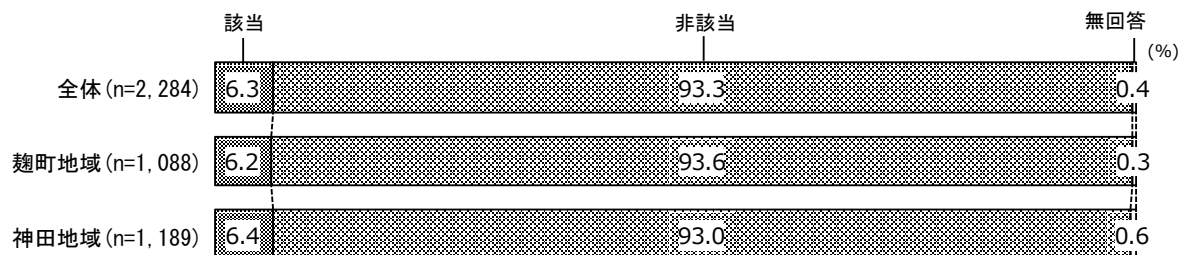
第2章 調査結果

(10) 閉じこもりのリスク該当者

閉じこもりのリスク該当者（問13で「ほとんど外出しない」「週1回」と回答し、かつ問14で「とても減っている」「減っている」と回答した人）は6.3%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■閉じこもりのリスク該当者



性別にみると、女性は「該当」（7.9%）が男性に比べやや多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「該当」が10.3%となっている。

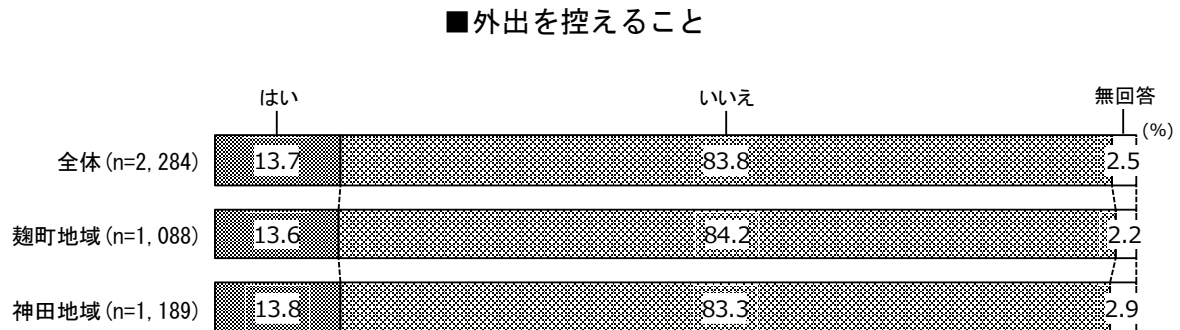
認定状況別にみると、「該当」が要支援1は2割、要支援2は3割となっている。

		(%)		
		該当	非該当	無回答
全体 (n=2,284)		6.3	93.3	0.4
性別	男性 (n=921)	3.9	95.4	0.7
	女性 (n=1,356)	7.9	91.8	0.3
年齢	65～74歳 (n=1,209)	2.7	96.9	0.3
	75歳以上 (n=1,068)	10.3	89.1	0.6
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	4.4	95.1	0.4
	総合事業対象者 (n=24)	12.5	87.5	—
	要支援1 (n=139)	20.9	78.4	0.7
	要支援2 (n=69)	29.0	71.0	—

(11) 外出を控えること（問 15）

外出を控えることは、「はい」（控えている）が 13.7%、「いいえ」（控えていない）が 83.8%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「いいえ」（87.0%）が女性に比べ多く、女性は「はい」（16.0%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「はい」が 21.7%となっている。

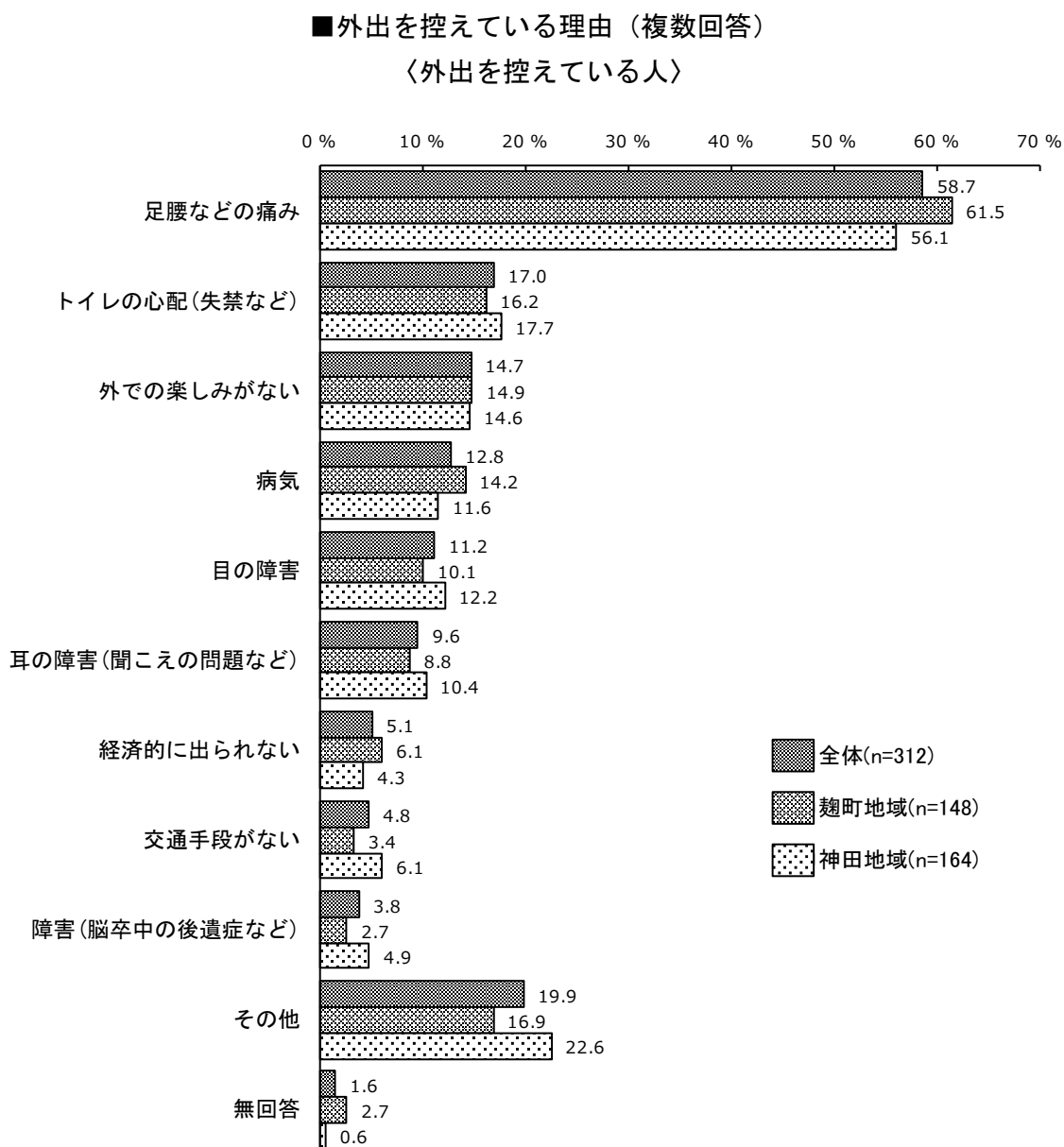
認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は 1 割、要支援 1 は 4 割台半ば、要支援 2 は 5 割強となっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		13.7	83.8	2.5
性別	男性 (n=921)	10.3	87.0	2.7
	女性 (n=1,356)	16.0	81.6	2.4
年齢	65～74歳 (n=1,209)	6.6	91.6	1.8
	75歳以上 (n=1,068)	21.7	74.9	3.4
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	10.2	87.5	2.3
	総合事業対象者 (n=24)	16.7	70.8	12.5
	要支援 1 (n=139)	46.0	49.6	4.3
	要支援 2 (n=69)	52.2	46.4	1.4

(12) 外出を控えている理由（問 15-1）

外出を控えている人（問 15 で「はい」と回答した人）の理由は、「足腰などの痛み」（58.7%）が最も多く、「その他」（19.9%）（介護をしているため、面倒なため、風邪やインフルエンザにかからないようにするためなど）、「トイレの心配（失禁など）」（17.0%）、「外での楽しみがない」（14.7%）と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「足腰などの痛み」（61.5%）が神田地域に比べ多くなっている。



性別にみると、男性は「トイレの心配(失禁など)」(23.2%)、「外での楽しみがない」(18.9%)、「障害(脳卒中の後遺症など)」(9.5%)が女性に比べ多く、女性は「足腰などの痛み」(60.8%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「足腰などの痛み」(62.9%)、「目の障害」(12.9%)、「耳の障害(聞こえの問題など)」(12.5%)が65～74歳に比べ多くなっている。

		足腰などの痛み	(トイレの心配 (失禁など))	外での楽しみがない	病気	目の障害	耳の障害(聞こえの問題など)
全体 (n=312)		58.7	17.0	14.7	12.8	11.2	9.6
性別	男性 (n=95)	53.7	23.2	18.9	11.6	10.5	12.6
	女性 (n=217)	60.8	14.3	12.9	13.4	11.5	8.3
年齢	65～74歳 (n=80)	46.3	15.0	17.5	11.3	6.3	1.3
	75歳以上 (n=232)	62.9	17.7	13.8	13.4	12.9	12.5
認定状況	一般高齢者 (n=208)	54.8	16.3	16.8	11.1	11.1	8.2
	総合事業対象者 (n=4)	75.0	25.0	-	-	25.0	-
	要支援 1 (n=64)	65.6	20.3	12.5	15.6	14.1	10.9
	要支援 2 (n=36)	66.7	13.9	8.3	19.4	5.6	16.7

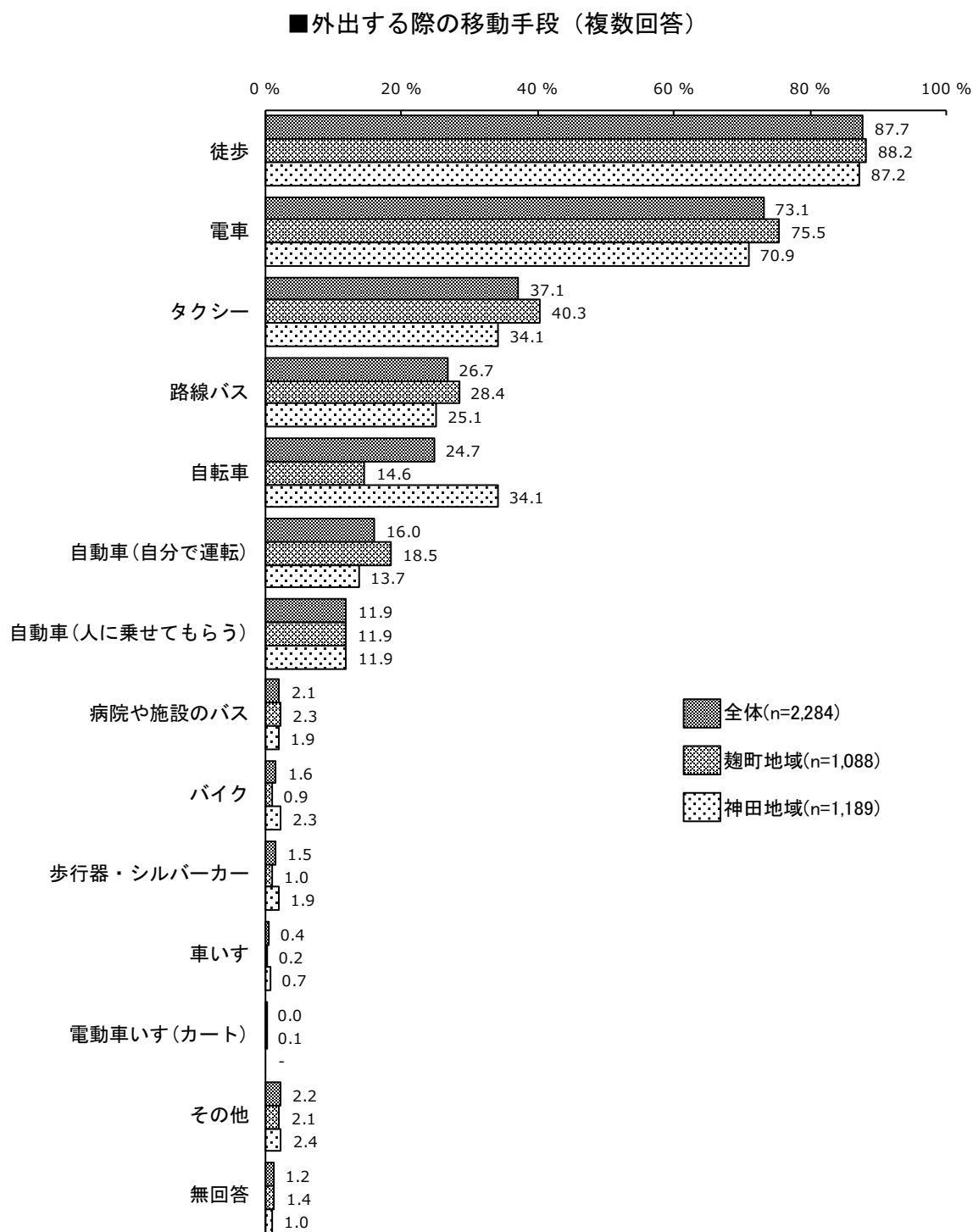
		ない経済的に出られない	交通手段がない	後遺症(脳卒中など)の	その他	無回答
全体 (n=312)		5.1	4.8	3.8	19.9	1.6
性別	男性 (n=95)	7.4	1.1	9.5	13.7	3.2
	女性 (n=217)	4.1	6.5	1.4	22.6	0.9
年齢	65～74歳 (n=80)	5.0	1.3	7.5	26.3	1.3
	75歳以上 (n=232)	5.2	6.0	2.6	17.7	1.7
認定状況	一般高齢者 (n=208)	7.7	1.9	2.4	19.7	1.4
	総合事業対象者 (n=4)	-	-	-	-	-
	要支援 1 (n=64)	-	7.8	6.3	21.9	-
	要支援 2 (n=36)	-	16.7	8.3	19.4	5.6

第2章 調査結果

(13) 外出する際の移動手段（問 16）

外出する際の移動手段は、「徒歩」(87.7%) が最も多く、「電車」(73.1%)、「タクシー」(37.1%) と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「タクシー」(40.3%) が神田地域に比べ多く、神田地域は「自転車」(34.1%) が麴町地域に比べ多くなっている。



性別にみると、男性は「自転車」(33.1%)、「自動車(自分で運転)」(29.0%)が女性に比べ多く、女性は「路線バス」(30.2%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「電車」(79.3%)、「自転車」(31.6%)、「自動車(自分で運転)」(21.8%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「タクシー」(45.7%)が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「徒歩」が一般高齢者は9割、要支援1は7割弱、要支援2は6割強、「電車」が一般高齢者は7割台半ば、要支援1は5割、要支援2は2割台半ば、「タクシー」が一般高齢者は3割台半ば、要支援1と要支援2は6割となっている。

		(%)						
		徒歩	電車	タクシー	路線バス	自転車	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)
全体 (n=2, 284)		87. 7	73. 1	37. 1	26. 7	24. 7	16. 0	11. 9
性別	男性 (n=921)	89. 8	73. 6	33. 8	21. 5	33. 1	29. 0	8. 8
	女性 (n=1, 356)	86. 3	72. 7	39. 4	30. 2	19. 1	7. 2	14. 0
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	91. 3	79. 3	29. 5	23. 7	31. 6	21. 8	12. 3
	75歳以上 (n=1, 068)	83. 6	66. 0	45. 7	30. 1	17. 0	9. 4	11. 4
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	89. 8	76. 2	34. 7	27. 0	26. 7	17. 5	11. 9
	総合事業対象者 (n=24)	95. 8	79. 2	50. 0	54. 2	20. 8	4. 2	8. 3
	要支援 1 (n=139)	68. 3	49. 6	59. 0	18. 7	5. 8	2. 9	11. 5
	要支援 2 (n=69)	62. 3	26. 1	60. 9	23. 2	5. 8	1. 4	14. 5

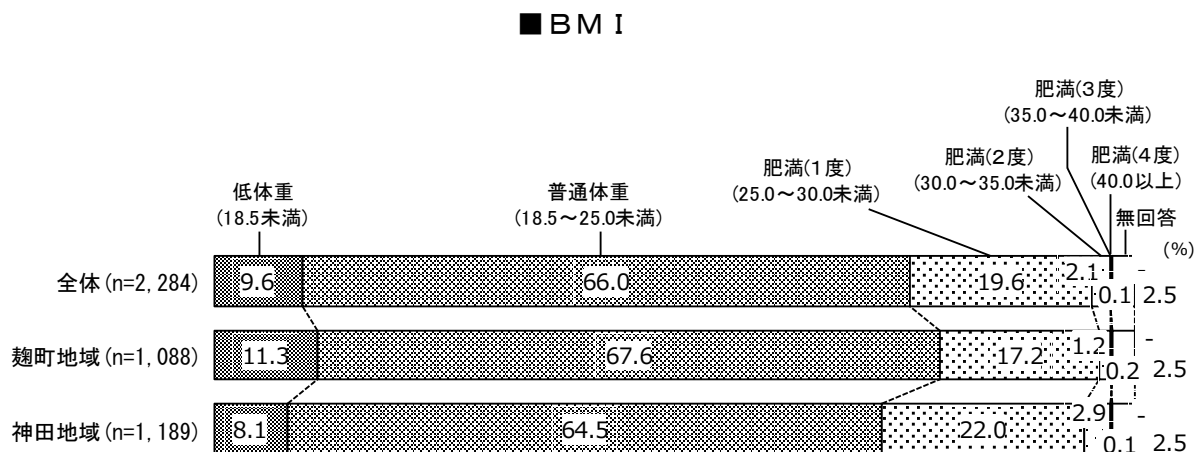
		病院や施設のバス	バイク	歩行器・シルバーカー	車いす	電動車いす (カート)	その他	無回答
全体 (n=2, 284)		2. 1	1. 6	1. 5	0. 4	0. 0	2. 2	1. 2
性別	男性 (n=921)	1. 4	3. 9	0. 2	0. 2	－	0. 7	1. 0
	女性 (n=1, 356)	2. 6	0. 1	2. 4	0. 6	0. 1	3. 3	1. 3
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	1. 5	2. 3	0. 2	0. 3	－	2. 0	1. 1
	75歳以上 (n=1, 068)	2. 8	0. 8	2. 9	0. 6	0. 1	2. 5	1. 3
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	1. 6	1. 8	0. 6	0. 3	－	2. 0	1. 0
	総合事業対象者 (n=24)	12. 5	－	－	－	－	8. 3	－
	要支援 1 (n=139)	5. 0	－	10. 8	－	0. 7	5. 0	2. 9
	要支援 2 (n=69)	8. 7	－	10. 1	5. 8	－	1. 4	4. 3

4. 食べることについて

(1) BMI (Body Mass Index (肥満指数) の略) (問 17)

BMI は、「普通体重 (18.5～25.0 未満)」(66.0%) が最も多く、「肥満 (1 度) (25.0～30.0 未満)」(19.6%)、「低体重 (18.5 未満)」(9.6%) と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「低体重 (18.5 未満)」(11.3%)、「普通体重 (18.5～25.0 未満)」(67.6%) が神田地域に比べやや多く、神田地域は「肥満 (1 度) (25.0～30.0 未満)」(22.0%) が麴町地域に比べ多くなっている。



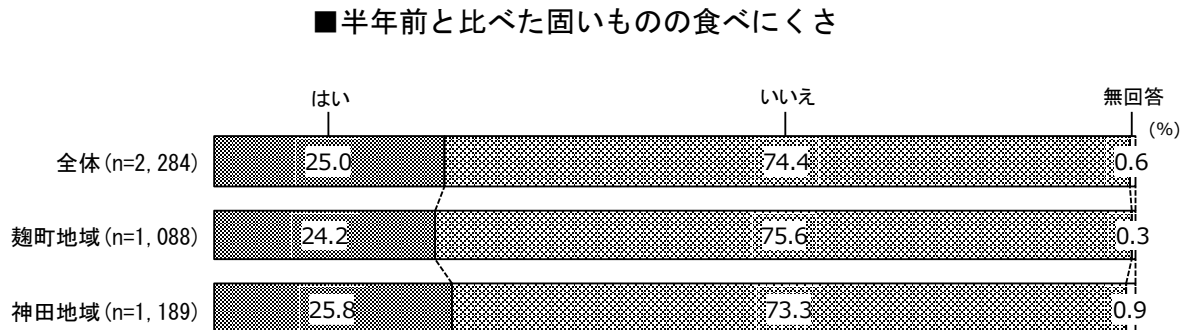
性別にみると、男性は「肥満 (1 度) (25.0～30.0 未満)」(25.2%) が女性に比べ多く、女性は「低体重 (18.5 未満)」(12.8%) が男性に比べ多くなっている。

		(%)					
性別		(低 1 8 5 未 満)	(普 通 1 8 5 ～ 2 5 0 未 満)	(肥 2 5 0 ～ 3 0 0 未 満)	(肥 3 0 0 ～ 3 5 0 未 満)	(肥 3 5 0 ～ 4 0 0 未 満)	(肥 4 0 0 以 上)
		9.6	66.0	19.6	2.1	0.1	2.5
性 別	全体 (n=2,284)	9.6	66.0	19.6	2.1	0.1	2.5
	男性 (n=921)	4.9	64.4	25.2	3.1	0.1	2.3
年 齢	女性 (n=1,356)	12.8	67.1	15.9	1.3	0.1	2.7
	65～74歳 (n=1,209)	8.6	66.7	20.4	2.6	0.2	1.4
認 定 状 況	75歳以上 (n=1,068)	10.8	65.2	18.8	1.5	-	3.7
	一般高齢者 (n=2,045)	8.9	66.8	19.9	2.1	0.1	2.2
要 支 援 2	総合事業対象者 (n=24)	12.5	70.8	16.7	-	-	-
	要支援1 (n=139)	15.8	61.2	15.1	0.7	0.7	6.5
要 支 援 1	要支援2 (n=69)	17.4	50.7	23.2	4.3	-	4.3

(2) 半年前と比べた固いものの食べにくさ (問 18)

半年前と比べた固いものの食べにくさは、「はい」(食べにくくなった)が25.0%、「いいえ」(食べにくくなっていない)が74.4%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「いいえ」(77.4%)が女性に比べ多く、女性は「はい」(27.3%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「はい」が32.0%となっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は2割強、要支援1は4割、要支援2は5割となっている。

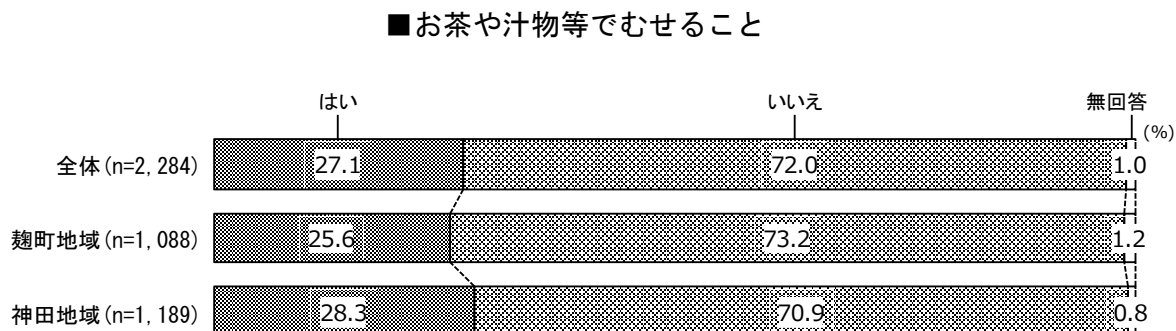
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体	(n=2,284)	25.0	74.4	0.6
性別	男性 (n=921)	21.7	77.4	0.9
	女性 (n=1,356)	27.3	72.3	0.4
年齢	65～74歳 (n=1,209)	18.9	80.9	0.2
	75歳以上 (n=1,068)	32.0	66.9	1.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	23.0	76.3	0.6
	総合事業対象者 (n=24)	37.5	62.5	—
	要支援1 (n=139)	40.3	59.7	—
	要支援2 (n=69)	49.3	49.3	1.4

第2章 調査結果

(3) お茶や汁物等でむせること（問 19）

お茶や汁物等でむせることは、「はい」（ある）が 27.1%、「いいえ」（ない）が 72.0% となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



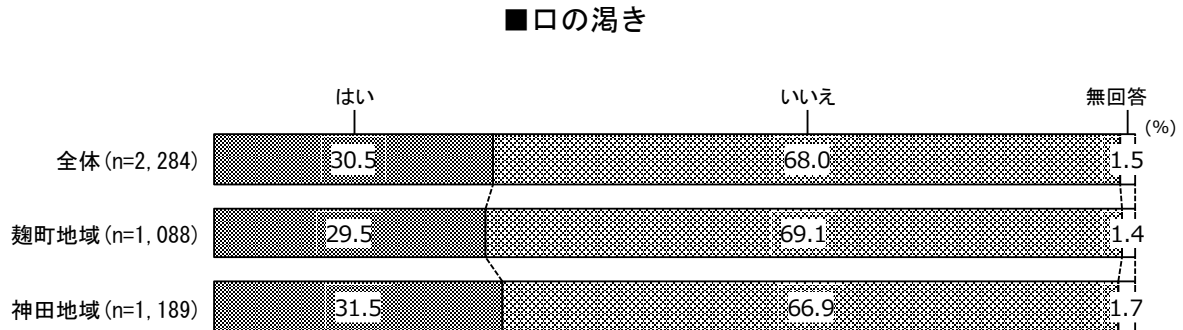
年齢別にみると、75 歳以上は「はい」が 30.9%となっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		27.1	72.0	1.0
性別	男性 (n=921)	25.5	73.2	1.3
	女性 (n=1,356)	28.1	71.2	0.7
年齢	65～74歳 (n=1,209)	23.7	76.0	0.3
	75歳以上 (n=1,068)	30.9	67.4	1.7
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	25.6	73.4	0.9
	総合事業対象者 (n=24)	41.7	58.3	—
	要支援 1 (n=139)	41.0	57.6	1.4
	要支援 2 (n=69)	36.2	62.3	1.4

(4) 口の渇き (問 20)

口の渇きは、「はい」(気になる)が30.5%、「いいえ」(気にならない)が68.0%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「いいえ」(70.9%)が女性に比べ多く、女性は「はい」(32.6%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「はい」が34.6%となっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は3割弱、要支援1と要支援2は4割台半ばとなっている。

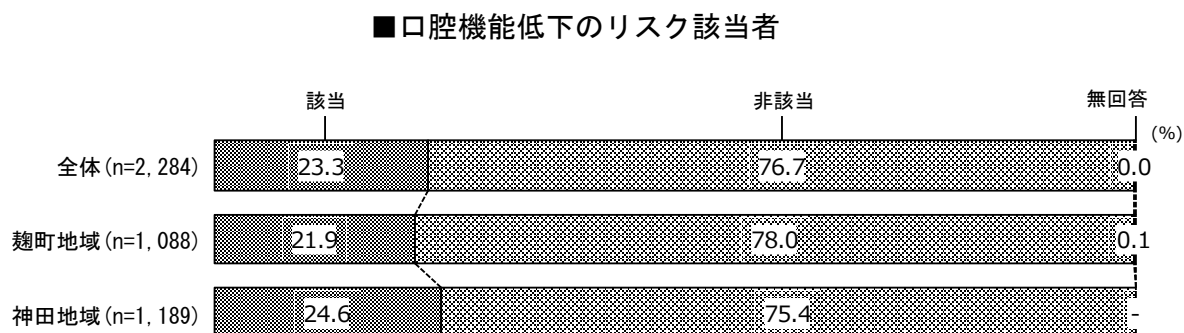
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		30.5	68.0	1.5
性別	男性 (n=921)	27.5	70.9	1.6
	女性 (n=1,356)	32.6	65.9	1.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	26.9	72.0	1.1
	75歳以上 (n=1,068)	34.6	63.3	2.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	28.5	70.1	1.4
	総合事業対象者 (n=24)	66.7	33.3	-
	要支援1 (n=139)	46.8	51.1	2.2
	要支援2 (n=69)	46.4	49.3	4.3

第2章 調査結果

(5) 口腔機能低下のリスク該当者

口腔機能低下のリスク該当者（問18～問20で「はい」と回答した人のうち、3問中2問以上該当している人）は23.3%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、女性は「該当」(25.5%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「該当」が28.1%となっている。

認定状況別にみると、「該当」が一般高齢者は2割強、要支援1と要支援2は約4割となっている。

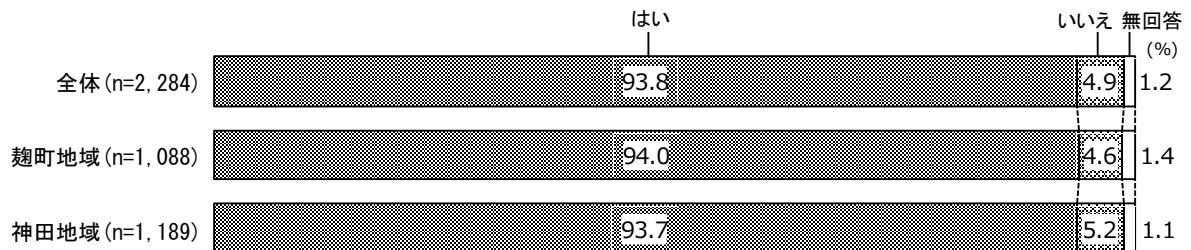
		(%)		
		該当	非該当	無回答
全体 (n=2,284)		23.3	76.7	0.0
性別	男性 (n=921)	20.1	79.8	0.1
	女性 (n=1,356)	25.5	74.5	-
年齢	65～74歳 (n=1,209)	19.1	80.9	-
	75歳以上 (n=1,068)	28.1	71.8	0.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	21.1	78.9	0.0
	総合事業対象者 (n=24)	54.2	45.8	-
	要支援1 (n=139)	42.4	57.6	-
	要支援2 (n=69)	40.6	59.4	-

(6) 毎日の歯磨き (問 21)

毎日の歯磨き（人にやってもらう場合も含む）は、「はい」（している）が93.8%、「いいえ」（していない）が4.9%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■毎日の歯磨き



性別にみると、男性は「いいえ」(6.6%)が女性に比べやや多く、女性は「はい」(95.2%)が男性に比べやや多くなっている。

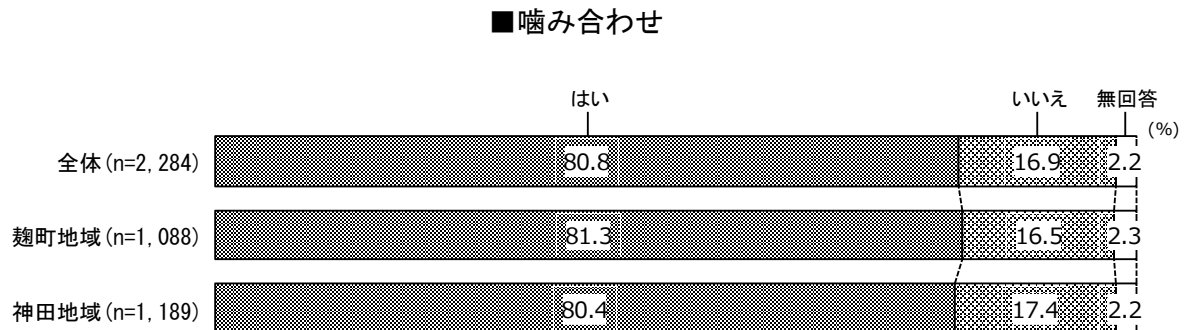
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体	(n=2,284)	93.8	4.9	1.2
性別	男性 (n=921)	91.9	6.6	1.5
	女性 (n=1,356)	95.2	3.8	1.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	95.0	4.5	0.5
	75歳以上 (n=1,068)	92.6	5.3	2.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	94.1	4.7	1.1
	総合事業対象者 (n=24)	87.5	12.5	-
	要支援1 (n=139)	94.2	3.6	2.2
	要支援2 (n=69)	87.0	10.1	2.9

第2章 調査結果

(7) 噛み合わせ (問 22)

噛み合わせは、「はい」(良い)が80.8%、「いいえ」(良くない)が16.9%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



年齢別にみると、75歳以上は「はい」(78.9%)が65～74歳に比べやや少なくなっている。

認定状況別にみると、「はい」が要支援2は6割台半ばとなっている。

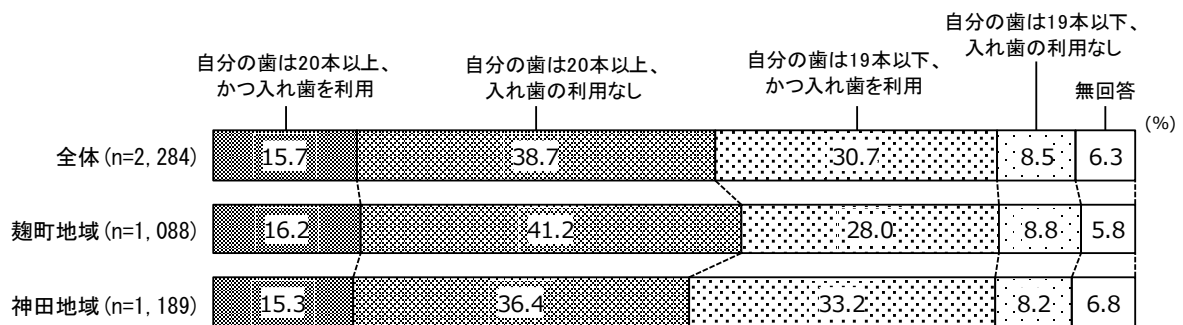
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体	(n=2,284)	80.8	16.9	2.2
性別	男性 (n=921)	80.0	17.6	2.4
	女性 (n=1,356)	81.3	16.5	2.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	82.5	16.2	1.3
	75歳以上 (n=1,068)	78.9	17.8	3.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	81.6	16.3	2.1
	総合事業対象者 (n=24)	79.2	20.8	-
	要支援1 (n=139)	77.7	18.7	3.6
	要支援2 (n=69)	63.8	30.4	5.8

(8) 歯の数と入れ歯の利用状況 (問 23)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 15.7%、「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 38.7%、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 30.7%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 8.5%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(41.2%) が神田地域に比べ多く、神田地域は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(33.2%) が麴町地域に比べ多くなっている。

■ 歯の数と入れ歯の利用状況



性別にみると、男性は「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(18.3%) が女性に比べやや多くなっている。

年齢別にみると、65～74 歳は「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(49.2%) が最も多く、75 歳以上は「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(39.5%) が最も多くなっている。

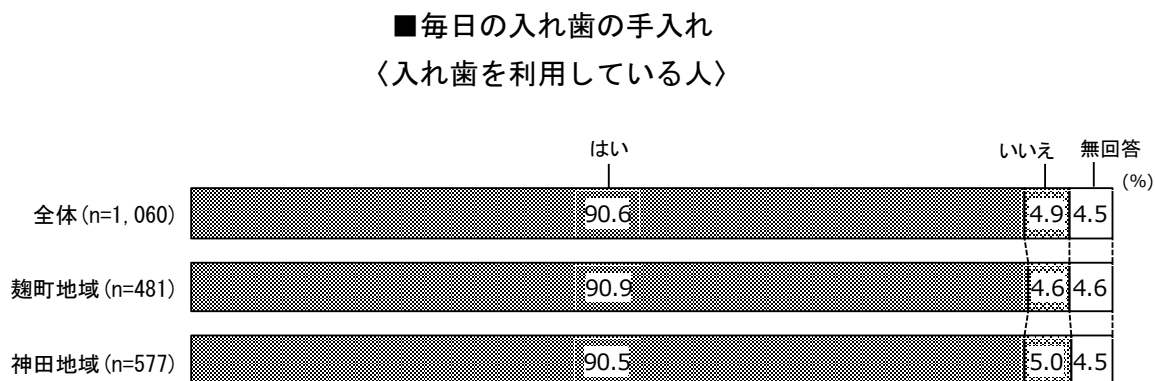
		(%)				
		自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	無回答
全体 (n=2, 284)		15. 7	38. 7	30. 7	8. 5	6. 3
性別	男性 (n=921)	18. 3	37. 5	31. 2	8. 4	4. 7
	女性 (n=1, 356)	13. 9	39. 5	30. 5	8. 6	7. 4
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	15. 1	49. 2	23. 0	9. 1	3. 6
	75歳以上 (n=1, 068)	16. 5	26. 8	39. 5	7. 9	9. 4
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	15. 9	40. 4	29. 5	8. 5	5. 6
	総合事業対象者 (n=24)	16. 7	50. 0	8. 3	16. 7	8. 3
	要支援 1 (n=139)	14. 4	21. 6	43. 2	7. 2	13. 7
	要支援 2 (n=69)	11. 6	18. 8	49. 3	8. 7	11. 6

第2章 調査結果

(9) 毎日の入れ歯の手入れ (問 23-1)

入れ歯を利用している人 (問 23 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人) の毎日の入れ歯の手入れは、「はい」(している) が 90.6%、「いいえ」(していない) が 4.9%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「いいえ」(8.8%) が女性に比べ多く、女性は「はい」(92.9%) が男性に比べ多くなっている。

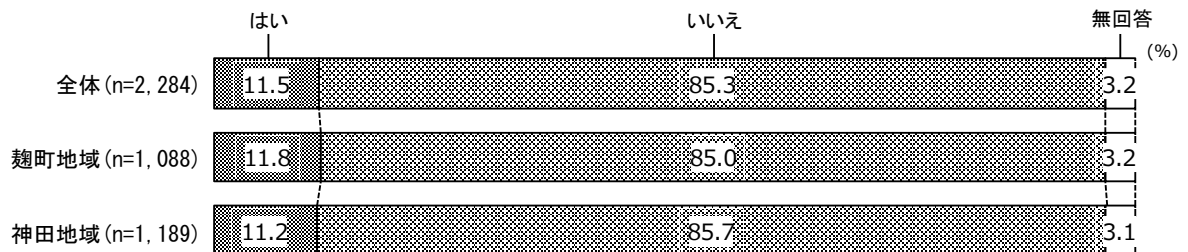
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=1,060)		90.6	4.9	4.5
性別	男性 (n=456)	87.7	8.8	3.5
	女性 (n=602)	92.9	1.8	5.3
年齢	65～74歳 (n=460)	90.0	5.7	4.3
	75歳以上 (n=598)	91.1	4.2	4.7
認定状況	一般高齢者 (n=930)	91.0	4.8	4.2
	総合事業対象者 (n=6)	100.0	—	—
	要支援 1 (n=80)	88.8	3.8	7.5
	要支援 2 (n=42)	85.7	7.1	7.1

(10) 6か月間での2～3kg以上の体重減少（問24）

6か月間での2～3kg以上の体重減少は、「はい」（あった）が11.5%、「いいえ」（なかった）が85.3%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 6か月間での2～3kg以上の体重減少



性、年齢による大きな違いはみられない。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		11.5	85.3	3.2
性別	男性 (n=921)	12.6	84.4	3.0
	女性 (n=1,356)	10.7	86.1	3.2
年齢	65～74歳 (n=1,209)	10.7	87.6	1.7
	75歳以上 (n=1,068)	12.4	82.9	4.8
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	11.1	86.0	3.0
	総合事業対象者 (n=24)	12.5	87.5	—
	要支援1 (n=139)	16.5	78.4	5.0
	要支援2 (n=69)	13.0	81.2	5.8

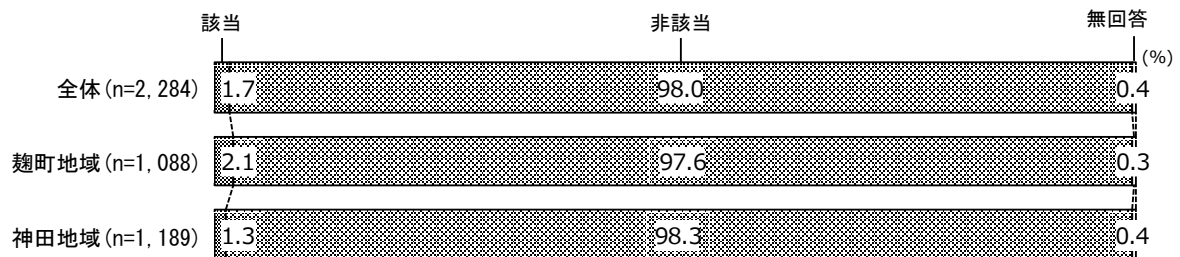
第2章 調査結果

(11) 低栄養のリスク該当者

低栄養のリスク該当者（BMI 18.5 以下（問 17）で、かつ問 24 で「はい」と回答した人）は 1.7%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■低栄養のリスク該当者



性、年齢による大きな違いはみられない。

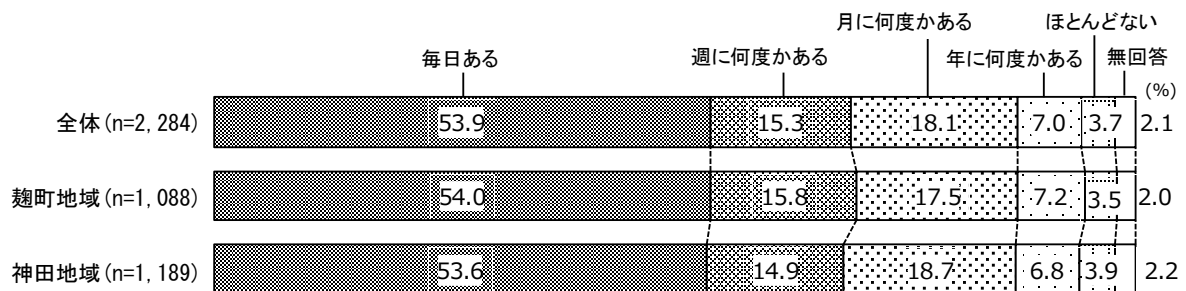
		(%)		
		該当	非該当	無回答
全体 (n=2,284)		1.7	98.0	0.4
性別	男性 (n=921)	0.8	98.9	0.3
	女性 (n=1,356)	2.3	97.3	0.4
年齢	65～74歳 (n=1,209)	1.2	98.6	0.2
	75歳以上 (n=1,068)	2.2	97.3	0.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	1.4	98.3	0.3
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	95.8	—
	要支援1 (n=139)	4.3	95.0	0.7
	要支援2 (n=69)	2.9	95.7	1.4

(12) 誰かと食事をとる機会（問 25）

誰かと食事をとる機会は、「毎日ある」が 53.9%、「週に何度かある」が 15.3%、「月に何度かある」が 18.1%、「年に何度かある」が 7.0%、「ほとんどない」が 3.7%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 誰かと食事をとる機会



性別にみると、男性は「毎日ある」(57.5%)が女性に比べ多く、女性は「月に何度かある」(21.5%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「毎日ある」(60.4%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「月に何度かある」(21.6%)が65～74歳に比べ多くなっている。

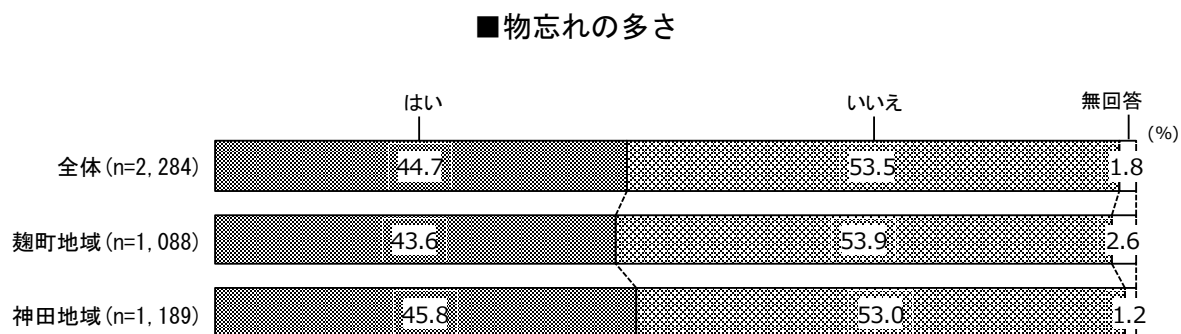
		(%)					
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体 (n=2,284)		53.9	15.3	18.1	7.0	3.7	2.1
性別	男性 (n=921)	57.5	15.5	13.0	6.5	4.8	2.6
	女性 (n=1,356)	51.3	15.2	21.5	7.3	2.9	1.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	60.4	14.9	15.0	5.5	2.5	1.7
	75歳以上 (n=1,068)	46.3	15.8	21.6	8.6	5.1	2.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	55.6	15.3	17.3	6.7	3.2	2.1
	総合事業対象者 (n=24)	50.0	12.5	25.0	8.3	4.2	-
	要支援1 (n=139)	33.1	11.5	30.9	11.5	10.1	2.9
	要支援2 (n=69)	44.9	26.1	14.5	7.2	5.8	1.4

5. 毎日の生活について

(1) 物忘れの多さ (問 26)

物忘れの多さは、「はい」(多いと感じる)が44.7%、「いいえ」(多いと感じない)が53.5%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「いいえ」(55.7%)が女性に比べやや多く、女性は「はい」(46.2%)が男性に比べやや多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「はい」が51.9%となっている。

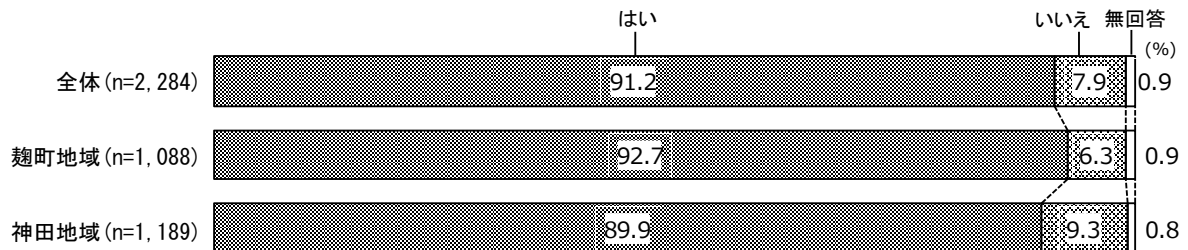
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		44.7	53.5	1.8
性別	男性 (n=921)	42.7	55.7	1.6
	女性 (n=1,356)	46.2	51.8	2.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	38.5	60.2	1.3
	75歳以上 (n=1,068)	51.9	45.7	2.4
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	43.4	54.8	1.8
	総合事業対象者 (n=24)	66.7	33.3	-
	要支援1 (n=139)	58.3	40.3	1.4
	要支援2 (n=69)	49.3	44.9	5.8

(2) 自分で電話番号を調べて電話をかけること (問 27)

自分で電話番号を調べて電話をかけることは、「はい」(している)が91.2%、「いいえ」(していない)が7.9%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 自分で電話番号を調べて電話をかけること



性別にみると、男性は「いいえ」(9.7%)が女性に比べやや多く、女性は「はい」(92.6%)が男性に比べやや多くなっている。

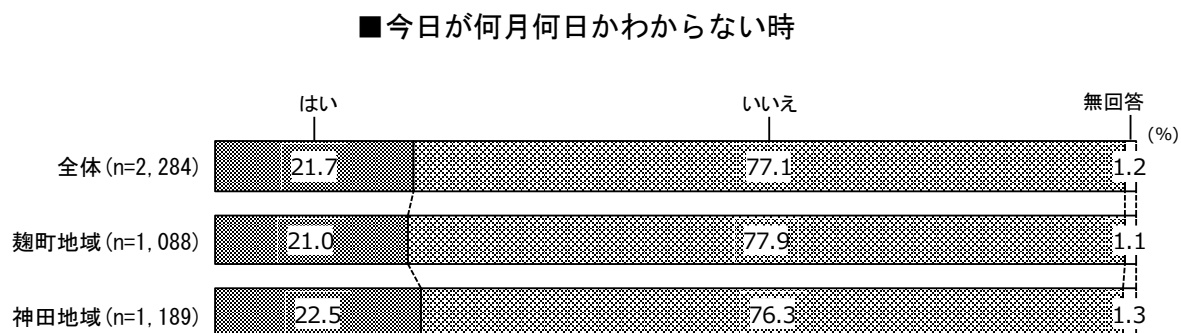
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		91.2	7.9	0.9
性別	男性 (n=921)	89.4	9.7	1.0
	女性 (n=1,356)	92.6	6.6	0.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	91.8	7.9	0.3
	75歳以上 (n=1,068)	90.6	7.9	1.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	91.7	7.4	0.8
	総合事業対象者 (n=24)	91.7	8.3	—
	要支援1 (n=139)	84.9	13.7	1.4
	要支援2 (n=69)	89.9	8.7	1.4

第2章 調査結果

(3) 今日が何月何日かわからない時（問 28）

今日が何月何日かわからない時は、「はい」（ある）が 21.7%、「いいえ」（ない）が 77.1% となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



年齢別にみると、75 歳以上は「はい」が 27.5%となっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は 2 割、要支援 1 は 3 割台半ば、要支援 2 は 4 割弱となっている。

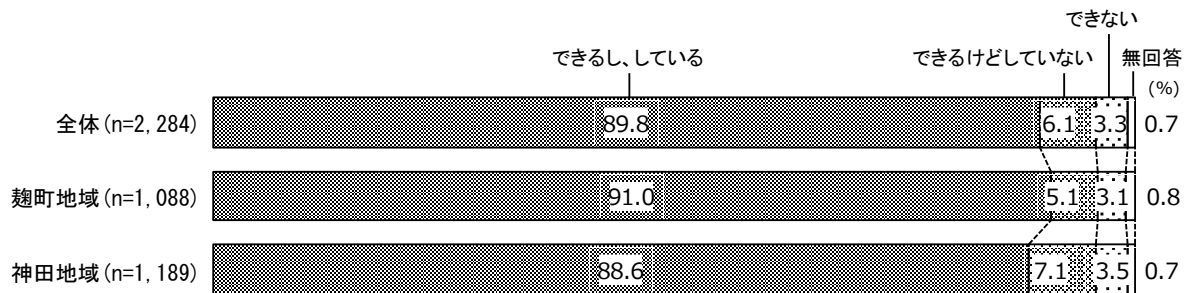
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体	(n=2,284)	21.7	77.1	1.2
性別	男性 (n=921)	22.5	76.1	1.4
	女性 (n=1,356)	21.2	77.7	1.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	16.6	82.8	0.6
	75歳以上 (n=1,068)	27.5	70.6	1.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	20.1	78.8	1.1
	総合事業対象者 (n=24)	20.8	79.2	-
	要支援 1 (n=139)	36.7	60.4	2.9
	要支援 2 (n=69)	39.1	59.4	1.4

(4) バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）（問 29）

バスや電車を使って1人で外出することは、「できるし、している」が89.8%、「できるけどしていない」が6.1%、「できない」が3.3%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■バスや電車を使って1人で外出すること



性別にみると、男性は「できるし、している」(92.2%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「できるし、している」が95.7%となっており、75歳以上は「できるけどしていない」が9.6%、「できない」が6.1%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は9割強、要支援1は6割台半ば、要支援2は5割強となっており、「できない」が要支援1は1割台半ば、要支援2は3割台半ばとなっている。

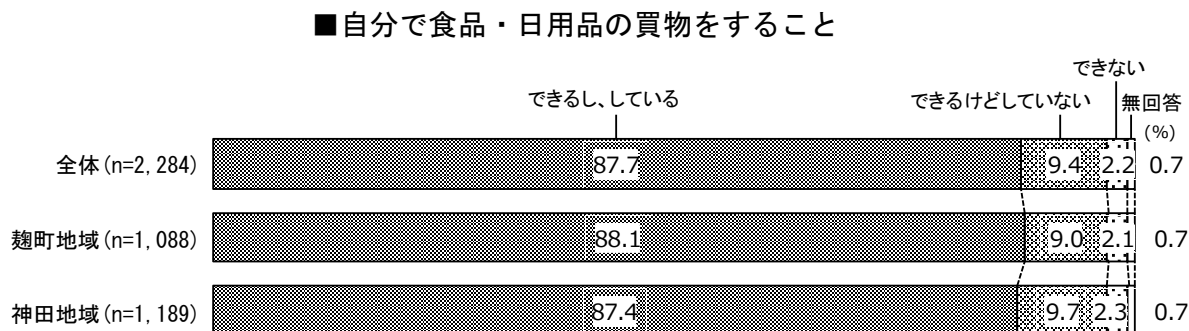
		しているし、	しているけど	できない	(%) 無回答
全体 (n=2, 284)		89. 8	6. 1	3. 3	0. 7
性別	男性 (n=921)	92. 2	5. 0	2. 0	0. 9
	女性 (n=1, 356)	88. 1	6. 9	4. 3	0. 7
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	95. 7	3. 1	0. 9	0. 2
	75歳以上 (n=1, 068)	83. 1	9. 6	6. 1	1. 3
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	92. 5	5. 3	1. 6	0. 6
	総合事業対象者 (n=24)	95. 8	-	4. 2	-
	要支援 1 (n=139)	66. 9	17. 3	13. 7	2. 2
	要支援 2 (n=69)	52. 2	11. 6	34. 8	1. 4

第2章 調査結果

(5) 自分で食品・日用品の買物をする事（問 30）

自分で食品・日用品の買物をする事は、「できるし、している」が 87.7%、「できるけどしていない」が 9.4%、「できない」が 2.2%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「できるけどしていない」(16.7%)が女性に比べ多く、女性は「できるし、している」(92.5%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「できるし、している」が 91.7%となっており、75歳以上は「できるけどしていない」が 11.7%、「できない」が 3.8%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は9割、要支援1は7割強、要支援2は6割強となっており、「できない」が要支援1は1割、要支援2は2割となっている。

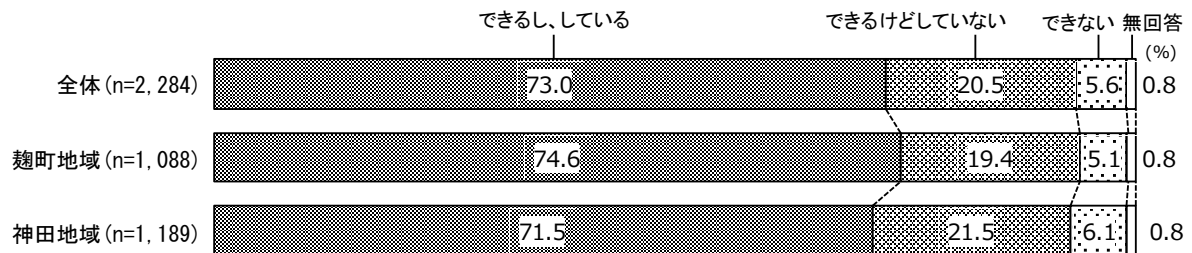
		(%)			
		しで て き る し 、	しで て き る な け い ど	で き な い	無 回 答
全体 (n=2,284)		87.7	9.4	2.2	0.7
性別	男性 (n=921)	80.8	16.7	1.5	1.0
	女性 (n=1,356)	92.5	4.4	2.7	0.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	91.7	7.3	0.7	0.2
	75歳以上 (n=1,068)	83.2	11.7	3.8	1.2
認定 状況	一般高齢者 (n=2,045)	89.7	8.7	1.1	0.5
	総合事業対象者 (n=24)	87.5	12.5	-	-
	要支援1 (n=139)	71.2	16.5	10.1	2.2
	要支援2 (n=69)	62.3	14.5	20.3	2.9

(6) 自分で食事の用意をすること (問 31)

自分で食事の用意をすることは、「できるし、している」が73.0%、「できるけどしていない」が20.5%、「できない」が5.6%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「できるし、している」(74.6%)が神田地域に比べやや多くなっている。

■ 自分で食事の用意をすること



性別にみると、男性は「できるけどしていない」(42.0%)、「できない」(11.0%)が女性に比べ多く、女性は「できるし、している」(91.5%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「できない」が8.2%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は7割台半ば、要支援1は7割、要支援2は6割となっており、「できない」が要支援2は2割強となっている。

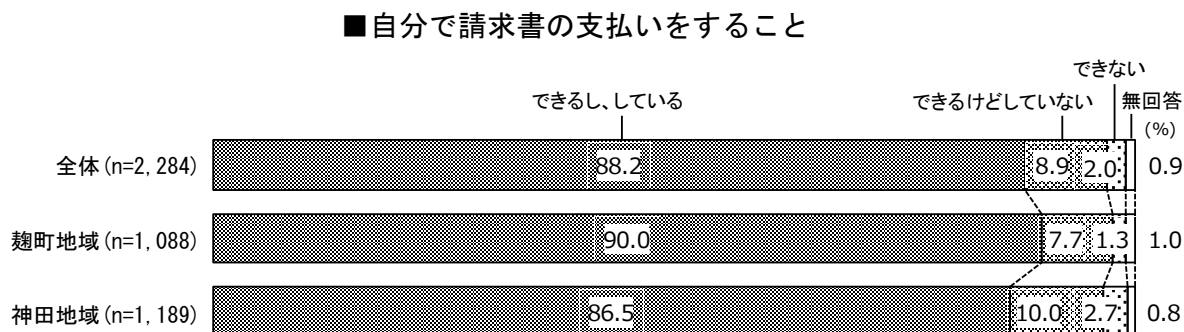
		(%)			
		しで て き る し 、	しで て き い る な け い ど	で き な い	無 回 答
		るし、	いど		
全体	(n=2,284)	73.0	20.5	5.6	0.8
性別	男性 (n=921)	45.7	42.0	11.0	1.3
	女性 (n=1,356)	91.5	5.9	2.1	0.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	74.4	21.8	3.4	0.4
	75歳以上 (n=1,068)	71.3	19.1	8.2	1.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	73.5	20.9	4.9	0.7
	総合事業対象者 (n=24)	79.2	16.7	4.2	-
	要支援1 (n=139)	70.5	18.0	9.4	2.2
	要支援2 (n=69)	60.9	15.9	21.7	1.4

第2章 調査結果

(7) 自分で請求書の支払いをすること (問 32)

自分で請求書の支払いをすることは、「できるし、している」が 88.2%、「できるけどしていない」が 8.9%、「できない」が 2.0%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「できるし、している」(90.0%)が神田地域に比べやや多くなっている。



性別にみると、男性は「できるけどしていない」(14.5%)が女性に比べ多く、女性は「できるし、している」(92.4%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「できるけどしていない」が 10.1%、「できない」が 3.0%となっている。

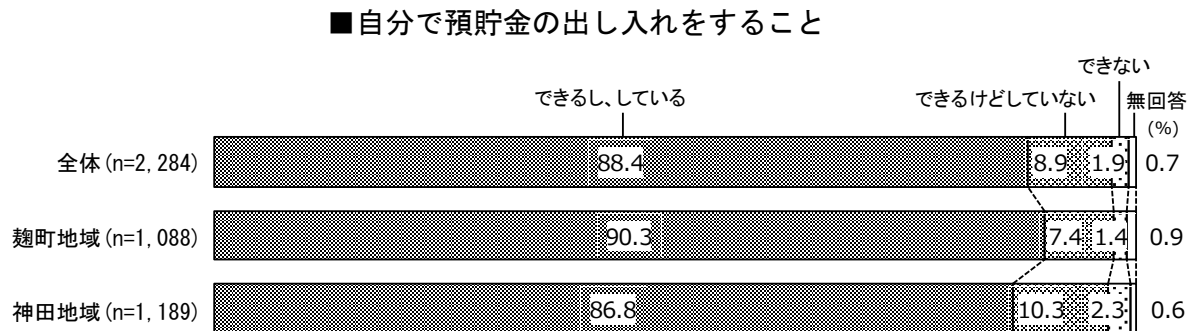
認定状況別にみると、要支援2は「できるし、している」が7割弱、「できない」が1割強となっている。

		(%)			
		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全体 (n=2,284)		88.2	8.9	2.0	0.9
性別	男性 (n=921)	82.0	14.5	2.3	1.2
	女性 (n=1,356)	92.4	5.1	1.8	0.7
年齢	65～74歳 (n=1,209)	90.7	7.9	1.2	0.3
	75歳以上 (n=1,068)	85.4	10.1	3.0	1.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	89.1	8.8	1.5	0.6
	総合事業対象者 (n=24)	83.3	16.7	-	-
	要支援1 (n=139)	84.9	8.6	5.0	1.4
	要支援2 (n=69)	68.1	11.6	13.0	7.2

(8) 自分で預貯金の出し入れをすること (問 33)

自分で預貯金の出し入れをすることは、「できるし、している」が 88.4%、「できるけどしていない」が 8.9%、「できない」が 1.9%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「できるし、している」(90.3%)が神田地域に比べやや多くなっている。



性別にみると、男性は「できるけどしていない」(14.1%)が女性に比べ多く、女性は「できるし、している」(92.3%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「できるけどしていない」が 10.5%、「できない」が 3.2%となっている。

認定状況別にみると、「できるし、している」が一般高齢者は9割、要支援1は8割強、要支援2は7割強となっており、「できない」が要支援2は1割となっている。

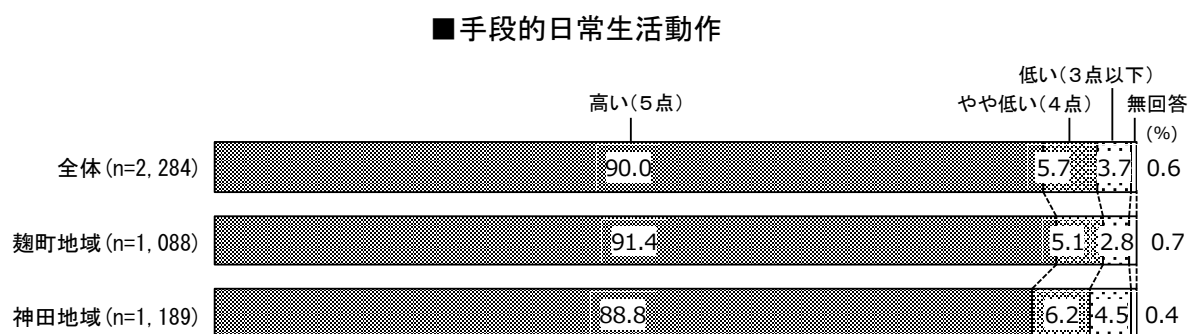
		(%)			
		しで て き い る し 、	しで て き い る な け い ど	で き な い	無 回 答
全体	(n=2,284)	88.4	8.9	1.9	0.7
性別	男性 (n=921)	82.7	14.1	2.2	1.0
	女性 (n=1,356)	92.3	5.5	1.6	0.6
年齢	65～74歳 (n=1,209)	91.5	7.6	0.7	0.2
	75歳以上 (n=1,068)	85.0	10.5	3.2	1.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	89.3	8.7	1.4	0.6
	総合事業対象者 (n=24)	91.7	8.3	-	-
	要支援1 (n=139)	82.7	11.5	4.3	1.4
	要支援2 (n=69)	72.5	13.0	10.1	4.3

第2章 調査結果

(9) 手段的日常生活動作 (IADL)

手段的日常生活動作は、(IADL) (問 29～問 33 で「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した人を1点、「できない」と回答した人を0点と加点)は、「高い(5点)」が90.0%、「低い」(「やや低い(4点)」「低い(3点以下)」の合計)が9.4%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



※ IADLとは、モノや道具を使ってする生活能力のことをいう。ADL(日常生活動作)が、自立して生活するための基本的な身体的動作(食事、入浴、排泄など)を指しているのに対し、IADLはより広義で、日常の動作より応用的な動作が必要な活動(バスに乗って買い物に行く、食事の支度をする、電話をかけるなど)を指している。

性別にみると、男性は「低い」(13.9%)が女性に比べ多く、女性は「高い(5点)」(93.2%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「低い」が14.9%となっている。

認定状況別にみると、「低い」が要支援1は2割台半ば、要支援2は4割台半ばとなっている。

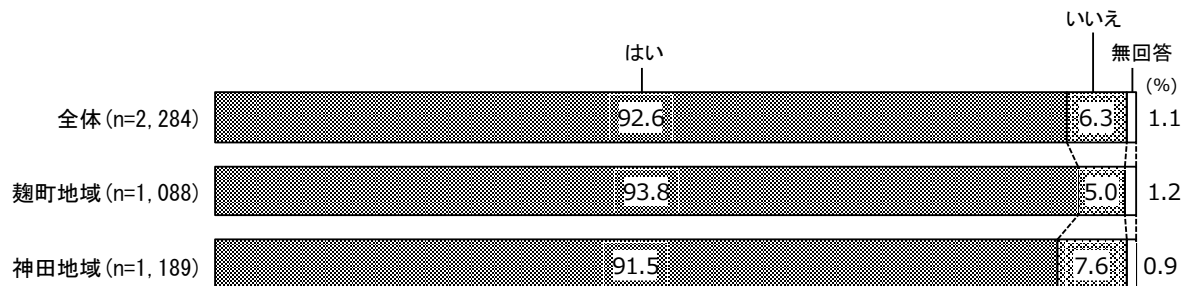
		(%)			
		高い (5点)	やや低い (4点)	低い (3点以下)	無回答
全体 (n=2,284)		90.0	5.7	3.7	0.6
性別	男性 (n=921)	85.3	10.1	3.8	0.8
	女性 (n=1,356)	93.2	2.7	3.6	0.4
年齢	65～74歳 (n=1,209)	95.2	3.1	1.4	0.2
	75歳以上 (n=1,068)	84.2	8.6	6.3	0.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	92.3	5.0	2.2	0.5
	総合事業対象者 (n=24)	91.7	8.3	-	-
	要支援1 (n=139)	74.1	13.7	10.8	1.4
	要支援2 (n=69)	55.1	8.7	34.8	1.4

(10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）の記入（問 34）

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）の記入は、「はい」（書ける）が 92.6%、「いいえ」（書けない）が 6.3%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■年金などの書類（役所や病院などに出す書類）の記入



年齢別にみると、75歳以上は「いいえ」が 9.9%となっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は 9 割台半ば、要支援 1 は 8 割強、要支援 2 は 7 割台半ばとなっており、「いいえ」が要支援 1 は 1 割台半ば、要支援 2 が 2 割台半ばとなっている。

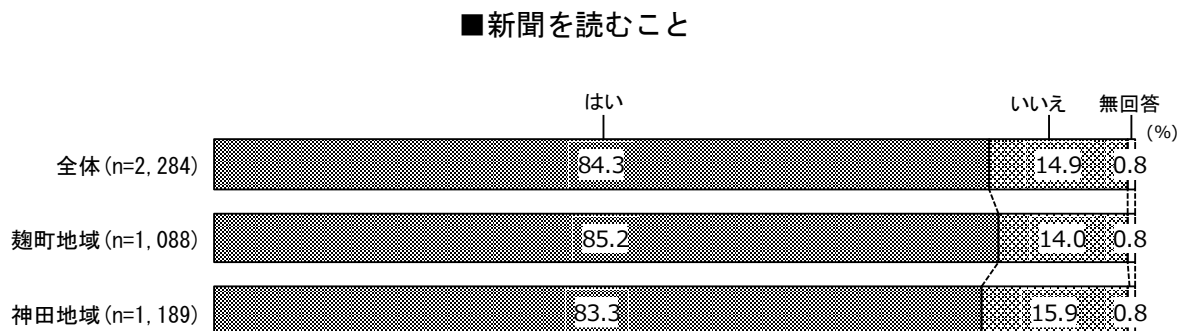
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		92.6	6.3	1.1
性別	男性 (n=921)	92.5	6.1	1.4
	女性 (n=1,356)	92.7	6.5	0.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	96.3	3.1	0.6
	75歳以上 (n=1,068)	88.5	9.9	1.6
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	93.8	5.2	1.0
	総合事業対象者 (n=24)	100.0	-	-
	要支援 1 (n=139)	82.7	15.1	2.2
	要支援 2 (n=69)	73.9	24.6	1.4

第2章 調査結果

(11) 新聞を読むこと（問 35）

新聞を読むことは、「はい」（読んでいる）が 84.3%、「いいえ」（読んでいない）が 14.9% となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「はい」（87.8%）が女性に比べ多く、女性は「いいえ」（17.5%）が男性に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は8割台半ば、要支援1が8割、要支援2が6割台半ばとなっており、「いいえ」が要支援2は3割台半ばとなっている。

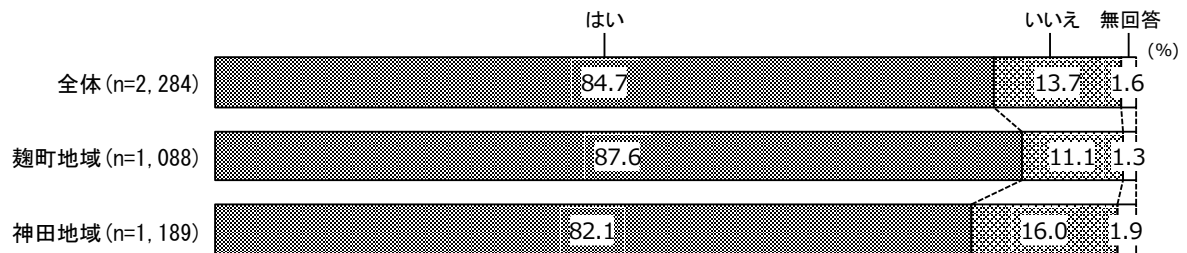
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		84.3	14.9	0.8
性別	男性 (n=921)	87.8	11.3	0.9
	女性 (n=1,356)	81.8	17.5	0.7
年齢	65～74歳 (n=1,209)	83.1	16.5	0.3
	75歳以上 (n=1,068)	85.5	13.2	1.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	85.2	14.1	0.7
	総合事業対象者 (n=24)	79.2	20.8	-
	要支援1 (n=139)	80.6	17.3	2.2
	要支援2 (n=69)	65.2	33.3	1.4

(12) 本や雑誌を読むこと (問 36)

本や雑誌を読むことは、「はい」(読んでいる)が84.7%、「いいえ」(読んでいない)が13.7%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「はい」(87.6%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「いいえ」(16.0%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■本や雑誌を読むこと



年齢別にみると、65～74歳は「はい」(88.5%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「いいえ」(17.6%)が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は8割台半ば、要支援1と要支援2は7割強となっており、「いいえ」が要支援1と要支援2は2割台半ばとなっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		84.7	13.7	1.6
性別	男性 (n=921)	85.5	13.1	1.4
	女性 (n=1,356)	84.2	14.0	1.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	88.5	10.2	1.3
	75歳以上 (n=1,068)	80.4	17.6	2.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	86.0	12.5	1.6
	総合事業対象者 (n=24)	87.5	12.5	-
	要支援1 (n=139)	72.7	24.5	2.9
	要支援2 (n=69)	71.0	27.5	1.4

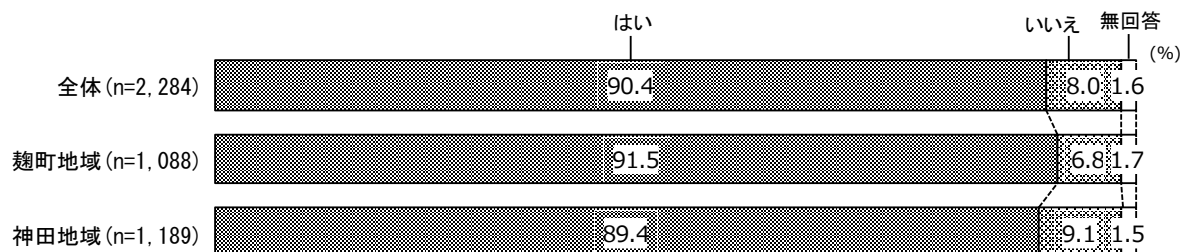
第2章 調査結果

(13) 健康についての記事や番組への関心（問 37）

健康についての記事や番組への関心は、「はい」（ある）が 90.4%、「いいえ」（ない）が 8.0%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■健康についての記事や番組への関心



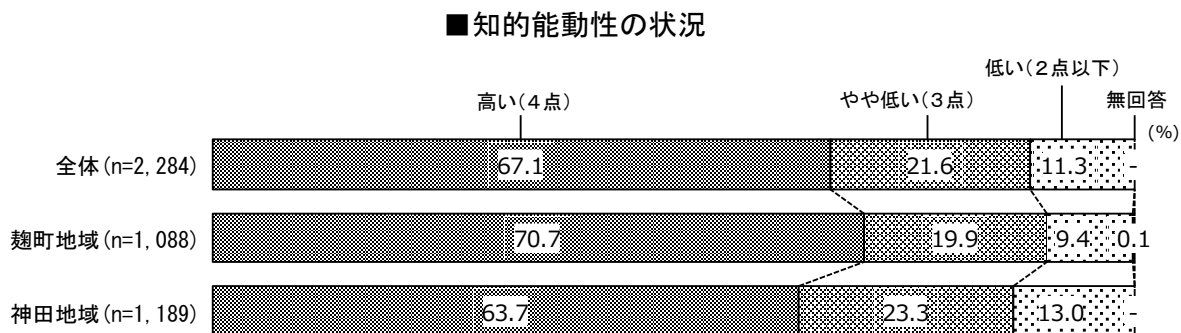
性別にみると、男性は「いいえ」（11.6%）が女性に比べ多く、女性は「はい」（92.8%）が男性に比べ多くなっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体	(n=2,284)	90.4	8.0	1.6
性別	男性 (n=921)	86.9	11.6	1.5
	女性 (n=1,356)	92.8	5.5	1.6
年齢	65～74歳 (n=1,209)	90.7	8.2	1.1
	75歳以上 (n=1,068)	90.1	7.8	2.2
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	90.0	8.4	1.6
	総合事業対象者 (n=24)	100.0	-	-
	要支援1 (n=139)	96.4	2.2	1.4
	要支援2 (n=69)	88.4	10.1	1.4

(14) 知的能動性の状況

知的能動性（問 34～問 37 の老研式活動能力指標に準じた高齢者の知的活動に関する設問で「はい」と回答した人に1点、「いいえ」と回答した人に0点と加点）の状況は、「高い（4点）」が67.1%、「低い」（「やや低い（3点）」「低い（2点以下）」の合計）が32.9%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「高い（4点）」（70.7%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「低い」（36.3%）が麴町地域に比べ多くなっている。



※「老研式活動能力指標」：高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる尺度。

年齢別にみると、75歳以上は「低い」が35.9%となっている。

認定状況別にみると、「高い（4点）」が一般高齢者は7割弱、要支援1は5割台半ば、要支援2は5割となっており、「低い」が要支援1は4割台半ば、要支援2は5割となっている。

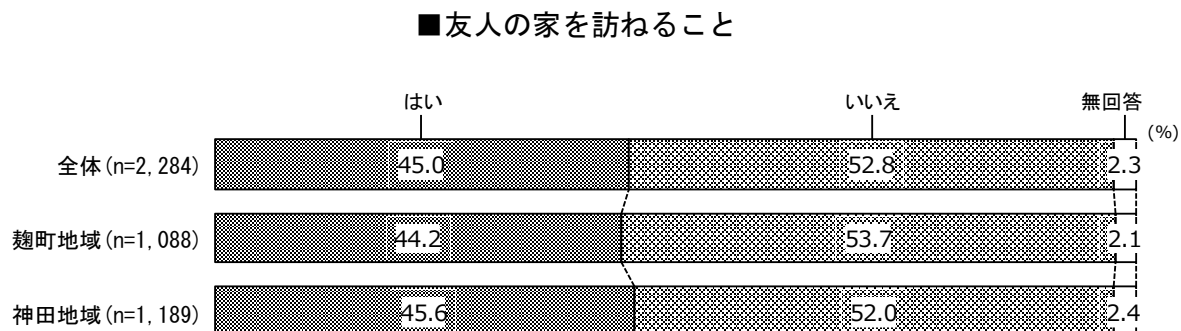
		(%)			
		高い (4点)	やや低い (3点)	低い (2点以下)	無回答
全体 (n=2,284)		67.1	21.6	11.3	-
性別	男性 (n=921)	67.9	20.5	11.5	0.1
	女性 (n=1,356)	66.4	22.4	11.1	-
年齢	65～74歳 (n=1,209)	69.6	21.3	9.0	-
	75歳以上 (n=1,068)	64.0	22.0	13.9	0.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	68.4	21.2	10.3	-
	総合事業対象者 (n=24)	66.7	33.3	-	-
	要支援1 (n=139)	55.4	28.8	15.8	-
	要支援2 (n=69)	49.3	15.9	34.8	-

第2章 調査結果

(15) 友人の家を訪ねること（問 38）

友人の家を訪ねることは、「はい」（訪ねている）が 45.0%、「いいえ」（訪ねていない）が 52.8%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



性別にみると、男性は「いいえ」（56.7%）が女性に比べ多く、女性は「はい」（47.3%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「はい」（49.0%）が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「いいえ」（56.7%）が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は4割台半ば、要支援1は3割、要支援2は2割強となっている。

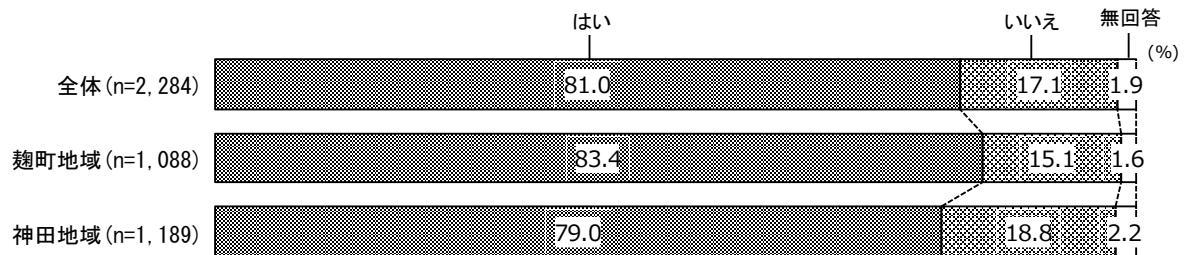
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		45.0	52.8	2.3
性別	男性 (n=921)	41.5	56.7	1.8
	女性 (n=1,356)	47.3	50.1	2.6
年齢	65～74歳 (n=1,209)	49.0	49.3	1.7
	75歳以上 (n=1,068)	40.3	56.7	3.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	46.6	51.2	2.2
	総合事業対象者 (n=24)	54.2	45.8	-
	要支援1 (n=139)	29.5	67.6	2.9
	要支援2 (n=69)	23.2	72.5	4.3

(16) 家族や友人の相談にのること（問 39）

家族や友人の相談にのことは、「はい」（のっている）が 81.0%、「いいえ」（のっていない）が 17.1%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「はい」（83.4%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「いいえ」（18.8%）が麴町地域に比べ多くなっている。

■家族や友人の相談にのること



性別にみると、男性は「いいえ」（20.1%）が女性に比べ多く、女性は「はい」（83.3%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「はい」（85.8%）が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「いいえ」（21.8%）が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「はい」が一般高齢者は8割強、要支援1と要支援2は6割台半ばとなっており、「いいえ」が要支援1と要支援2は3割台半ばとなっている。

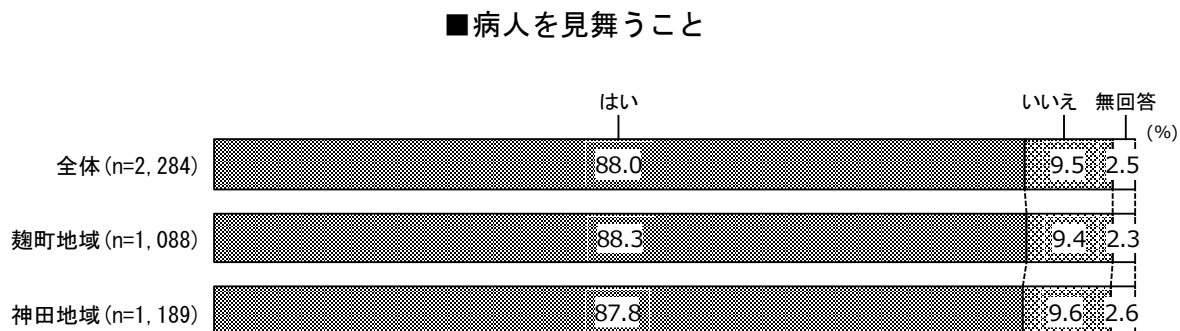
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		81.0	17.1	1.9
性別	男性 (n=921)	77.9	20.1	2.1
	女性 (n=1,356)	83.3	15.0	1.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	85.8	12.8	1.4
	75歳以上 (n=1,068)	75.7	21.8	2.4
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	82.8	15.3	1.9
	総合事業対象者 (n=24)	79.2	20.8	-
	要支援1 (n=139)	64.0	33.1	2.9
	要支援2 (n=69)	63.8	34.8	1.4

第2章 調査結果

(17) 病人を見舞うこと（問 40）

病人を見舞うことは、「はい」（できる）が88.0%、「いいえ」（できない）が9.5%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。



年齢別にみると、65～74歳は「はい」（93.3%）が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「いいえ」（14.4%）が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると「はい」が一般高齢者は9割、要支援1は7割、要支援2は5割台半ばとなっており、「いいえ」が要支援1は2割台半ば、要支援2は4割台半ばとなっている。

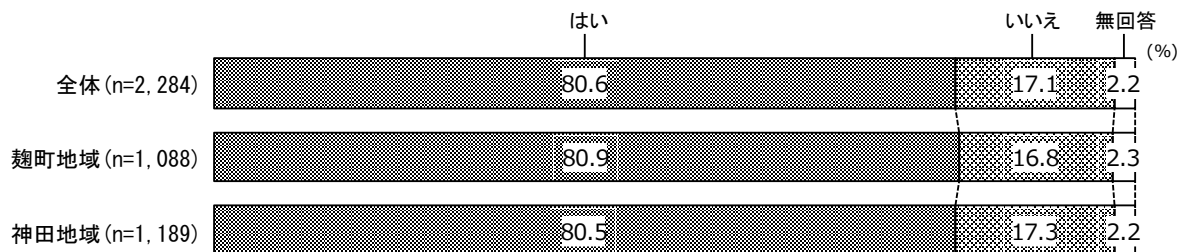
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		88.0	9.5	2.5
性別	男性 (n=921)	89.6	8.7	1.7
	女性 (n=1,356)	87.0	10.0	2.9
年齢	65～74歳 (n=1,209)	93.3	5.1	1.6
	75歳以上 (n=1,068)	82.1	14.4	3.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	90.4	7.2	2.4
	総合事業対象者 (n=24)	91.7	8.3	-
	要支援1 (n=139)	70.5	25.9	3.6
	要支援2 (n=69)	53.6	43.5	2.9

(18) 若い人に自分から話しかけること（問41）

若い人に自分から話しかけることは、「はい」（ある）が80.6%、「いいえ」（ない）が17.1%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■若い人に自分から話しかけること



性別にみると、男性は「いいえ」（20.6%）が女性に比べ多く、女性は「はい」（82.9%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「はい」（83.6%）が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「いいえ」（19.7%）が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると「はい」が一般高齢者は8割強、要支援1と要支援2は7割、「いいえ」が要支援1と要支援2は3割弱となっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体	(n=2,284)	80.6	17.1	2.2
性別	男性 (n=921)	77.4	20.6	2.0
	女性 (n=1,356)	82.9	14.7	2.4
年齢	65～74歳 (n=1,209)	83.6	14.8	1.6
	75歳以上 (n=1,068)	77.3	19.7	3.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	81.9	15.8	2.2
	総合事業対象者 (n=24)	75.0	25.0	-
	要支援1 (n=139)	69.1	28.1	2.9
	要支援2 (n=69)	69.6	29.0	1.4

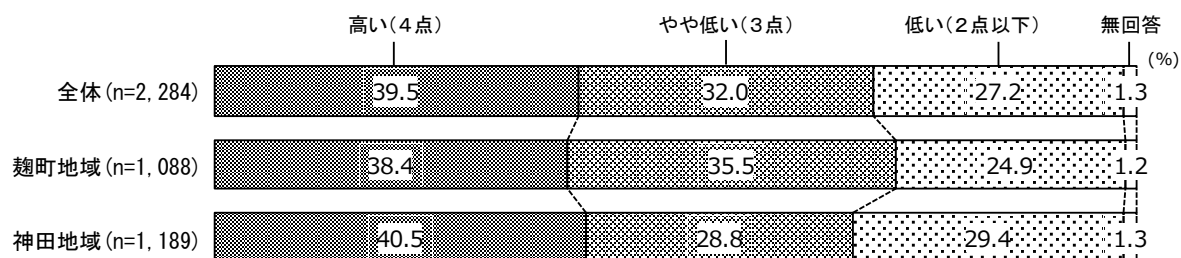
第2章 調査結果

(19) 社会的役割

社会的役割（問38～問41で「はい」と回答した人に1点、「いいえ」と回答した人に0点を加点）は、「高い（4点）」が39.5%、「低い」（「やや低い（3点）」「低い（2点以下）」の合計）が59.2%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「やや低い（3点）」（35.5%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「低い（2点以下）」（29.4%）が麴町地域に比べ多くなっている。

■社会的役割



性別にみると、男性は「低い」（62.8%）が女性に比べ多く、女性は「高い（4点）」（41.9%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「高い（4点）」（45.0%）が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「低い」（65.1%）が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると「高い（4点）」が一般高齢者は4割強、要支援1は2割強、要支援2は2割弱となっており、「低い（2点以下）」が要支援1は5割、要支援2は6割となっている。

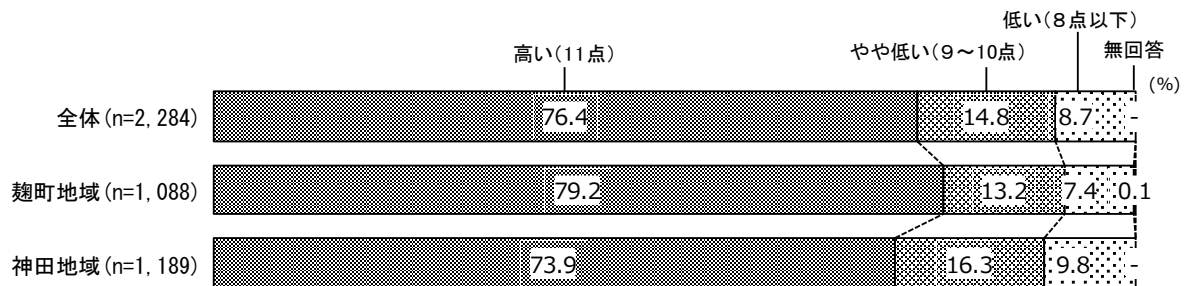
		(%)			
		高い (4点)	やや低い (3点)	低い (2点以下)	無回答
全体	(n=2,284)	39.5	32.0	27.2	1.3
性別	男性 (n=921)	35.9	33.3	29.5	1.2
	女性 (n=1,356)	41.9	31.1	25.7	1.3
年齢	65～74歳 (n=1,209)	45.0	33.1	21.0	0.9
	75歳以上 (n=1,068)	33.2	30.8	34.3	1.7
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	41.3	32.9	24.6	1.3
	総合事業対象者 (n=24)	41.7	29.2	29.2	-
	要支援1 (n=139)	23.0	25.9	49.6	1.4
	要支援2 (n=69)	18.8	20.3	59.4	1.4

(20) 老研指標総合評価

老研指標総合評価（(9) 手段的日常生活動作（IADL）、(14) 知的能動性、(19) 社会的役割の状況の評価項目の合計点（13点満点）で評価）は、「高い（11点）」が76.4%、「低い」（「やや低い（9～10点）」「低い（8点以下）」の合計）が23.5%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「高い（11点）」（79.2%）が神田地域に比べ多く、神田地域は“低い”（26.1%）が麴町地域に比べ多くなっている。

■老研指標総合評価



性別にみると、男性は“低い”（26.2%）が女性に比べ多く、女性は「高い（11点）」（78.3%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は“低い”が29.7%となっている。

認定状況別にみると、「高い（11点）」が一般高齢者は8割、要支援1は5割台半ば、要支援2は4割となっており、「低い（8点以下）」が要支援1は2割強、要支援2は4割台半ばとなっている。

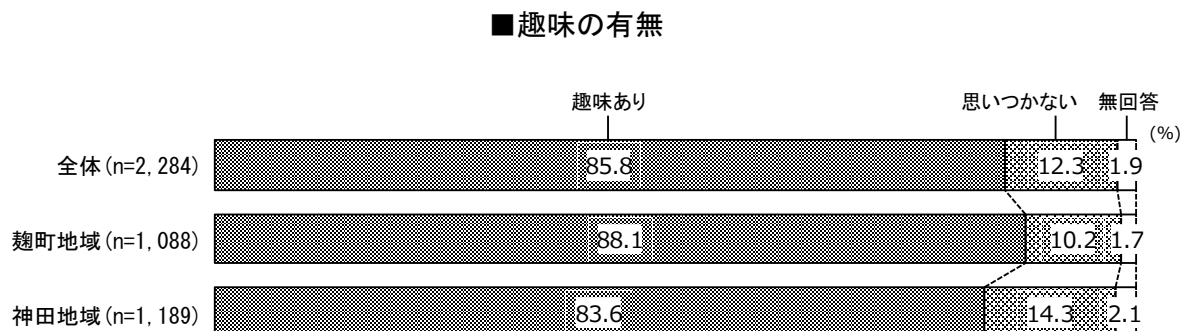
		(%)			
		高い (11点)	やや低い (9～10点)	低い (8点以下)	無回答
全体 (n=2,284)		76.4	14.8	8.7	—
性別	男性 (n=921)	73.7	16.6	9.6	0.1
	女性 (n=1,356)	78.3	13.6	8.0	—
年齢	65～74歳 (n=1,209)	82.1	12.8	5.1	—
	75歳以上 (n=1,068)	70.1	17.1	12.6	0.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	79.0	14.4	6.5	—
	総合事業対象者 (n=24)	79.2	16.7	4.2	—
	要支援1 (n=139)	56.8	20.9	22.3	—
	要支援2 (n=69)	39.1	14.5	46.4	—

第2章 調査結果

(21) 趣味の有無（問 42）

趣味の有無は、「趣味あり」が 85.8%、「思いつかない」が 12.3%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「趣味あり」（88.1%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「思いつかない」（14.3%）が麴町地域に比べ多くなっている。



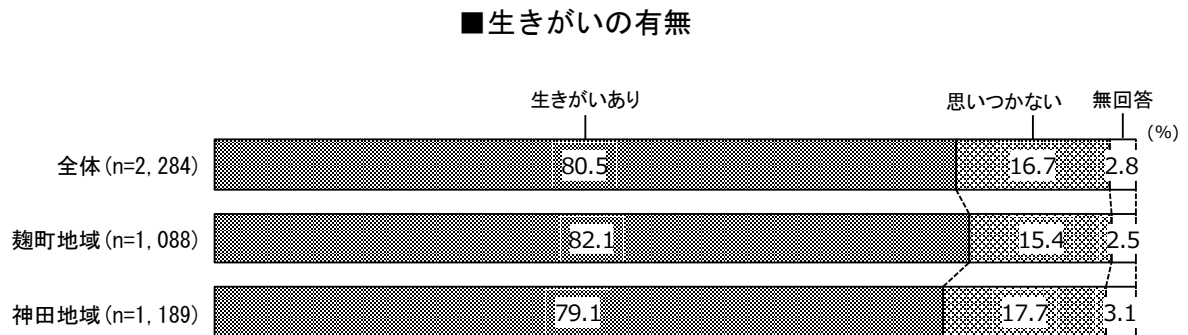
年齢別にみると、65～74 歳は「趣味あり」（89.1%）が 75 歳以上に比べ多く、75 歳以上は「思いつかない」（15.2%）が 65～74 歳に比べ多くなっている。

		(%)		
		趣味あり	思いつかない	無回答
全体 (n=2,284)		85.8	12.3	1.9
性別	男性 (n=921)	86.5	11.8	1.6
	女性 (n=1,356)	85.3	12.7	2.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	89.1	9.8	1.1
	75歳以上 (n=1,068)	82.0	15.2	2.8
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	86.7	11.5	1.8
	総合事業対象者 (n=24)	83.3	16.7	-
	要支援 1 (n=139)	82.0	15.8	2.2
	要支援 2 (n=69)	66.7	27.5	5.8

(22) 生きがいの有無（問 43）

生きがいの有無は、「生きがいあり」が 80.5%、「思いつかない」が 16.7%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「生きがいあり」（82.1%）が神田地域に比べやや多くなっている。



年齢別にみると、65～74 歳は「生きがいあり」（83.6%）が 75 歳以上に比べ多く、75 歳以上は「思いつかない」（19.4%）が 65～74 歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると「生きがいあり」が一般高齢者は 8 割強、要支援 1 は 6 割台半ば、要支援 2 は 7 割となっている。

		(%)		
		生きがいあり	思いつかない	無回答
全体 (n=2,284)		80.5	16.7	2.8
性別	男性 (n=921)	82.5	15.1	2.4
	女性 (n=1,356)	79.2	17.7	3.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	83.6	14.2	2.2
	75歳以上 (n=1,068)	77.1	19.4	3.6
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	82.0	15.4	2.6
	総合事業対象者 (n=24)	70.8	25.0	4.2
	要支援 1 (n=139)	66.2	29.5	4.3
	要支援 2 (n=69)	69.6	24.6	5.8

6. 地域での活動について

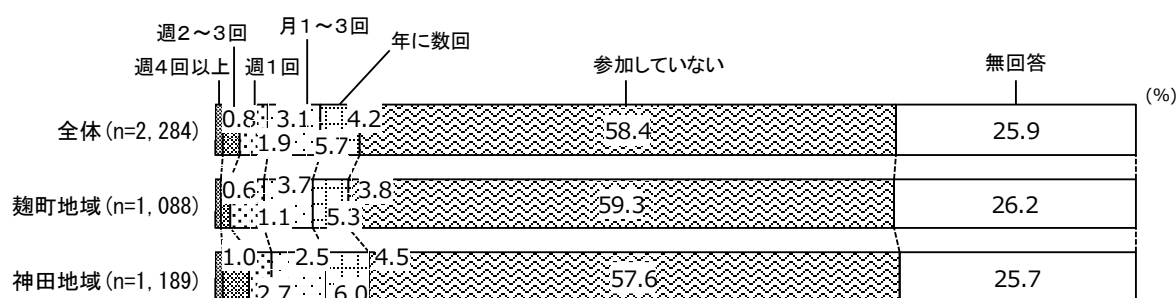
(1) 会・グループ等への参加頻度（問 44）

① ボランティアのグループへの参加頻度

ボランティアのグループへの参加頻度は、「参加していない」（58.4%）が最も多く、「月1～3回」（5.7%）、「年に数回」（4.2%）と続いている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ ボランティアのグループへの参加頻度



性別にみると、男性は「参加していない」（64.0%）が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は“参加している”（「参加していない」以外の回答の合計）（18.7%）と「参加していない」（63.9%）がともに75歳以上に比べ多くなっている。

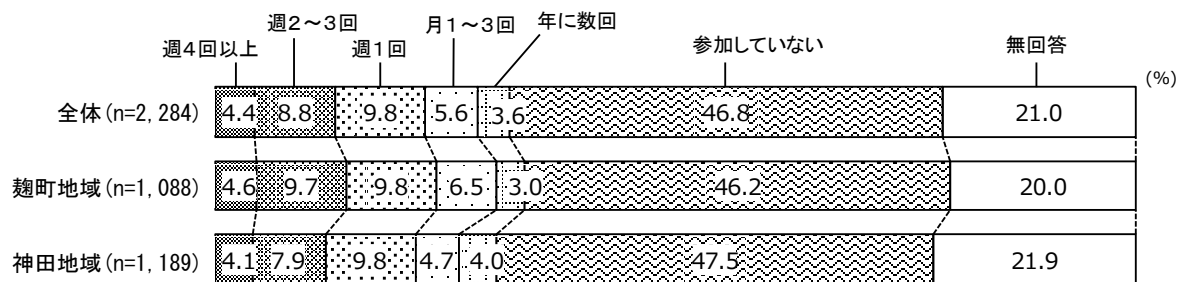
		(%)						
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	(n=2,284)	0.8	1.9	3.1	5.7	4.2	58.4	25.9
性別	男性 (n=921)	1.1	1.7	2.4	4.7	4.3	64.0	21.8
	女性 (n=1,356)	0.7	2.1	3.5	6.3	4.1	54.6	28.7
年齢	65～74歳 (n=1,209)	1.0	1.7	4.0	7.5	4.5	63.9	17.4
	75歳以上 (n=1,068)	0.7	2.2	2.1	3.6	3.7	52.2	35.6
認定 状況	一般高齢者 (n=2,045)	0.9	2.0	3.2	5.7	4.3	59.1	24.8
	総合事業対象者 (n=24)	—	4.2	4.2	12.5	8.3	58.3	12.5
	要支援1 (n=139)	0.7	0.7	2.2	5.0	2.9	50.4	38.1
	要支援2 (n=69)	—	2.9	—	2.9	1.4	55.1	37.7

②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度は、「参加していない」(46.8%)が最も多く、「週1回」(9.8%)、「週2～3回」(8.8%)と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「参加している」(「参加していない」以外の回答の合計)(33.6%)が神田地域に比べやや多くなっている。

■スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度



性別にみると、男性は「参加していない」(49.6%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「参加している」(37.5%)が75歳以上に比べ多くなっている。

		(%)						
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	(n=2,284)	4.4	8.8	9.8	5.6	3.6	46.8	21.0
性別	男性 (n=921)	3.9	7.4	7.8	7.2	6.1	49.6	18.0
	女性 (n=1,356)	4.6	9.7	11.2	4.5	1.8	45.1	23.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	5.6	10.5	10.2	6.4	4.8	48.6	13.9
	75歳以上 (n=1,068)	2.9	6.8	9.5	4.7	2.2	44.9	29.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	4.6	9.1	9.8	6.0	3.8	46.8	20.0
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	16.7	25.0	8.3	8.3	29.2	8.3
	要支援1 (n=139)	2.9	3.6	10.1	1.4	0.7	49.6	31.7
	要支援2 (n=69)	-	7.2	5.8	-	1.4	50.7	34.8

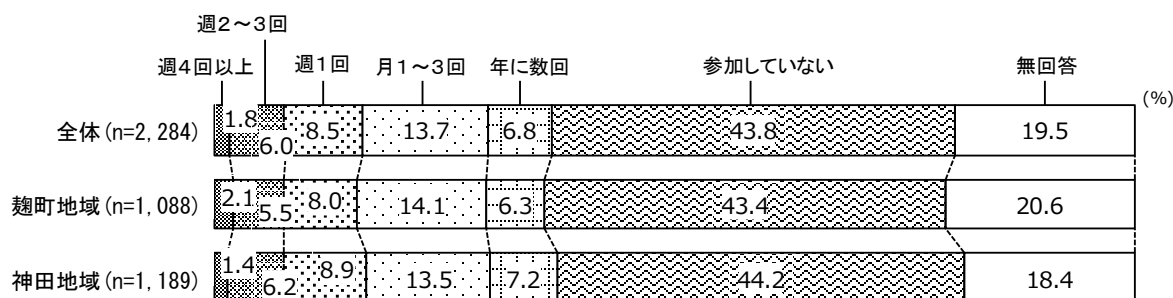
第2章 調査結果

③趣味関係のグループへの参加頻度

趣味関係のグループへの参加頻度は、「参加していない」(43.8%)が最も多く、「月1～3回」(13.7%)、「週1回」(8.5%)と続いている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■趣味関係のグループへの参加頻度



性別にみると、男性は「参加していない」(49.7%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は“参加している”(「参加していない」以外の回答の合計)(40.0%)と「参加していない」(46.9%)がともに75歳以上に比べ多くなっている。

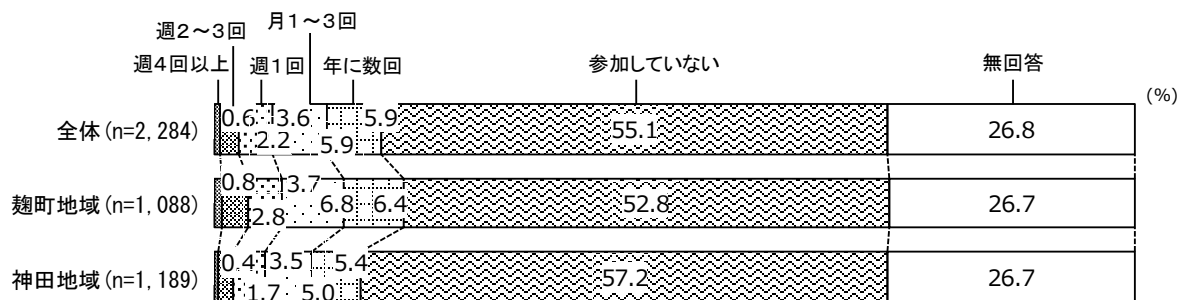
		(%)						
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体 (n=2,284)		1.8	6.0	8.5	13.7	6.8	43.8	19.5
性別	男性 (n=921)	1.4	4.5	6.6	11.5	9.0	49.7	17.3
	女性 (n=1,356)	2.0	6.9	9.7	15.3	5.3	39.8	20.9
年齢	65～74歳 (n=1,209)	1.9	5.5	9.2	15.9	7.5	46.9	13.2
	75歳以上 (n=1,068)	1.6	6.4	7.7	11.4	6.0	40.4	26.6
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	1.9	5.8	8.4	14.2	6.8	44.2	18.7
	総合事業対象者 (n=24)	—	8.3	8.3	20.8	8.3	37.5	16.7
	要支援1 (n=139)	—	7.2	10.1	10.8	9.4	36.0	26.6
	要支援2 (n=69)	2.9	4.3	7.2	4.3	—	52.2	29.0

④学習・教養サークルへの参加頻度

学習・教養サークルへの参加頻度は、「参加していない」(55.1%)が最も多く、次いで「月1～3回」「年に数回」(ともに5.9%)が多くなっている。

圏域別にみると、神田地域は「参加していない」(57.2%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■学習・教養サークルへの参加頻度



性別にみると、男性は「参加していない」(62.3%)が女性に比べ多くなっている。

		(%)						
		週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体 (n=2, 284)		0. 6	2. 2	3. 6	5. 9	5. 9	55. 1	26. 8
性 別	男性 (n=921)	0. 4	1. 5	2. 7	4. 6	6. 0	62. 3	22. 5
	女性 (n=1, 356)	0. 7	2. 7	4. 2	6. 8	5. 8	50. 1	29. 6
年 齢	65～74歳 (n=1, 209)	0. 6	2. 7	4. 0	6. 6	7. 0	60. 1	18. 9
	75歳以上 (n=2, 045)	0. 6	2. 3	3. 7	5. 8	5. 9	55. 8	25. 9
認 定 状 況	一般高齢者 (n=139)	—	1. 4	3. 6	5. 8	7. 2	46. 8	35. 3
	総合事業対象者 (n=1, 068)	0. 7	1. 7	3. 2	5. 1	4. 6	49. 3	35. 5
	要支援 1 (n=69)	2. 9	—	—	7. 2	—	53. 6	36. 2
	要支援 2 (n=24)	—	4. 2	8. 3	12. 5	16. 7	41. 7	16. 7

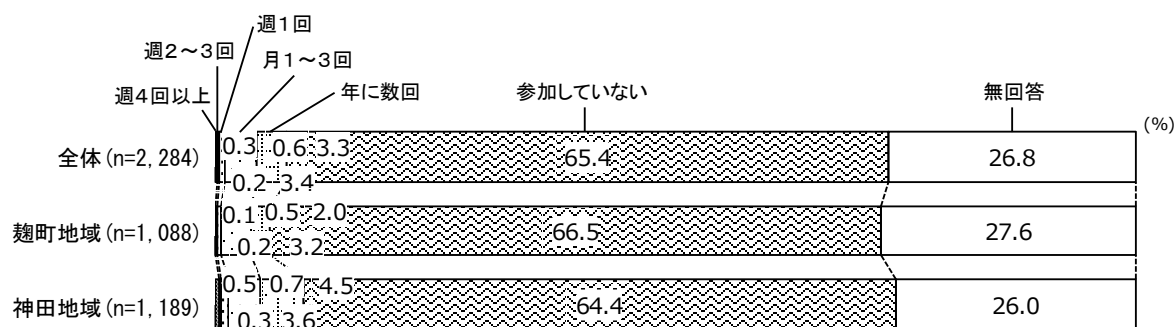
第2章 調査結果

⑤老人クラブ（長寿会）への参加頻度

老人クラブ（長寿会）への参加頻度は、「参加していない」（65.4%）が最も多く、「月1～3回」（3.4%）、「年に数回」（3.3%）と続いている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■老人クラブ（長寿会）への参加頻度



性別にみると、男性は「参加していない」（71.6%）が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「参加していない」（75.5%）が75歳以上に比べ多くなっている。

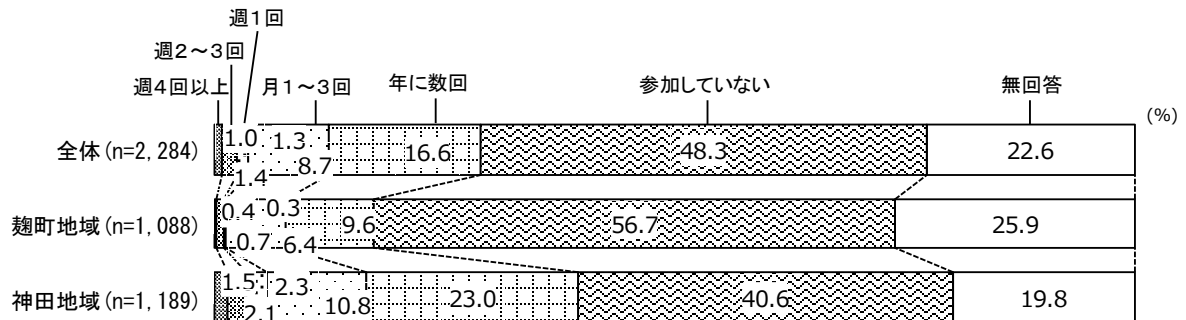
		(%)					
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
全体 (n=2,284)		0.3	0.2	0.6	3.4	3.3	65.4
性別	男性 (n=921)	0.5	0.1	0.3	2.1	2.6	71.6
	女性 (n=1,356)	0.1	0.3	0.7	4.4	3.8	61.2
年齢	65～74歳 (n=1,209)	0.2	0.1	0.1	1.7	2.1	75.5
	75歳以上 (n=1,068)	0.4	0.4	1.1	5.3	4.8	53.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	0.3	0.1	0.3	2.8	3.2	66.9
	総合事業対象者 (n=24)	—	—	4.2	4.2	—	70.8
	要支援1 (n=139)	—	1.4	2.2	10.1	4.3	49.6
	要支援2 (n=69)	1.4	1.4	2.9	7.2	7.2	49.3

⑥町会・自治会への参加頻度

町会・自治会への参加頻度は、「参加していない」(48.3%)が最も多く、「年に数回」(16.6%)、「月1～3回」(8.7%)と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「参加していない」(56.7%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「年に数回」(23.0%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■町会・自治会への参加頻度



性別にみると、男性は“参加している”(「参加していない」以外の回答の合計)(32.0%)と「参加していない」(50.9%)がともに女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「参加していない」(54.6%)が75歳以上に比べ多くなっている。

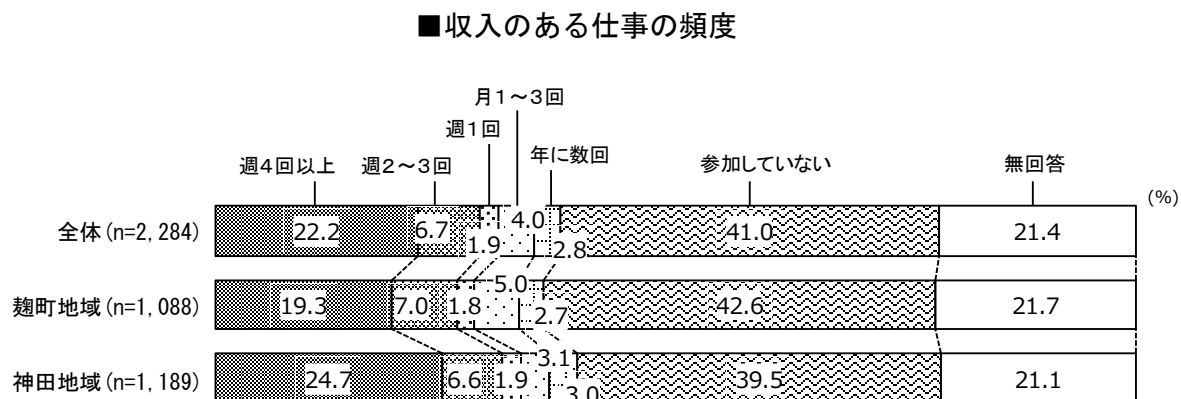
		(%)						
		週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体	(n=2,284)	1.0	1.4	1.3	8.7	16.6	48.3	22.6
性別	男性 (n=921)	1.8	2.2	1.6	10.1	16.3	50.9	17.0
	女性 (n=1,356)	0.4	1.0	1.1	7.7	16.7	46.5	26.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	1.2	1.6	1.6	9.6	15.6	54.6	15.9
	75歳以上 (n=1,068)	0.7	1.3	1.0	7.7	17.6	41.2	30.4
認定 状況	一般高齢者 (n=2,045)	1.0	1.4	1.4	9.0	16.4	48.9	21.8
	総合事業対象者 (n=24)	-	-	-	4.2	33.3	54.2	8.3
	要支援1 (n=139)	-	2.9	0.7	5.0	15.8	41.0	34.5
	要支援2 (n=69)	1.4	1.4	-	8.7	15.9	42.0	30.4

第2章 調査結果

⑦収入のある仕事の頻度

収入のある仕事の頻度は、「参加していない」(41.0%)が最も多く、「週4回以上」(22.2%)、「週2～3回」(6.7%)と続いている。

圏域別にみると、神田地域は「週4回以上」(24.7%)が麴町地域に比べ多くなっている。



性別にみると、男性は「週4回以上」(31.6%)が女性に比べ多く、女性は「参加していない」(44.1%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、「週4回以上」が65～74歳は30.2%、75歳以上は13.0%となっている。

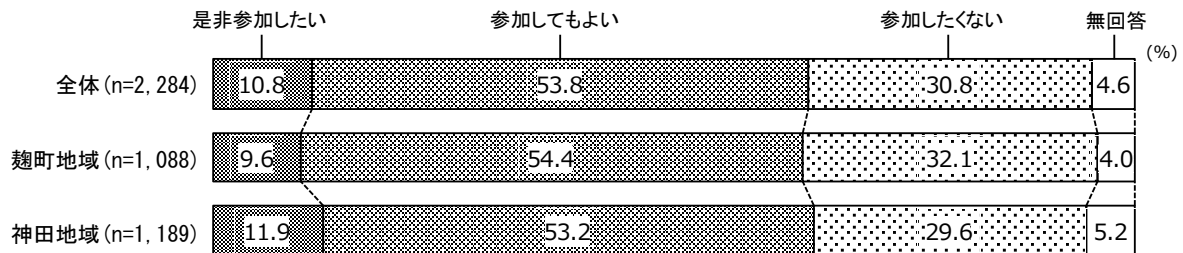
		(%)					
		週4回以上	週2～3回	週1回	月に1～3回	年に数回	参加していない
全体 (n=2,284)		22.2	6.7	1.9	4.0	2.8	41.0
性別	男性 (n=921)	31.6	6.9	2.2	3.8	3.5	36.4
	女性 (n=1,356)	15.7	6.6	1.7	4.1	2.4	44.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	30.2	8.6	1.9	4.8	3.5	38.3
	75歳以上 (n=1,068)	13.0	4.7	1.9	3.1	2.2	44.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	23.8	7.2	1.9	4.2	2.9	40.0
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	4.2	4.2	8.3	4.2	58.3
	要支援1 (n=139)	7.9	3.6	0.7	2.2	3.6	48.2
	要支援2 (n=69)	7.2	-	2.9	-	-	49.3

(2) 地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向（問45）

地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向は、「参加してもよい」（53.8%）が最も多く、「参加したくない」（30.8%）、「是非参加したい」（10.8%）と続いている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加意向



性別にみると、男性は「参加したくない」（34.1%）が女性に比べ多く、女性は「是非参加したい」（13.1%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「参加してもよい」（56.0%）が75歳以上に比べ多くなっている。

		(%)			
		是非 参加 したい	参加 しても よい	参加 したく ない	無回 答
全体 (n=2, 284)		10. 8	53. 8	30. 8	4. 6
性別	男性 (n=921)	7. 5	54. 9	34. 1	3. 5
	女性 (n=1, 356)	13. 1	53. 0	28. 5	5. 4
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	11. 5	56. 0	29. 5	3. 0
	75歳以上 (n=1, 068)	10. 0	51. 3	32. 2	6. 5
認定 状況	一般高齢者 (n=2, 045)	10. 8	54. 9	29. 9	4. 4
	総合事業対象者 (n=24)	20. 8	66. 7	12. 5	-
	要支援 1 (n=139)	9. 4	48. 2	38. 1	4. 3
	要支援 2 (n=69)	11. 6	29. 0	47. 8	11. 6

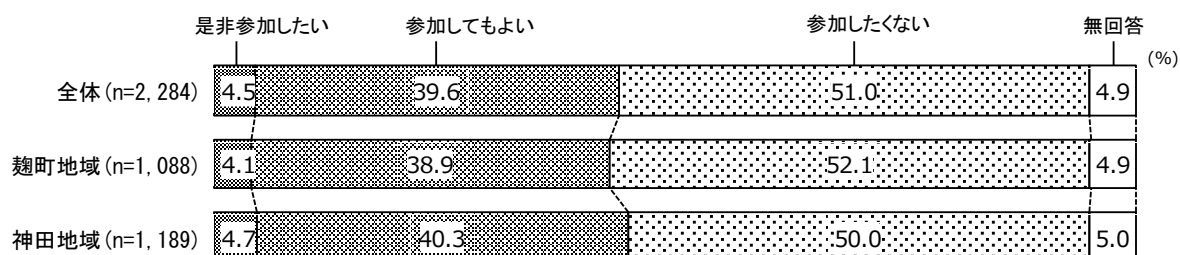
第2章 調査結果

(3) 地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向（問46）

地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向は、「参加したくない」（51.0%）が最も多く、「参加してもよい」（39.6%）、「是非参加したい」（4.5%）と続いている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向



年齢別にみると、65～74歳は「参加してもよい」（44.6%）が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「参加したくない」（55.4%）が65～74歳に比べ多くなっている。

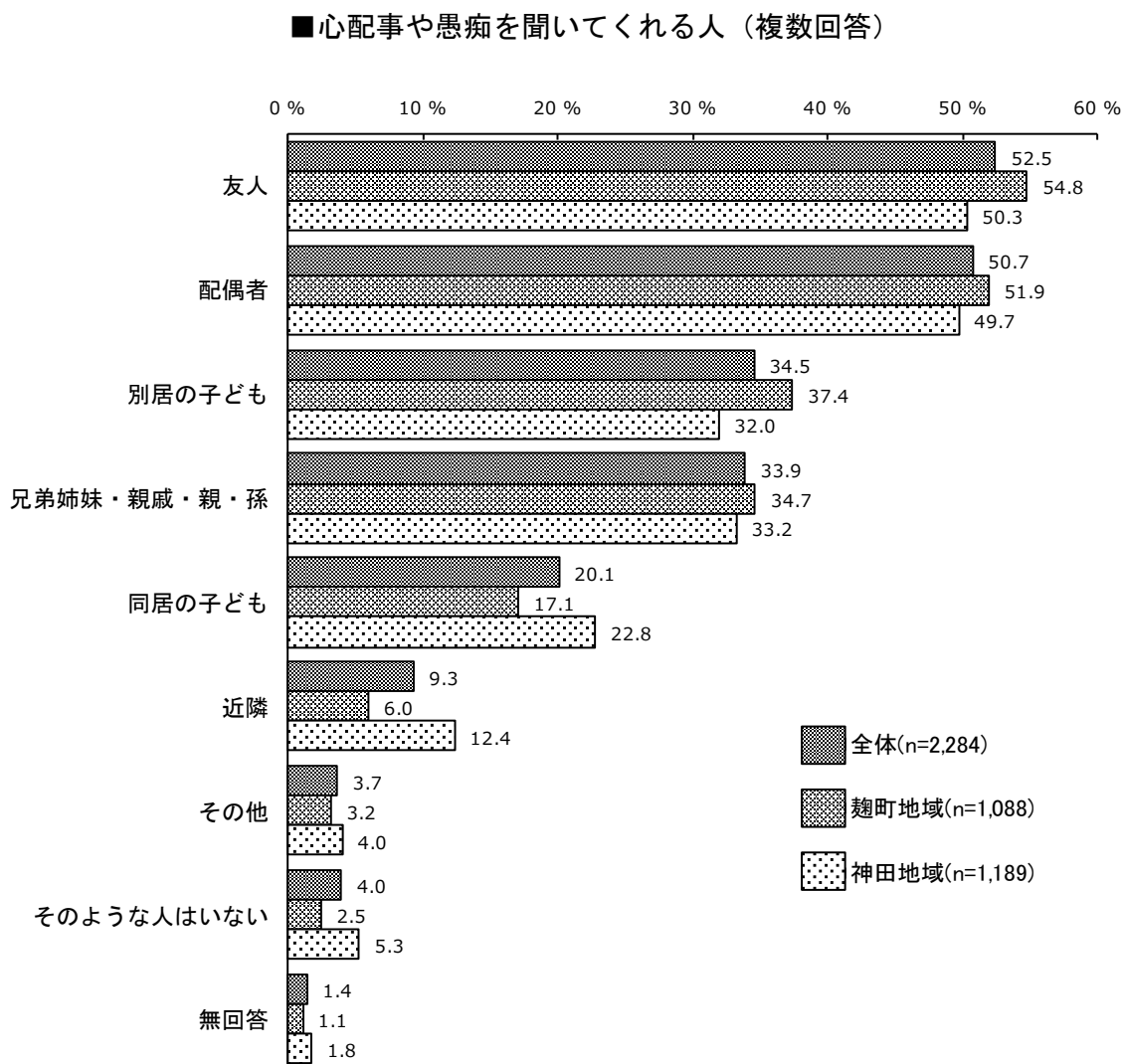
		(%)			
		是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体 (n=2,284)		4.5	39.6	51.0	4.9
性別	男性 (n=921)	4.3	40.1	52.4	3.1
	女性 (n=1,356)	4.5	39.3	50.0	6.2
年齢	65～74歳 (n=1,209)	5.4	44.6	47.1	3.0
	75歳以上 (n=1,068)	3.4	34.0	55.4	7.2
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	4.4	40.8	50.0	4.8
	総合事業対象者 (n=24)	16.7	37.5	45.8	-
	要支援1 (n=139)	2.2	28.8	62.6	6.5
	要支援2 (n=69)	7.2	26.1	59.4	7.2

7. たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人（問47）

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」(52.5%) が最も多く、「配偶者」(50.7%)、「別居の子ども」(34.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(33.9%) と続いている。また、「そのような人はいない」は4.0%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「友人」(54.8%)、「別居の子ども」(37.4%) が神田地域に比べ多く、神田地域は「同居の子ども」(22.8%)、「近隣」(12.4%) が麴町地域に比べ多くなっている。



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「配偶者」(69.2%)、「そのような人はいない」(6.7%)が女性に比べ多く、女性は「友人」(60.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(42.1%)、「別居の子ども」(38.9%)、「同居の子ども」(23.3%)、「近隣」(11.6%)いずれも男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「友人」(59.7%)、「配偶者」(58.7%)が75歳以上に比べ多くなっている。

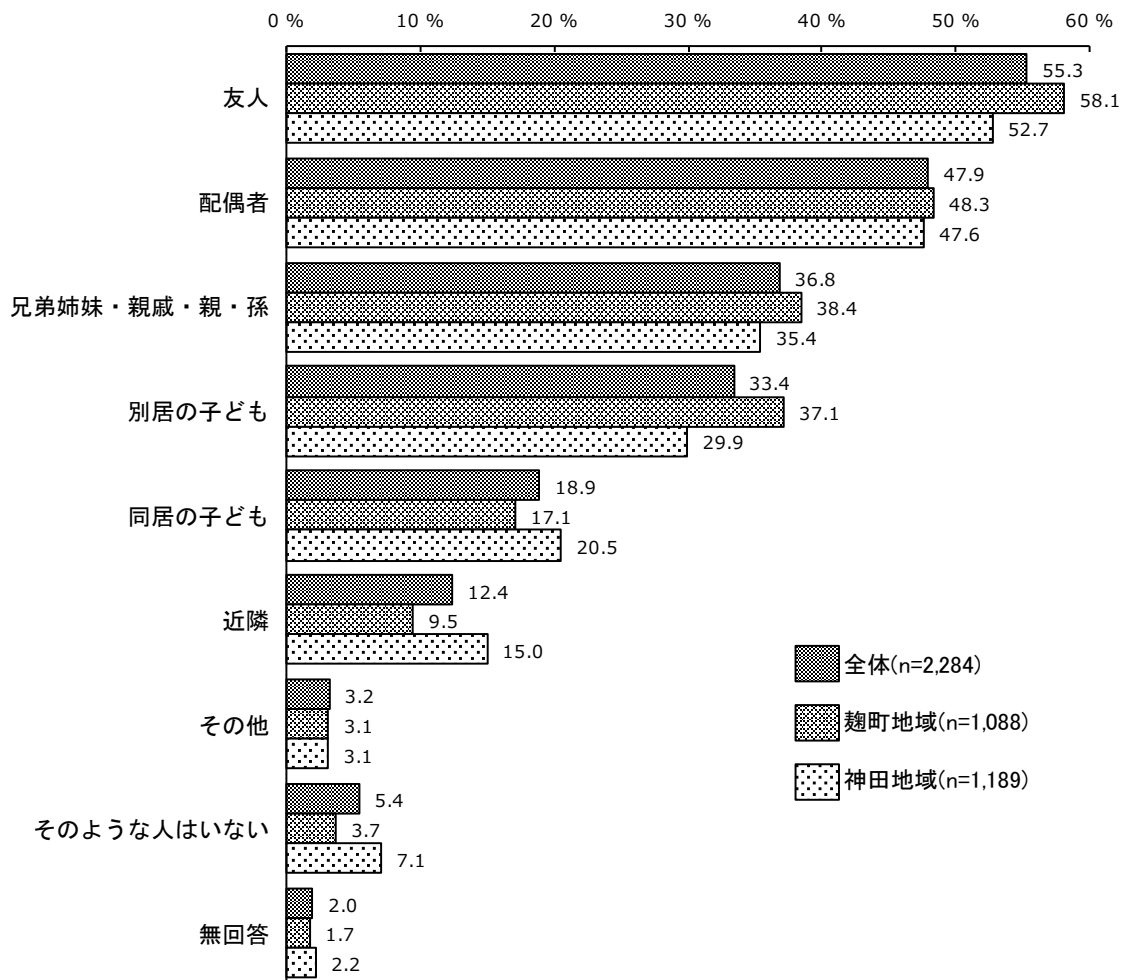
		友 人	配 偶 者	別 居 の 子 ど も	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	同 居 の 子 ど も	近 隣	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	(%) 無 回 答
全体 (n=2, 284)		52. 5	50. 7	34. 5	33. 9	20. 1	9. 3	3. 7	4. 0	1. 4
性 別	男性 (n=921)	40. 8	69. 2	28. 2	21. 8	15. 3	6. 0	3. 5	6. 7	1. 6
	女性 (n=1, 356)	60. 3	38. 3	38. 9	42. 1	23. 3	11. 6	3. 8	2. 1	1. 3
年 齢	65～74歳 (n=1, 209)	59. 7	58. 7	32. 5	34. 6	19. 4	9. 8	3. 6	3. 5	1. 1
	75歳以上 (n=1, 068)	44. 2	41. 8	36. 9	33. 1	20. 9	8. 7	3. 7	4. 5	1. 9
認 定 状 況	一般高齢者 (n=2, 045)	53. 3	53. 6	34. 1	34. 1	20. 4	9. 3	3. 4	4. 0	1. 3
	総合事業対象者 (n=24)	45. 8	41. 7	54. 2	45. 8	16. 7	20. 8	8. 3	8. 3	-
	要支援 1 (n=139)	46. 0	23. 7	36. 0	30. 9	16. 5	10. 1	3. 6	4. 3	2. 9
	要支援 2 (n=69)	40. 6	23. 2	39. 1	29. 0	17. 4	4. 3	8. 7	-	4. 3

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人(問48)

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」(55.3%)が最も多く、「配偶者」(47.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(36.8%)、「別居の子ども」(33.4%)と続いている。また、「そのような人はいない」は5.4%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「友人」(58.1%)、「別居の子ども」(37.1%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「近隣」(15.0%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■心配事や愚痴を聞いてあげる人(複数回答)



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「配偶者」(67.5%)、「そのような人はいない」(8.5%)が女性に比べ多く、女性は「友人」(63.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(43.9%)、「近隣」(14.6%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「友人」(61.9%)、「配偶者」(56.1%)が75歳以上に比べ多くなっている。

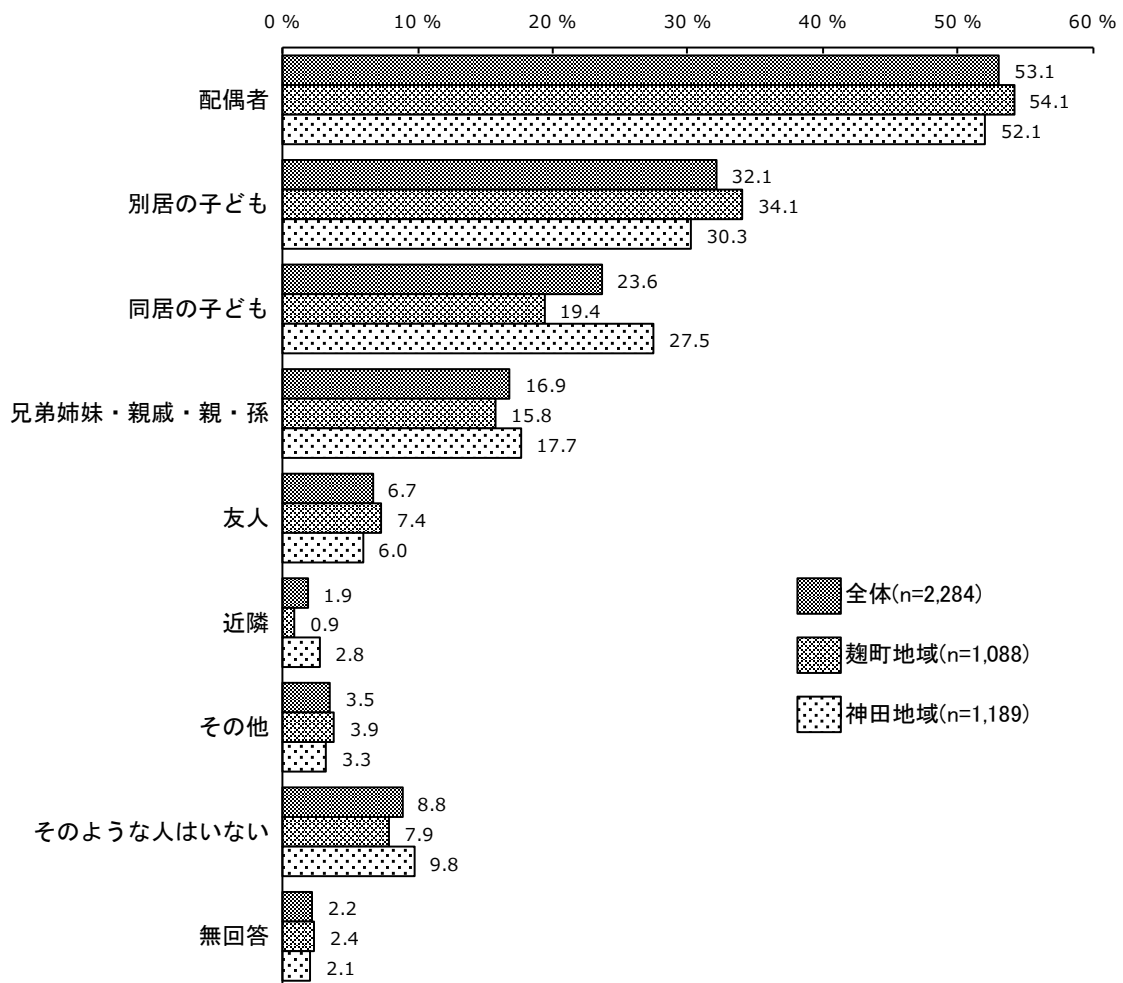
		友 人	配 偶 者	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	別 居 の 子 ど も	同 居 の 子 ど も	近 隣	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	(%) 無 回 答
全体 (n=2, 284)		55.3	47.9	36.8	33.4	18.9	12.4	3.2	5.4	2.0
性 別	男性 (n=921)	42.6	67.5	26.5	30.5	16.5	9.0	3.4	8.5	2.0
	女性 (n=1, 356)	63.9	34.7	43.9	35.3	20.5	14.6	2.9	3.4	2.0
年 齢	65～74歳 (n=1, 209)	61.9	56.1	38.3	33.4	19.5	13.2	3.8	3.6	1.0
	75歳以上 (n=1, 068)	47.8	38.8	35.2	33.3	18.2	11.4	2.3	7.5	3.1
認 定 状 況	一般高齢者 (n=2, 045)	55.9	51.0	37.6	34.0	19.6	12.3	3.3	4.9	1.5
	総合事業対象者 (n=24)	66.7	41.7	45.8	45.8	20.8	20.8	—	4.2	—
	要支援 1 (n=139)	48.9	17.3	28.8	26.6	12.2	12.9	2.2	10.1	7.2
	要支援 2 (n=69)	46.4	21.7	29.0	23.2	11.6	8.7	1.4	11.6	5.8

(3) 病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人(問49)

病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(53.1%)が最も多く、「別居の子ども」(32.1%)、「同居の子ども」(23.6%)と続いている。また、「そのような人はいない」は8.8%となっている。

圏域別にみると、神田地域は「同居の子ども」(27.5%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■ 病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人(複数回答)



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「配偶者」(74.4%)が女性に比べ多く、女性は「別居の子ども」(36.8%)、「同居の子ども」(26.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(21.0%)が男性に比べ多くなっている。

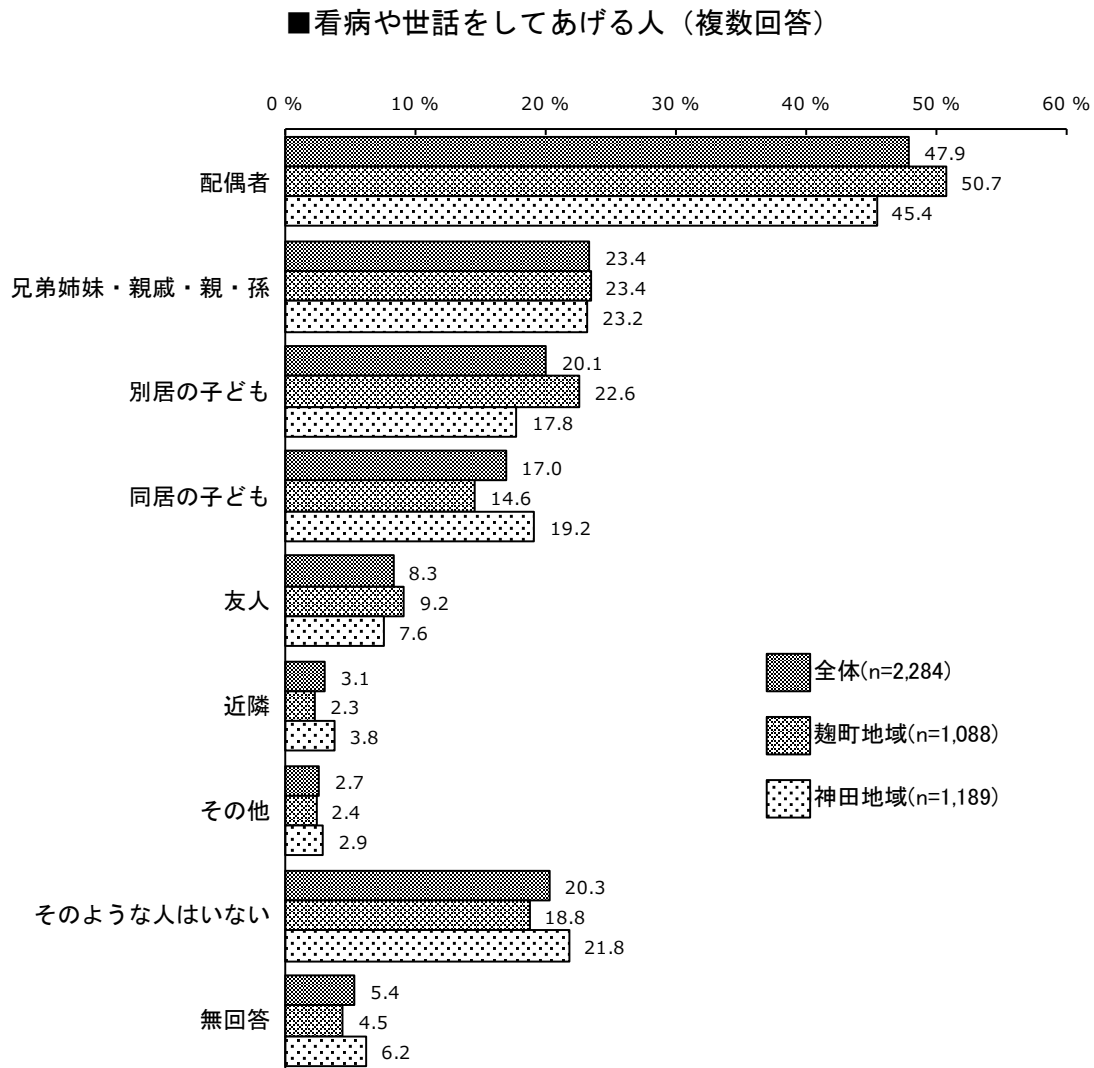
年齢別にみると、65～74歳は「配偶者」(62.0%)が75歳以上に比べ多くなっている。

		(%)								
		配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (n=2, 284)		53. 1	32. 1	23. 6	16. 9	6. 7	1. 9	3. 5	8. 8	2. 2
性別	男性 (n=921)	74. 4	25. 2	19. 7	10. 5	4. 1	0. 9	2. 0	7. 8	2. 0
	女性 (n=1, 356)	38. 6	36. 8	26. 3	21. 0	8. 3	2. 6	4. 6	9. 6	2. 4
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	62. 0	29. 9	23. 2	17. 6	7. 6	1. 7	2. 4	8. 4	1. 2
	75歳以上 (n=1, 068)	42. 9	34. 6	24. 1	15. 8	5. 5	2. 1	4. 9	9. 5	3. 5
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	56. 2	32. 3	24. 1	16. 5	6. 5	1. 9	3. 0	8. 5	1. 7
	総合事業対象者 (n=24)	41. 7	37. 5	20. 8	33. 3	8. 3	－	－	16. 7	4. 2
	要支援 1 (n=139)	22. 3	25. 2	21. 6	18. 0	7. 9	2. 9	8. 6	15. 1	6. 5
	要支援 2 (n=69)	26. 1	37. 7	14. 5	17. 4	8. 7	－	11. 6	4. 3	10. 1

(4) 看病や世話をしあける人 (問 50)

看病や世話をしあける人は、「配偶者」(47.9%) が最も多く、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(23.4%)、「そのような人はいない」(20.3%) と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「配偶者」(50.7%)、「別居の子ども」(22.6%) が神田地域に比べ多く、神田地域は「同居の子ども」(19.2%) が麴町地域に比べ多くなっている。



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「配偶者」(60.5%)、「そのような人はいない」(23.0%)が女性に比べ多く、女性は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.8%)、「別居の子ども」(24.5%)「同居の子ども」(19.2%)、「友人」(11.4%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「配偶者」(55.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.6%)、「別居の子ども」(22.6%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「そのような人はいない」(23.6%)が65～74歳に比べ多くなっている。

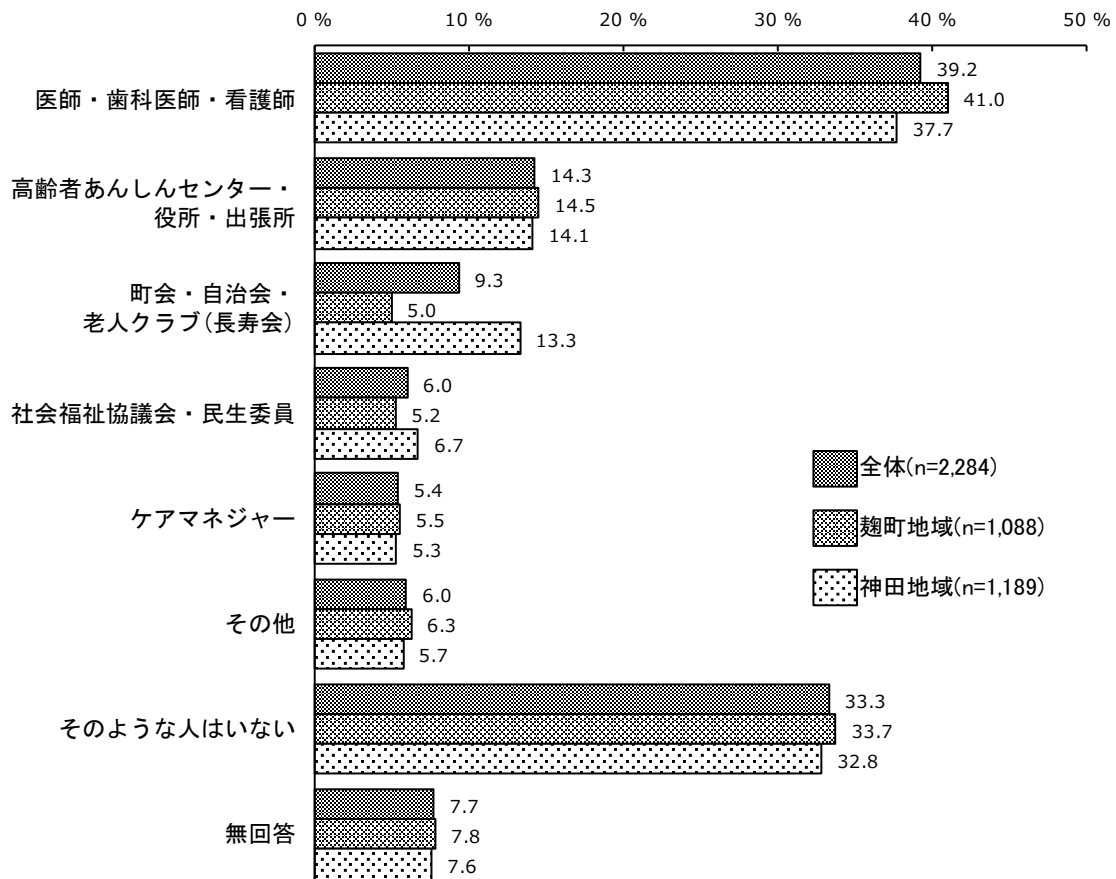
		(%)								
		配偶者	兄弟姉妹・親戚・親・孫	別居の子ども	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体 (n=2, 284)		47. 9	23. 4	20. 1	17. 0	8. 3	3. 1	2. 7	20. 3	5. 4
性別	男性 (n=921)	60. 5	15. 2	13. 7	13. 7	3. 9	1. 3	2. 4	23. 0	3. 9
	女性 (n=1, 356)	39. 5	28. 8	24. 5	19. 2	11. 4	4. 3	2. 9	18. 5	6. 4
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	55. 1	28. 6	22. 6	18. 9	9. 7	3. 6	2. 2	17. 5	2. 4
	75歳以上 (n=1, 068)	39. 9	17. 3	17. 3	14. 8	6. 8	2. 5	3. 2	23. 6	8. 8
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	50. 2	24. 0	21. 0	17. 8	8. 3	3. 3	2. 4	19. 2	4. 8
	総合事業対象者 (n=24)	37. 5	37. 5	37. 5	8. 3	20. 8	－	4. 2	16. 7	4. 2
	要支援 1 (n=139)	27. 3	18. 0	10. 1	10. 1	6. 5	2. 2	4. 3	30. 9	11. 5
	要支援 2 (n=69)	26. 1	8. 7	7. 2	11. 6	8. 7	－	5. 8	33. 3	11. 6

(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手 (問 51)

家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手は、「医師・歯科医師・看護師」(39.2%) が最も多く、「そのような人はいない」(33.3%)、「高齢者あんしんセンター・役所・出張所」(14.3%) と続いている。

圏域別にみると、神田地域は「町会・自治会・老人クラブ(長寿会)」(13.3%) が麹町地域に比べ多くなっている。

■ 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手 (複数回答)



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「町会・自治会・老人クラブ(長寿会)」(12.3%)、「そのような人はいない」(35.5%)が女性に比べ多く、女性は「高齢者あんしんセンター・役所・出張所」(17.6%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「そのような人はいない」(39.0%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「医師・歯科医師・看護師」(42.7%)、「高齢者あんしんセンター・役所・出張所」(17.7%)が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「高齢者あんしんセンター・役所・出張所」が総合事業対象者は半数近くで最も多く、要支援1は3割台半ば、要支援2は3割強となっており、「ケアマネジャー」が要支援1は2割強、要支援2は3割強となっている。

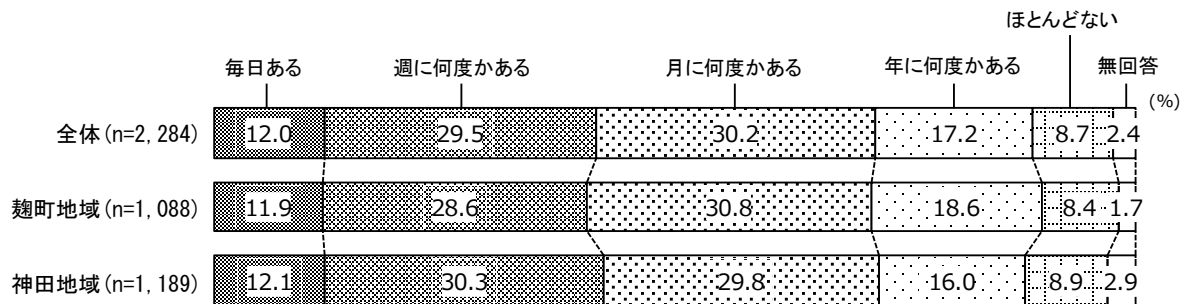
		(%)							
		医師・ 歯科医師・ 看護師	高 齢 者 あ ん し ん セ ン タ ー ・ 役 所 ・ 出 張 所	町 会 ・ 自 治 会 ・ 老 人 ク ラ ブ (長 寿 会)	社 会 福 祉 協 議 会 ・ 民 生 委 員	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
全体 (n=2, 284)		39. 2	14. 3	9. 3	6. 0	5. 4	6. 0	33. 3	7. 7
性別	男性 (n=921)	41. 2	9. 6	12. 3	4. 9	3. 9	5. 4	35. 5	6. 6
	女性 (n=1, 356)	38. 0	17. 6	7. 3	6. 8	6. 4	6. 3	31. 7	8. 4
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	36. 2	11. 3	9. 0	4. 9	3. 3	6. 2	39. 0	6. 4
	75歳以上 (n=1, 068)	42. 7	17. 7	9. 6	7. 3	7. 8	5. 7	26. 8	9. 2
認定 状況	一般高齢者 (n=2, 045)	39. 5	11. 9	9. 7	5. 8	3. 3	6. 0	35. 2	7. 6
	総合事業対象者 (n=24)	33. 3	45. 8	8. 3	12. 5	4. 2	4. 2	25. 0	12. 5
	要支援 1 (n=139)	36. 7	35. 3	3. 6	10. 1	23. 0	7. 2	12. 9	10. 1
	要支援 2 (n=69)	40. 6	31. 9	10. 1	1. 4	31. 9	4. 3	18. 8	2. 9

(6) 友人・知人と会う頻度 (問 52)

友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」(30.2%) が最も多く、「週に何度かある」(29.5%)、「年に何度かある」(17.2%) と続いている。また、「ほとんどない」は8.7% となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■友人・知人と会う頻度



性別にみると、男性は「毎日ある」(15.9%) が女性に比べ多く、女性は「週に何度かある」(32.1%) が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「ほとんどない」(11.8%) が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、要支援2は「ほとんどない」が2割強となっている。

		(%)					
		毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体 (n=2, 284)		12.0	29.5	30.2	17.2	8.7	2.4
性別	男性 (n=921)	15.9	25.6	29.5	16.7	10.0	2.3
	女性 (n=1, 356)	9.4	32.1	30.8	17.6	7.7	2.4
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	12.3	30.9	30.9	18.4	5.9	1.7
	75歳以上 (n=1, 068)	11.7	27.8	29.6	15.9	11.8	3.2
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	12.5	29.8	30.6	17.2	7.9	2.0
	総合事業対象者 (n=24)	12.5	33.3	25.0	16.7	12.5	-
	要支援1 (n=139)	7.2	27.3	30.2	17.3	12.2	5.8
	要支援2 (n=69)	8.7	21.7	21.7	17.4	23.2	7.2

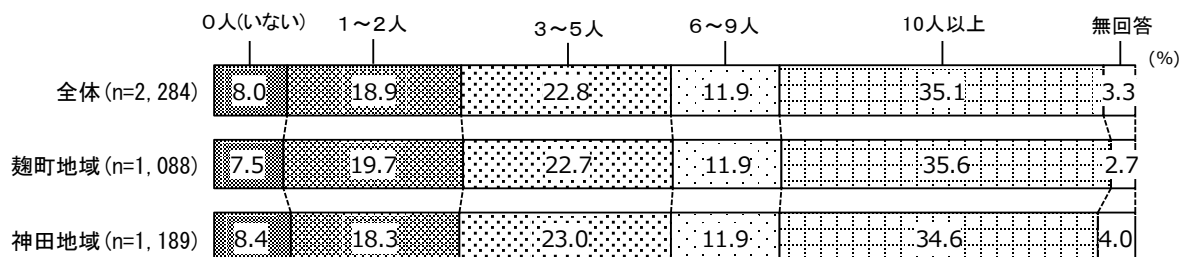
第2章 調査結果

(7) 1か月間に会った友人・知人の人数（問53）

1か月間に会った友人・知人の人数は、「10人以上」（35.1%）が最も多く、「3～5人」（22.8%）、「1～2人」（18.9%）と続いている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 1か月間に会った友人・知人の人数



性別にみると、男性は「10人以上」（38.8%）が女性に比べ多く、女性は「3～5人」（24.2%）、「6～9人」（13.4%）が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「10人以上」（40.0%）が75歳以上に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、要支援2は「0人(いない)」が2割となっている。

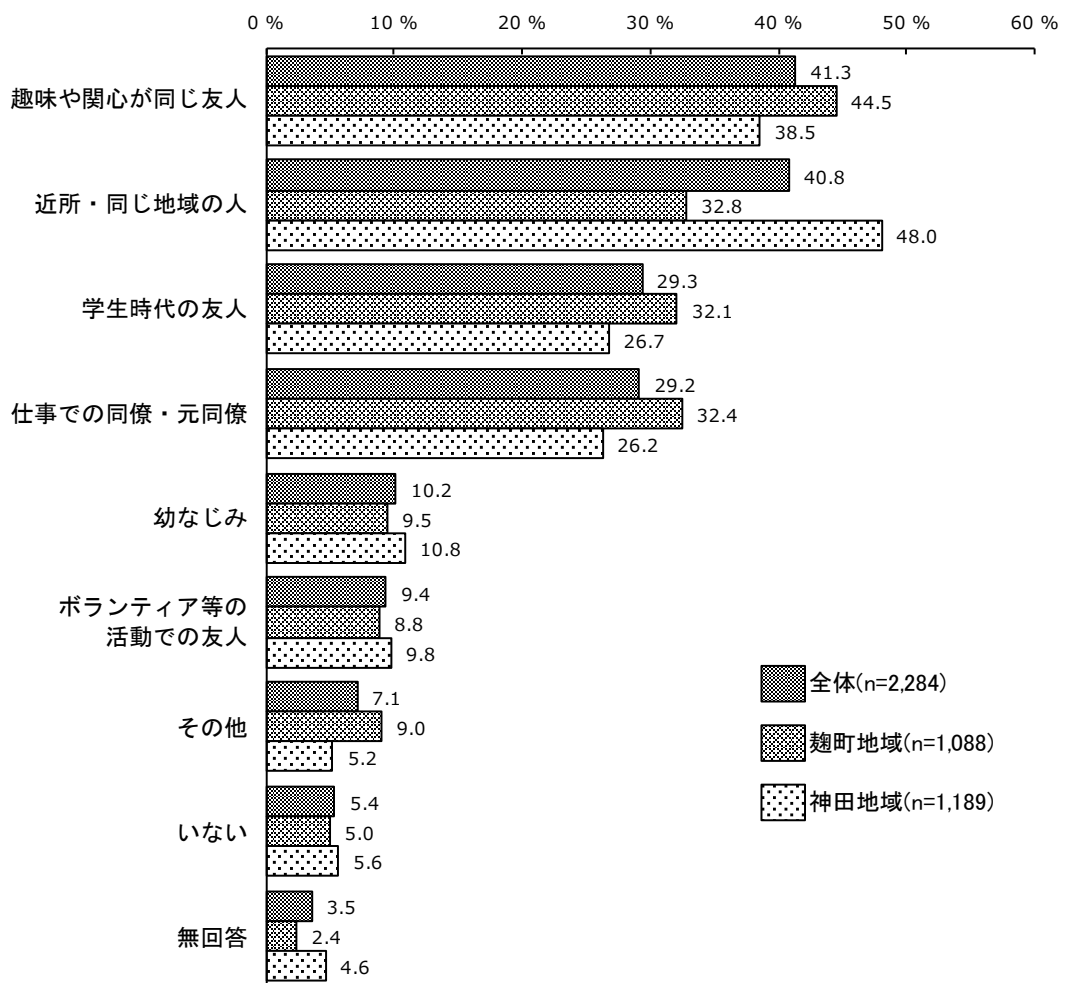
		（％）					
		0人 (いない)	1 ～ 2人	3 ～ 5人	6 ～ 9人	10 人以上	無回答
全体	(n=2,284)	8.0	18.9	22.8	11.9	35.1	3.3
性別	男性 (n=921)	8.7	18.7	20.8	9.6	38.8	3.5
	女性 (n=1,356)	7.5	19.1	24.2	13.4	32.5	3.2
年齢	65～74歳 (n=1,209)	7.1	17.7	21.5	11.9	40.0	1.7
	75歳以上 (n=1,068)	9.0	20.3	24.3	11.8	29.4	5.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	7.5	18.4	22.8	11.9	36.4	3.0
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	16.7	16.7	25.0	29.2	8.3
	要支援1 (n=139)	10.1	25.2	25.2	8.6	25.2	5.8
	要支援2 (n=69)	20.3	23.2	20.3	11.6	17.4	7.2

(8) よく会う友人・知人との関係 (問 54)

よく会う友人・知人との関係は、「趣味や関心が同じ友人」(41.3%)が最も多く、「近所・同じ地域の人」(40.8%)、「学生時代の友人」(29.3%)、「仕事での同僚・元同僚」(29.2%)と続いている。また、「いない」は5.4%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「趣味や関心が同じ友人」(44.5%)、「仕事での同僚・元同僚」(32.4%)、「学生時代の友人」(32.1%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「近所・同じ地域の人」(48.0%)が麴町地域に比べ多くなっている。

■よく会う友人・知人との関係 (複数回答)



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「仕事での同僚・元同僚」(42.6%)、「学生時代の友人」(33.6%)が女性に比べ多く、女性は「趣味や関心が同じ友人」(46.2%)、「近所・同じ地域の人」(45.3%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「趣味や関心が同じ友人」(44.7%)、「学生時代の友人」(35.3%)、「仕事での同僚・元同僚」(37.0%)が75歳以上に比べ多くなっている。

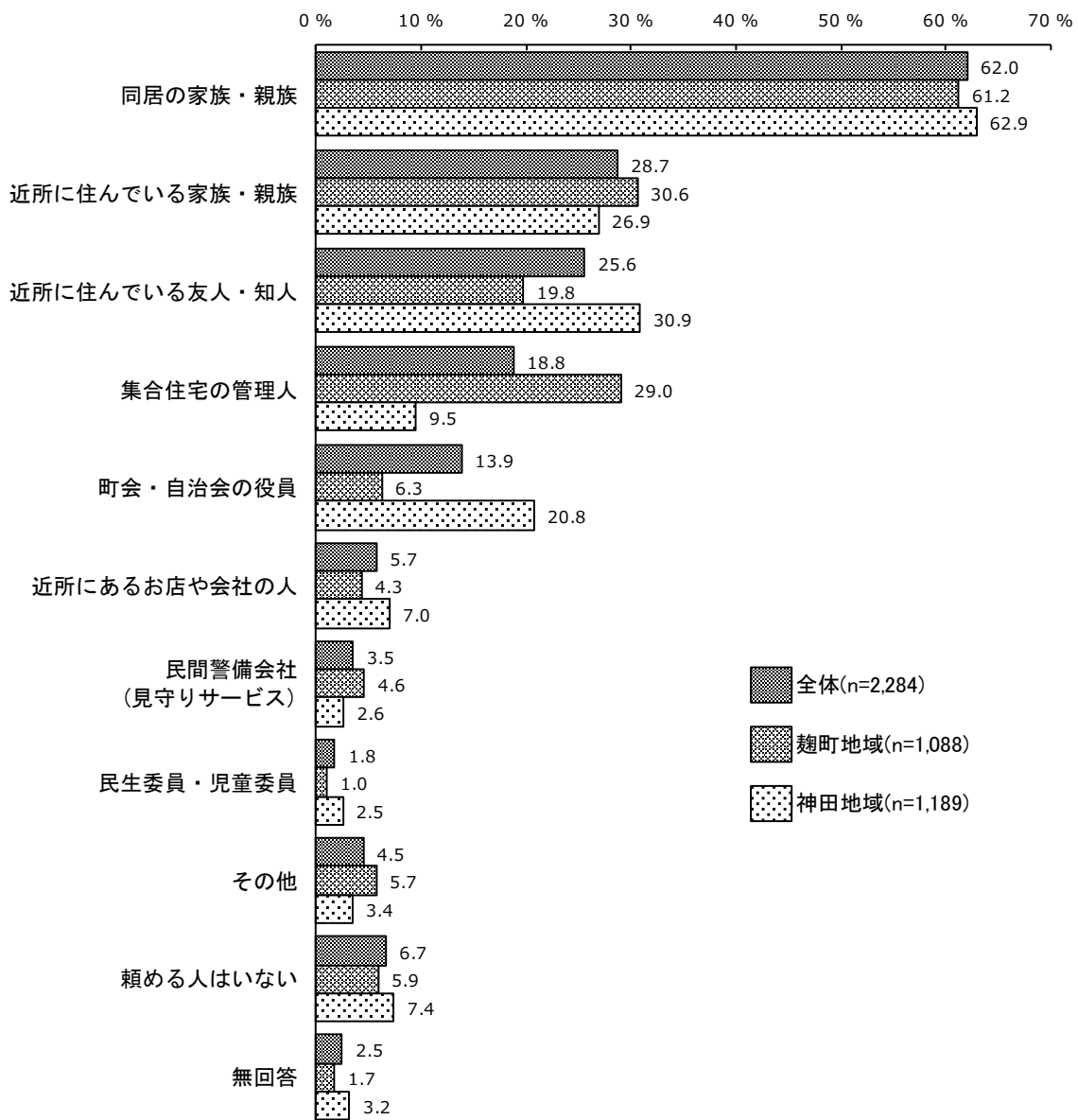
		趣味や関心が同じ友人	近所・同じ地域の人	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答	(%)
全体 (n=2, 284)		41. 3	40. 8	29. 3	29. 2	10. 2	9. 4	7. 1	5. 4	3. 5	
性別	男性 (n=921)	34. 2	34. 1	33. 6	42. 6	11. 6	6. 9	6. 2	7. 3	3. 6	
	女性 (n=1, 356)	46. 2	45. 3	26. 4	20. 1	9. 2	10. 9	7. 6	4. 0	3. 5	
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	44. 7	38. 5	35. 3	37. 0	11. 8	9. 9	5. 9	4. 3	2. 0	
	75歳以上 (n=1, 068)	37. 6	43. 3	22. 5	20. 4	8. 3	8. 6	8. 3	6. 5	5. 3	
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	42. 1	40. 3	30. 6	31. 4	10. 3	9. 4	6. 6	4. 9	3. 2	
	総合事業対象者 (n=24)	54. 2	41. 7	25. 0	8. 3	12. 5	12. 5	12. 5	8. 3	-	
	要支援 1 (n=139)	37. 4	43. 9	18. 7	10. 8	7. 2	10. 1	11. 5	5. 8	6. 5	
	要支援 2 (n=69)	23. 2	46. 4	13. 0	7. 2	11. 6	2. 9	8. 7	15. 9	10. 1	

(9) 昼間の災害時または急病時に手助けを頼める人 (問 55)

昼間の災害時または急病時に手助けを頼める人は、「同居の家族・親族」(62.0%) が最も多く、「近所に住んでいる家族・親族」(28.7%)、「近所に住んでいる友人・知人」(25.6%)と続いている。また、「頼める人はいない」は6.7%となっている。

圏域別にみると、麴町地域は「集合住宅の管理人」(29.0%) が神田地域に比べ多く、神田地域は「近所に住んでいる友人・知人」(30.9%)、「町会・自治会の役員」(20.8%) が麴町地域に比べ多くなっている。

■ 昼間の災害時または急病時に手助けを頼める人 (複数回答)



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「同居の家族・親族」(71.8%)が女性に比べ多く、女性は「近所に住んでいる家族・親族」(30.3%)、「近所に住んでいる友人・知人」(27.9%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「同居の家族・親族」(67.2%)が75歳以上に比べ多くなっている。

(%)												
		同居の家族・親族	近所に住んでいる家族・親族	近所に住んでいる友人・知人	集合住宅の管理人	町会・自治会の役員	近所にあるお店や会社の人	民間警備会社（見守りサービス）	民生委員・児童委員	その他	頼める人はいない	無回答
全体（n=2,284）		62.0	28.7	25.6	18.8	13.9	5.7	3.5	1.8	4.5	6.7	2.5
性別	男性（n=921）	71.8	26.3	22.0	16.9	15.1	6.5	3.1	1.4	3.9	7.1	2.3
	女性（n=1,356）	55.5	30.3	27.9	20.1	13.0	5.2	3.8	2.1	4.9	6.4	2.7
年齢	65～74歳（n=1,209）	67.2	28.7	26.0	18.8	13.6	6.7	3.8	1.4	3.6	7.2	1.6
	75歳以上（n=1,068）	56.3	28.7	25.1	18.9	14.1	4.6	3.3	2.2	5.6	6.1	3.6
認定状況	一般高齢者（n=2,045）	64.4	29.3	25.9	19.2	14.1	6.0	3.4	1.7	4.0	6.3	2.3
	総合事業対象者（n=24）	45.8	20.8	29.2	12.5	8.3	-	-	-	4.2	29.2	4.2
	要支援 1（n=139）	40.3	20.1	26.6	18.0	12.9	3.6	7.2	3.6	7.9	7.2	2.9
	要支援 2（n=69）	43.5	29.0	13.0	11.6	10.1	4.3	1.4	2.9	13.0	8.7	7.2

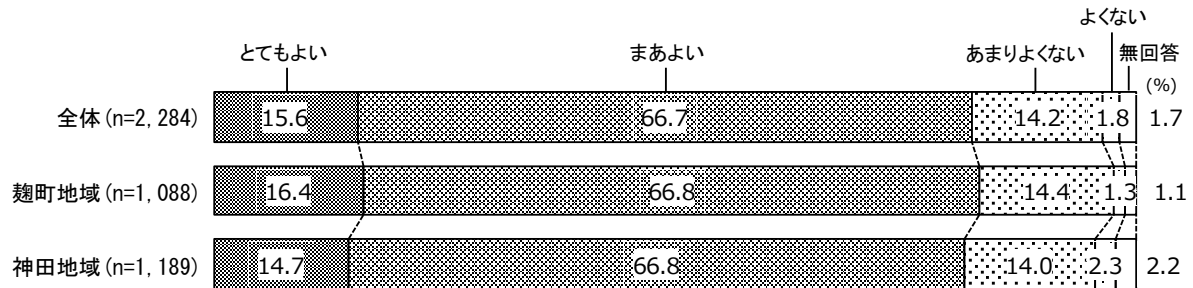
8. 健康について

(1) 健康状態 (問 56)

健康状態は、“よい” (「とてもよい」「まあよい」の合計) は82.3%、“よくない” (「あまりよくない」「よくない」の合計) は16.0%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■健康状態



性別にみると、男性は“よい” (84.4%) が女性に比べ多く、女性は“よくない” (17.5%) が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、“よい” が65～74歳は88.5%、75歳以上は75.3%となっており、“よくない” が65～74歳は10.6%、75歳以上は22.2%となっている。

認定状況別にみると“よい” が一般高齢者は8割台半ば、要支援1は6割、要支援2は4割強となっており、“よくない” が一般高齢者は1割強、要支援1は4割弱、要支援2は5割台半ばとなっている。

		(%)				
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体 (n=2,284)		15.6	66.7	14.2	1.8	1.7
性別	男性 (n=921)	17.6	66.8	11.6	2.3	1.7
	女性 (n=1,356)	14.1	66.8	16.0	1.5	1.6
年齢	65～74歳 (n=1,209)	19.9	68.6	9.6	1.0	0.9
	75歳以上 (n=1,068)	10.5	64.8	19.5	2.7	2.5
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	16.8	68.6	11.7	1.4	1.6
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	70.8	20.8	-	4.2
	要支援1 (n=139)	4.3	54.7	34.5	4.3	2.2
	要支援2 (n=69)	4.3	37.7	46.4	8.7	2.9

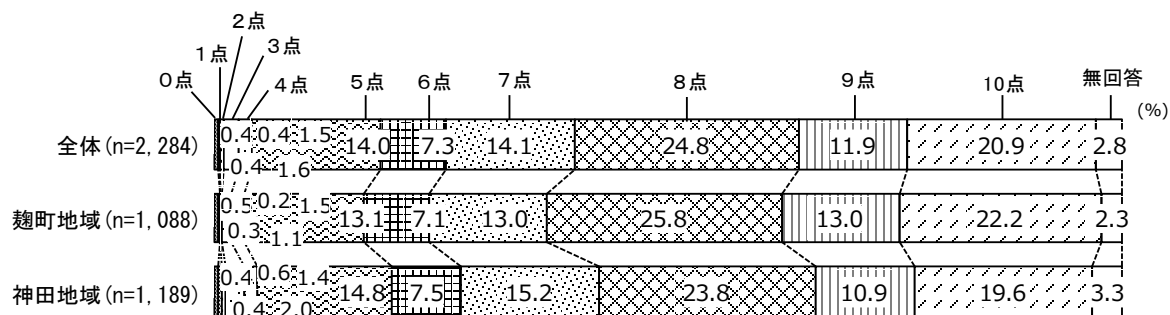
第2章 調査結果

(2) 幸福度 (問 57)

幸福度は、「8点」(24.8%) が最も多く、「10点」(20.9%)、「7点」(14.1%) と続いでおり、平均は7.6点となっている。

圏域別にみると、平均が麴町地域は7.7点、神田地域は7.5点となっている。

■ 幸福度



性別にみると、女性は「9点」(13.1%)、「10点」(22.8%) が男性に比べ多くなっており、平均が男性は7.4点、女性は7.7点となっている。

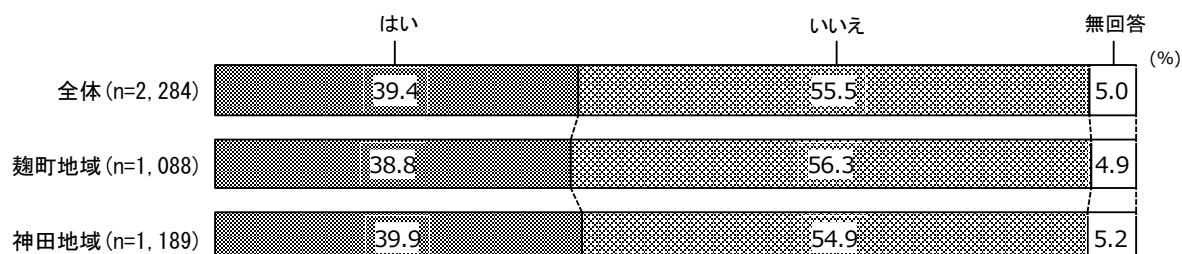
		(%)											
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	(n=2,284)	0.4	0.4	0.4	1.6	1.5	14.0	7.3	14.1	24.8	11.9	20.9	2.8
性別	男性 (n=921)	0.3	0.3	0.5	2.1	1.2	15.2	7.8	15.2	25.7	10.2	18.0	3.4
	女性 (n=1,356)	0.5	0.4	0.3	1.3	1.6	13.2	6.9	13.4	24.1	13.1	22.8	2.4
年齢	65～74歳 (n=1,209)	0.2	0.2	0.2	1.6	1.4	13.9	6.7	15.1	26.1	12.6	20.3	1.8
	75歳以上 (n=1,068)	0.7	0.6	0.7	1.6	1.5	14.1	8.0	13.0	23.2	11.1	21.5	3.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	0.4	0.3	0.2	1.4	1.4	13.6	7.2	13.9	25.1	12.3	21.3	2.8
	総合事業対象者 (n=24)	-	-	-	4.2	-	8.3	12.5	25.0	16.7	4.2	25.0	4.2
	要支援1 (n=139)	-	-	-	4.3	2.2	17.3	7.2	17.3	24.5	6.5	18.0	2.9
	要支援2 (n=69)	1.4	1.4	5.8	1.4	2.9	21.7	7.2	11.6	18.8	13.0	11.6	2.9

(3) 1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと（問58）

1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことは、「はい」が39.4%、「いいえ」が55.5%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 1か月間に気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたこと



性別にみると、男性は「いいえ」(58.8%)が女性に比べ多く、女性は「はい」(41.6%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「いいえ」(58.0%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「はい」(41.2%)が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると「はい」が一般高齢者は4割弱、要支援1は5割、要支援2は5割台半ばとなっている。

		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		39.4	55.5	5.0
性別	男性 (n=921)	36.0	58.8	5.1
	女性 (n=1,356)	41.6	53.4	5.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	37.7	58.0	4.3
	75歳以上 (n=1,068)	41.2	52.9	5.9
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	38.2	56.9	4.9
	総合事業対象者 (n=24)	29.2	66.7	4.2
	要支援1 (n=139)	50.4	42.4	7.2
	要支援2 (n=69)	55.1	40.6	4.3

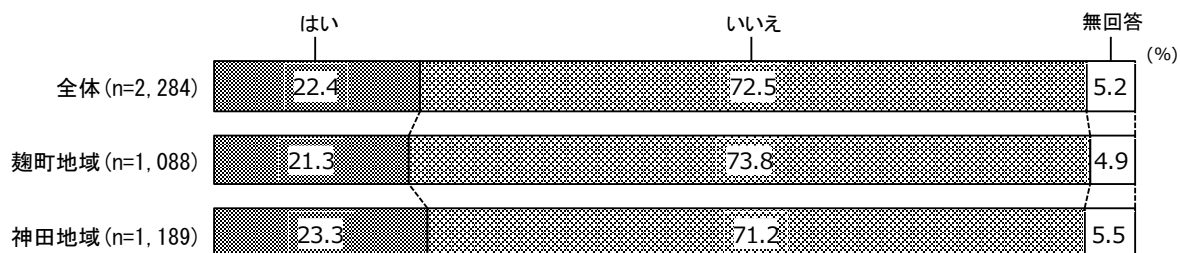
第2章 調査結果

(4) 1か月間に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと (問 59)

1か月間に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったことは、「はい」が22.4%、「いいえ」が72.5%となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 1か月間に物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめなかったこと



年齢別にみると、65～74歳は「いいえ」(76.8%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「はい」(26.2%)が65～74歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると「はい」が一般高齢者は2割、要支援1は4割、要支援2は3割台半ばとなっている。

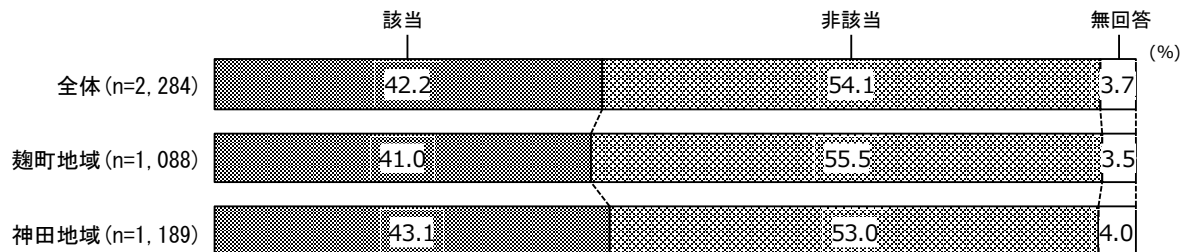
		(%)		
		はい	いいえ	無回答
全体 (n=2,284)		22.4	72.5	5.2
性別	男性 (n=921)	20.6	73.9	5.4
	女性 (n=1,356)	23.5	71.5	5.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	18.9	76.8	4.2
	75歳以上 (n=1,068)	26.2	67.5	6.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	20.7	74.2	5.1
	総合事業対象者 (n=24)	20.8	75.0	4.2
	要支援1 (n=139)	39.6	55.4	5.0
	要支援2 (n=69)	36.2	55.1	8.7

(5) うつ傾向にある高齢者

うつ傾向にある高齢者（問 58、問 59 で1つでも「はい」と回答した人）は 42.2% となっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ うつ傾向にある高齢者



性別にみると、男性は「非該当」(56.4%) が女性に比べ多く、女性は「該当」(43.7%) が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74 歳は「非該当」(57.1%) が 75 歳以上に比べ多く、75 歳以上は「該当」(44.9%) が 65～74 歳に比べ多くなっている。

認定状況別にみると、「該当」が一般高齢者は 4 割、要支援 1 と要支援 2 は 5 割台半ばとなっている。

		(%)		
		該当	非該当	無回答
全体 (n=2,284)		42.2	54.1	3.7
性別	男性 (n=921)	39.6	56.4	4.0
	女性 (n=1,356)	43.7	52.7	3.5
年齢	65～74歳 (n=1,209)	39.5	57.1	3.4
	75歳以上 (n=1,068)	44.9	50.9	4.1
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	40.7	55.6	3.7
	総合事業対象者 (n=24)	33.3	62.5	4.2
	要支援 1 (n=139)	56.8	39.6	3.6
	要支援 2 (n=69)	55.1	40.6	4.3

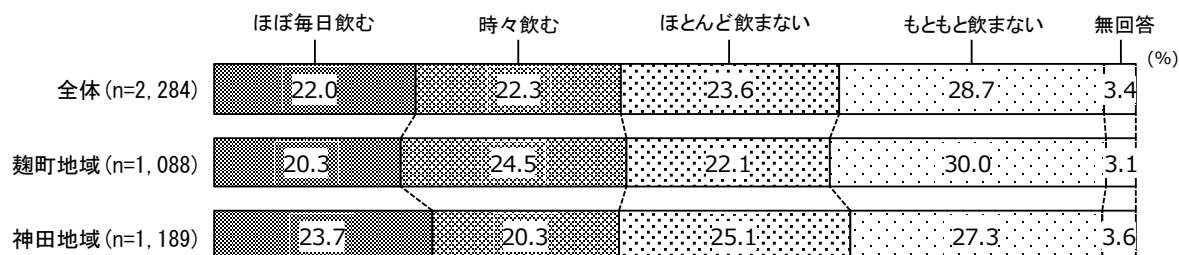
第2章 調査結果

(6) 飲酒の状況 (問 60)

飲酒の状況は、「もともと飲まない」(28.7%)が最も多く、「ほとんど飲まない」(23.6%)、「時々飲む」(22.3%)、「ほぼ毎日飲む」(22.0%)と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「時々飲む」(24.5%)が神田地域に比べ多く、神田地域は「ほぼ毎日飲む」(23.7%)、「ほとんど飲まない」(25.1%)が麴町地域に比べやや多くなっている。

■ 飲酒の状況



性別にみると、男性は「ほぼ毎日飲む」(39.0%)が女性に比べ多く、女性は「ほとんど飲まない」(28.2%)、「もともと飲まない」(36.7%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「ほぼ毎日飲む」(25.6%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「もともと飲まない」(33.5%)が65～74歳に比べ多くなっている。

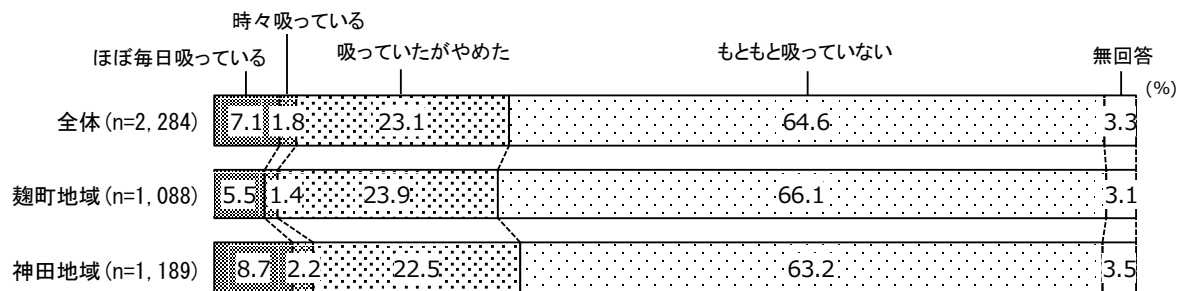
		(%)				
		ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体 (n=2,284)		22.0	22.3	23.6	28.7	3.4
性別	男性 (n=921)	39.0	23.6	16.9	16.7	3.8
	女性 (n=1,356)	10.6	21.5	28.2	36.7	3.1
年齢	65～74歳 (n=1,209)	25.6	24.6	22.7	24.2	2.8
	75歳以上 (n=1,068)	18.2	19.7	24.6	33.5	4.0
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	23.6	22.5	23.2	27.4	3.3
	総合事業対象者 (n=24)	8.3	12.5	50.0	29.2	-
	要支援1 (n=139)	8.6	22.3	23.0	40.3	5.8
	要支援2 (n=69)	10.1	18.8	27.5	40.6	2.9

(7) 喫煙の状況 (問 61)

喫煙の状況は、「もともと吸っていない」(64.6%) が最も多く、「吸っていたがやめた」(23.1%)、「ほぼ毎日吸っている」(7.1%) と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「もともと吸っていない」(66.1%) が神田地域に比べやや多く、神田地域は「ほぼ毎日吸っている」(8.7%) が麴町地域に比べやや多くなっている。

■ 喫煙の状況



性別にみると、男性は「ほぼ毎日吸っている」(12.9%)、「吸っていたがやめた」(44.8%) が女性に比べ多く、女性は「もともと吸っていない」(84.1%) が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74 歳は「ほぼ毎日吸っている」(9.8%) が 75 歳以上に比べ多く、75 歳以上は「もともと吸っていない」(67.2%) が 65～74 歳に比べ多くなっている。

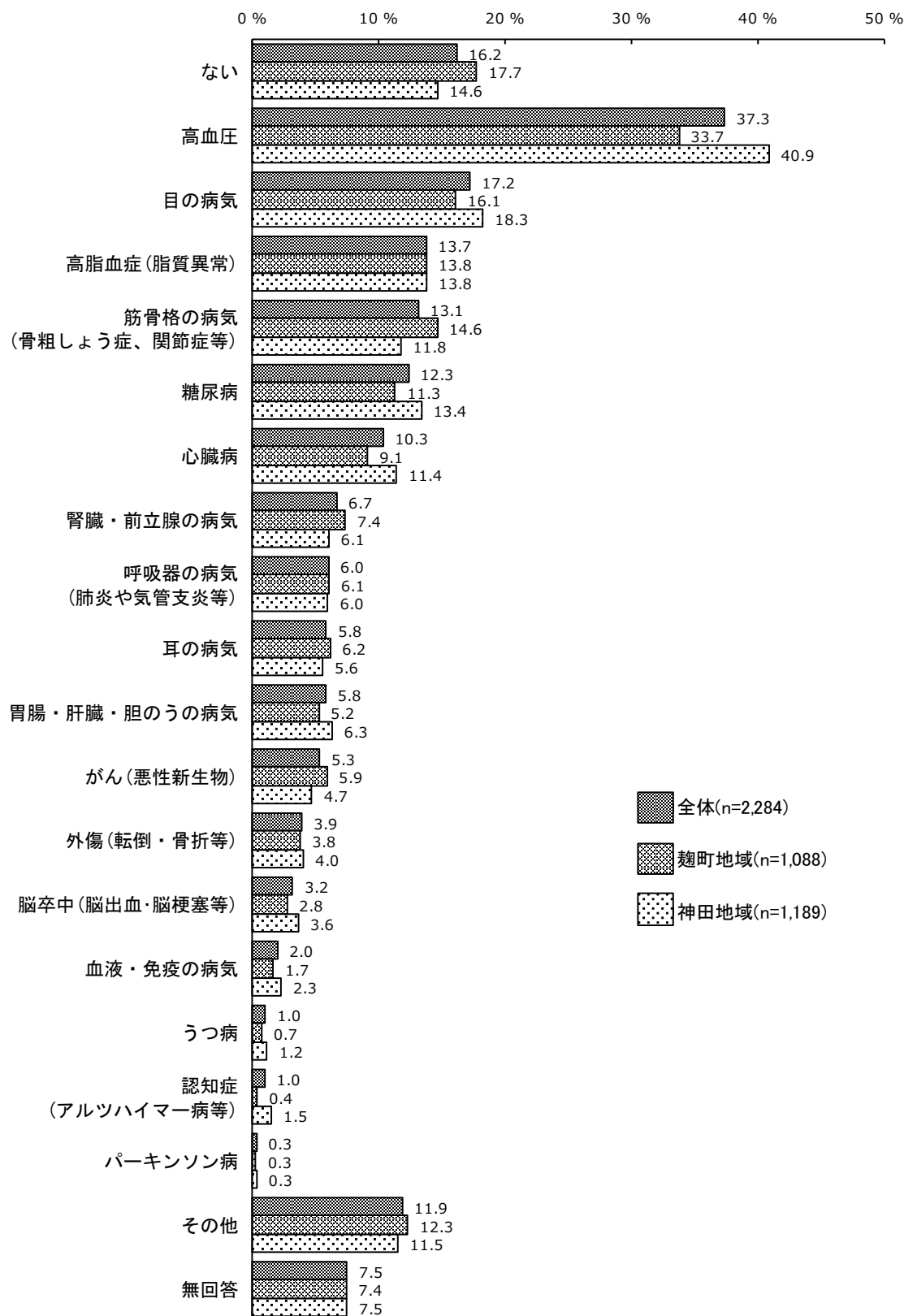
		(%)				
		ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体 (n=2, 284)		7. 1	1. 8	23. 1	64. 6	3. 3
性別	男性 (n=921)	12. 9	2. 5	44. 8	35. 8	3. 9
	女性 (n=1, 356)	3. 2	1. 3	8. 4	84. 1	2. 9
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	9. 8	2. 0	23. 3	62. 2	2. 7
	75歳以上 (n=1, 068)	4. 2	1. 6	22. 9	67. 2	4. 0
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	7. 7	1. 9	23. 7	63. 6	3. 2
	総合事業対象者 (n=24)	—	—	25. 0	75. 0	—
	要支援 1 (n=139)	0. 7	0. 7	19. 4	73. 4	5. 8
	要支援 2 (n=69)	7. 2	2. 9	14. 5	72. 5	2. 9

(8) 現在治療中または後遺症のある病気 (問 62)

現在治療中または後遺症のある病気は、「高血圧」(37.3%) が最も多く、「目の病気」(17.2%)、「ない」(16.2%) と続いている。

圏域別にみると、神田地域は「高血圧」(40.9%) が麴町地域に比べ多くなっている。

■現在治療中または後遺症のある病気 (複数回答)



性別にみると、男性は「高血圧」(41.5%)、「糖尿病」(18.1%)、「腎臓・前立腺の病気」(14.0%)、「心臓病」(13.8%)が女性に比べ多く、女性は「目の病気」(19.3%)、筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(18.4%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「ない」(21.3%)が75歳以上に比べ多く、75歳以上は「高血圧」(44.2%)、「目の病気」(21.0%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(18.0%)、「心臓病」(13.4%)が65～74歳に比べ多くなっている。

		(%)									
		ない	高血圧	目の病気	高脂血症（脂質異常）	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	糖尿病	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	耳の病気
全体（n=2, 284）		16.2	37.3	17.2	13.7	13.1	12.3	10.3	6.7	6.0	5.8
性別	男性（n=921）	14.4	41.5	14.1	11.9	5.3	18.1	13.8	14.0	5.9	5.3
	女性（n=1, 356）	17.3	34.7	19.3	15.0	18.4	8.5	8.0	1.7	6.1	6.2
年齢	65～74歳（n=1, 209）	21.3	31.5	13.9	15.0	8.9	12.0	7.6	5.3	4.1	3.6
	75歳以上（n=1, 068）	10.2	44.2	21.0	12.5	18.0	12.8	13.4	8.2	8.2	8.3
認定状況	一般高齢者（n=2, 045）	17.4	36.9	16.0	13.7	11.3	12.1	9.5	6.7	5.7	5.2
	総合事業対象者（n=24）	12.5	41.7	25.0	33.3	29.2	20.8	20.8	12.5	12.5	-
	要支援 1（n=139）	5.0	43.2	29.5	10.8	28.8	16.5	18.0	5.8	8.6	12.9
	要支援 2（n=69）	1.4	40.6	26.1	14.5	30.4	8.7	14.5	7.2	8.7	13.0

		胃腸・肝臓・胆のうの病気	がん（悪性新生物）	外傷（転倒・骨折等）	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	その他	無回答
全体（n=2, 284）		5.8	5.3	3.9	3.2	2.0	1.0	1.0	0.3	11.9	7.5
性別	男性（n=921）	4.6	6.2	2.0	4.9	1.5	0.8	1.2	0.4	9.8	8.4
	女性（n=1, 356）	6.6	4.6	5.2	2.1	2.3	1.1	0.8	0.2	13.3	6.9
年齢	65～74歳（n=1, 209）	5.5	5.0	2.9	2.7	2.4	0.7	0.1	0.3	11.4	7.5
	75歳以上（n=1, 068）	6.1	5.5	5.1	3.7	1.5	1.2	2.0	0.3	12.5	7.4
認定状況	一般高齢者（n=2, 045）	5.5	4.9	3.1	2.5	2.0	0.7	0.8	0.2	11.5	7.7
	総合事業対象者（n=24）	4.2	4.2	4.2	-	-	-	-	-	12.5	-
	要支援 1（n=139）	7.9	8.6	12.2	11.5	2.2	3.6	3.6	2.2	13.7	5.8
	要支援 2（n=69）	10.1	10.1	10.1	7.2	2.9	4.3	-	-	20.3	5.8

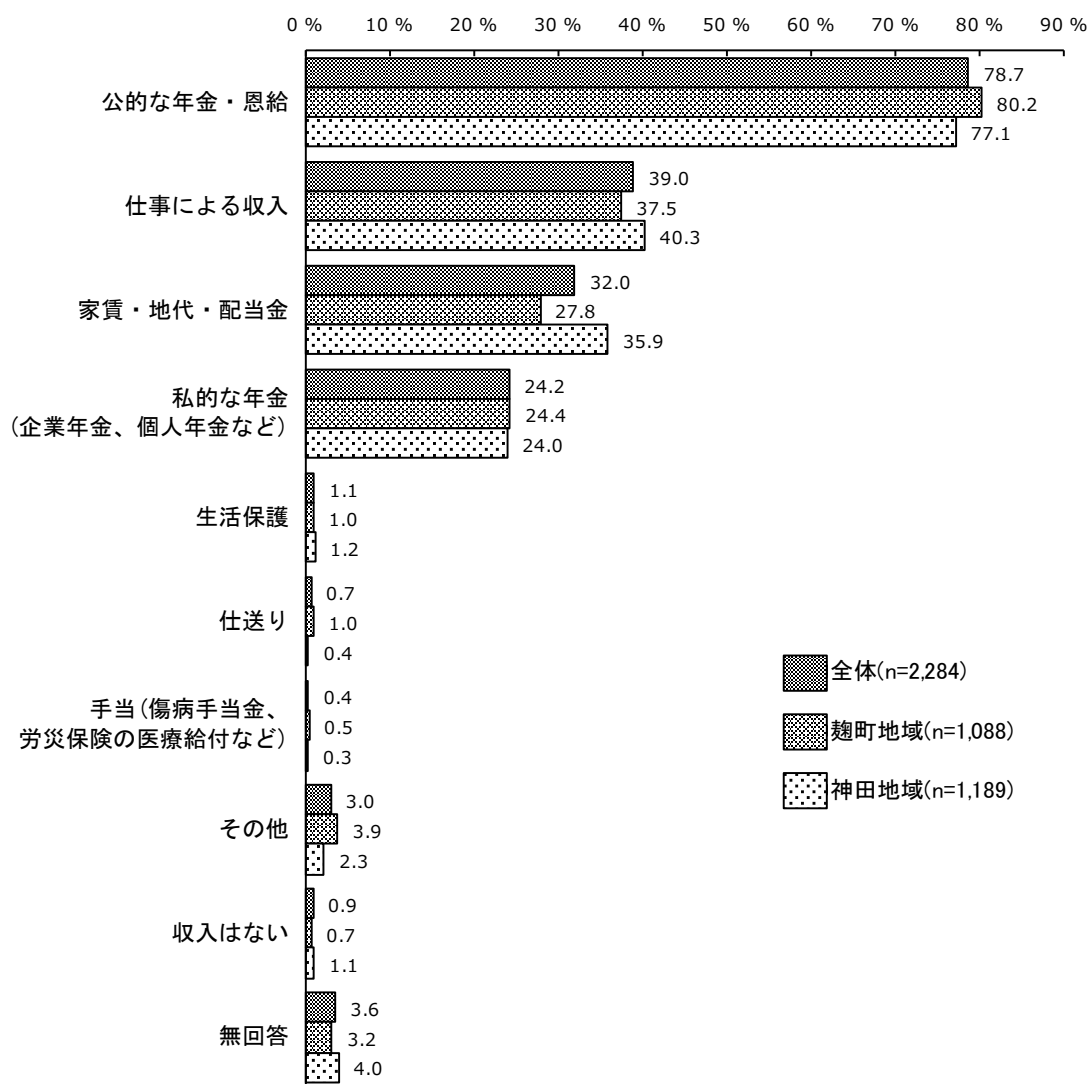
9. 経済状況について

(1) 平成28年中の収入の種類（問63）

平成28年中（1月～12月）の収入の種類は、「公的な年金・恩給」（78.7%）が最も多く、「仕事による収入」（39.0%）、「家賃・地代・配当金」（32.0%）と続いている。

圏域別にみると、神田地域は「家賃・地代・配当金」（35.9%）が麹町地域に比べ多くなっている。

■平成28年中の収入の種類（複数回答）



性別にみると、男性は「仕事による収入」(49.7%)、「家賃・地代・配当金」(36.7%)が女性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、「仕事による収入」が65～74歳は50.0%、75歳以上は26.5%となっている。

(%)

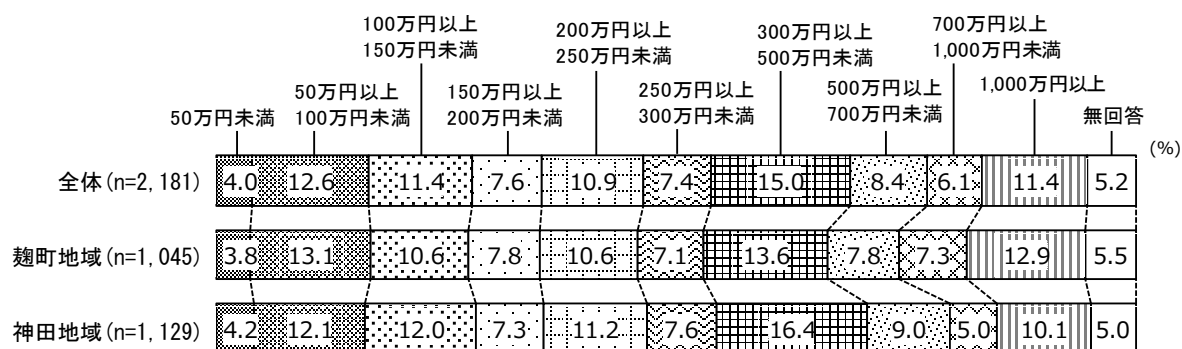
		公的な年金・恩給	仕事による収入	家賃・地代・配当金	私的な年金（企業年金、個人年金など）	生活保護	仕送り	手当（傷病手当金、医療給付など） 労災保険の	その他	収入はない	無回答
全体	(n=2,284)	78.7	39.0	32.0	24.2	1.1	0.7	0.4	3.0	0.9	3.6
性別	男性 (n=921)	77.6	49.7	36.7	26.4	1.4	0.2	0.4	2.3	0.4	4.8
	女性 (n=1,356)	79.3	31.6	28.9	22.6	0.9	1.0	0.4	3.5	1.3	2.8
年齢	65～74歳 (n=1,209)	78.5	50.0	31.4	26.4	1.2	0.5	0.3	3.5	1.0	2.7
	75歳以上 (n=1,068)	78.7	26.5	32.8	21.6	1.0	0.9	0.5	2.5	0.8	4.6
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	78.7	41.5	32.3	24.1	1.1	0.7	0.3	3.1	0.9	3.6
	総合事業対象者 (n=24)	87.5	12.5	41.7	33.3	—	—	—	—	—	—
	要支援1 (n=139)	77.7	16.5	29.5	24.5	1.4	—	1.4	3.6	0.7	3.6
	要支援2 (n=69)	73.9	18.8	26.1	23.2	—	1.4	—	1.4	1.4	4.3

(2) 個人の平成28年中の総収入(税込み)(問64)

個人の平成28年中(1月～12月)の総収入(税込み)は、「300万円以上500万円未満」(15.0%)が最も多く、「50万円以上100万円未満」(12.6%)、「100万円以上150万円未満」「1,000万円以上」(ともに11.4%)と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「1,000万円以上」(12.9%)が神田地域に比べやや多く、神田地域は「300万円以上500万円未満」(16.4%)が麴町地域に比べやや多くなっている。

■個人の平成28年中の総収入(税込み)



性別にみると、男性は「1,000万円以上」(19.9%)が女性に比べ多く、女性は「50万円以上100万円未満」(17.7%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「1,000万円以上」(14.1%)が75歳以上に比べ多くなっている。

(%)												
		50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上200万円未満	200万円以上250万円未満	250万円以上300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体 (n=2181)		4.0	12.6	11.4	7.6	10.9	7.4	15.0	8.4	6.1	11.4	5.2
性別	男性 (n=873)	1.1	5.0	7.6	5.0	9.5	7.7	18.9	12.4	8.8	19.9	4.0
	女性 (n=1301)	5.9	17.7	13.9	9.1	11.9	7.1	12.5	5.8	4.3	5.8	6.0
年齢	65～74歳 (n=1164)	3.7	11.4	10.9	7.3	11.4	7.4	15.4	8.4	6.4	14.1	3.5
	75歳以上 (n=1010)	4.4	14.0	11.9	7.7	10.4	7.3	14.7	8.4	5.7	8.4	7.1
認定状況	一般高齢者 (n=1952)	3.7	12.7	11.3	7.2	10.7	7.3	15.1	8.6	6.4	12.2	4.8
	総合事業対象者 (n=24)	4.2	12.5	16.7	4.2	20.8	20.8	8.3	-	4.2	4.2	4.2
	要支援1 (n=133)	6.8	9.8	10.5	12.8	13.5	6.8	17.3	6.0	3.8	4.5	8.3
	要支援2 (n=65)	7.7	15.4	13.8	7.7	10.8	4.6	10.8	10.8	3.1	4.6	10.8

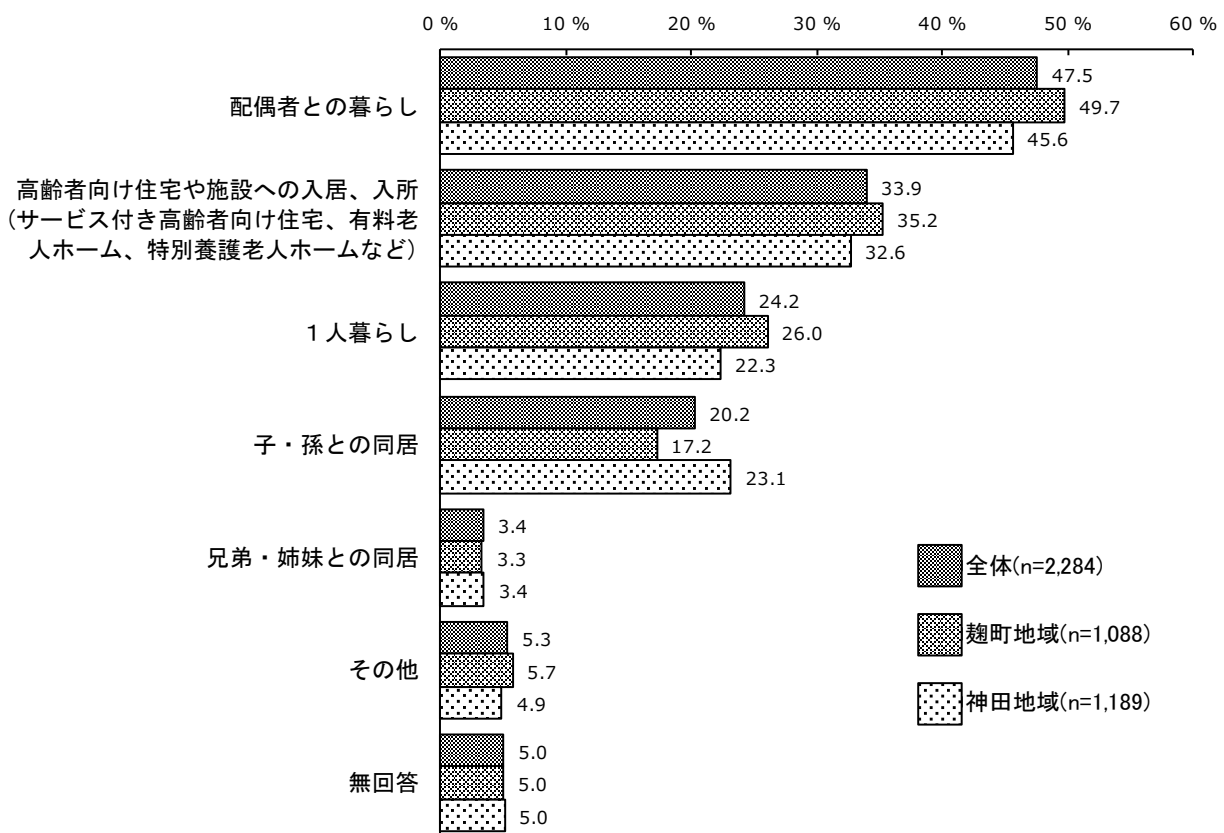
10. 将来の生活について

(1) 将来希望する暮らし（問 65）

将来希望する暮らしは、「配偶者との暮らし」（47.5%）が最も多く、「高齢者向け住宅や施設への入居、入所（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）」（33.9%）、「1人暮らし」（24.2%）と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「配偶者との暮らし」（49.7%）、「1人暮らし」（26.0%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「子・孫との同居」（23.1%）が麴町地域に比べ多くなっている。

■将来希望する暮らし（複数回答）



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「配偶者との暮らし」(67.2%)が女性に比べ多く、女性は「高齢者向け住宅や施設への入居、入所(サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど)」(38.2%)、「1人暮らし」(29.9%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「配偶者との暮らし」(55.2%)が75歳以上に比べ多くなっている。

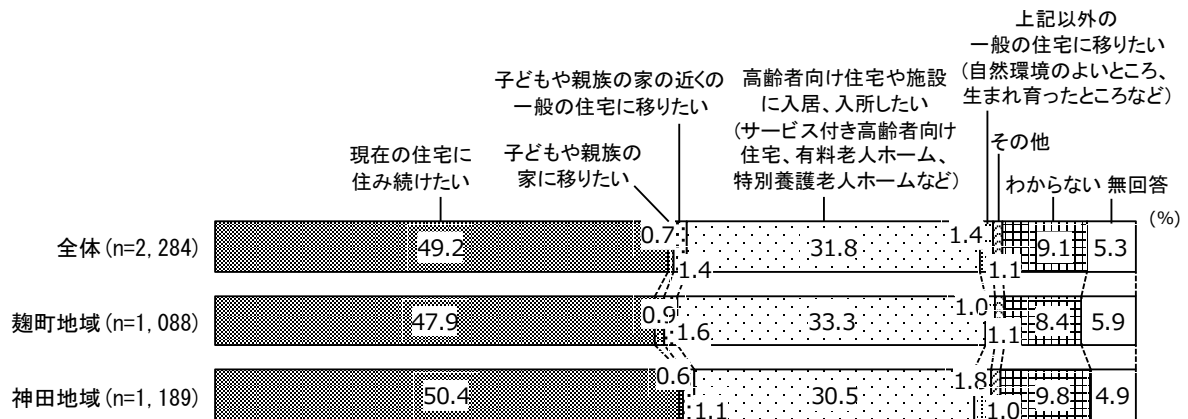
		(%)						
		配偶者との暮らし	高齢者向け住宅や施設への入居、入所（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）	1人暮らし	子・孫との同居	兄弟・姉妹との同居	その他	無回答
全体（n=2,284）		47.5	33.9	24.2	20.2	3.4	5.3	5.0
性別	男性（n=921）	67.2	27.5	15.4	17.2	1.3	2.6	5.1
	女性（n=1,356）	34.2	38.2	29.9	22.4	4.8	7.1	4.9
年齢	65～74歳（n=1,209）	55.2	33.2	24.0	18.8	4.3	4.6	3.5
	75歳以上（n=1,068）	39.0	34.6	24.2	22.0	2.3	6.0	6.7
認定状況	一般高齢者（n=2,045）	50.1	33.0	22.9	20.2	3.5	4.8	4.8
	総合事業対象者（n=24）	41.7	37.5	20.8	33.3	4.2	16.7	4.2
	要支援1（n=139）	21.6	44.6	36.0	20.1	2.2	7.2	6.5
	要支援2（n=69）	26.1	37.7	34.8	17.4	1.4	10.1	7.2

(2) 介護が必要になったときの住まいの希望（問 66）

介護が必要になったときの住まいの希望は、「現在の住宅に住み続けたい」（49.2％）が最も多く、次いで「高齢者向け住宅や施設に入居、入所したい（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）」（31.8％）が多くなっている。

圏域別にみると、全体とほぼ同様の傾向となっている。

■ 介護が必要になったときの住まいの希望



第2章 調査結果

性別にみると、男性は「現在の住宅に住み続けたい」(52.2%)が女性に比べ多く、女性は「高齢者向け住宅や施設に入居、入所したい(サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど)」(33.1%)が男性に比べやや多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「現在の住宅に住み続けたい」(51.3%)が65～74歳に比べ多くなっている。

		(%)								
		現在の住宅に住み続けたい	子どもや親族の家に移りたい	子どもや親族の家の近くの一般の住宅に移りたい	老人ホーム、特別養護老人ホームなど	高齢者向け住宅や施設に入居、入所したい(有料など)	上記以外の一般の住宅に移りたい(自然環境のよいところ、生まれ育ったところなど)	その他	わからない	無回答
全体 (n=2, 284)		49. 2	0. 7	1. 4	31. 8	1. 4	1. 1	9. 1	5. 3	
性別	男性 (n=921)	52. 2	0. 7	1. 5	30. 0	2. 0	1. 0	9. 1	3. 6	
	女性 (n=1, 356)	47. 1	0. 8	1. 2	33. 1	1. 0	1. 1	9. 1	6. 6	
年齢	65～74歳 (n=1, 209)	47. 3	0. 4	1. 7	33. 0	2. 0	1. 2	10. 5	3. 8	
	75歳以上 (n=1, 068)	51. 3	1. 1	0. 8	30. 5	0. 7	0. 8	7. 5	7. 1	
認定状況	一般高齢者 (n=2, 045)	49. 1	0. 8	1. 5	31. 5	1. 5	1. 1	9. 5	5. 0	
	総合事業対象者 (n=24)	50. 0	—	—	25. 0	—	—	8. 3	16. 7	
	要支援 1 (n=139)	46. 8	0. 7	—	36. 7	0. 7	0. 7	5. 8	8. 6	
	要支援 2 (n=69)	55. 1	—	—	33. 3	—	1. 4	4. 3	5. 8	

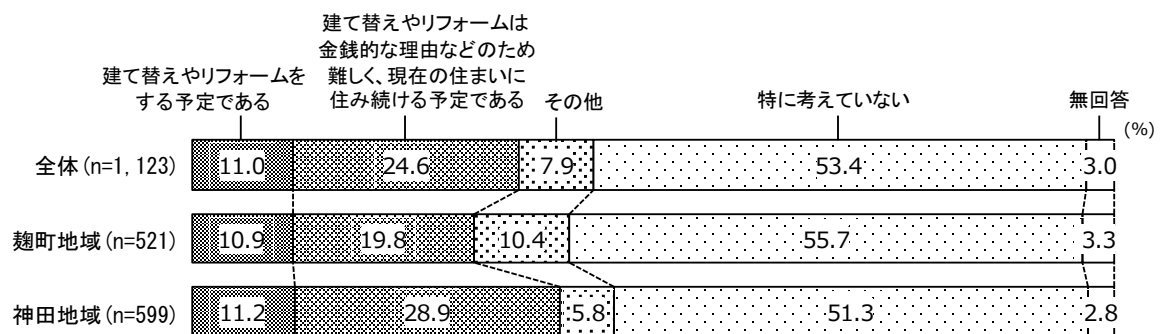
(3) 介護が必要になったときの建て替えやリフォームの予定 (問 66-1)

現在の住宅に住み続けたい人 (問 66 で「現在の住宅に住み続けたい」と回答した人) の介護が必要になったときの建て替えやリフォームの予定は、「特に考えていない」(53.4%) が最も多く、「建て替えやリフォームは金銭的な理由などのため難しく、現在の住まいに住み続ける予定である」(24.6%)、「建て替えやリフォームをする予定である」(11.0%) と続いている。

圏域別にみると、神田地域は「建て替えやリフォームは金銭的な理由などのため難しく、現在の住まいに住み続ける予定である」(28.9%) が麴町地域に比べ多くなっている。

■介護が必要になったときの建て替えやリフォームの予定

〈現在の住宅に住み続けたい人〉



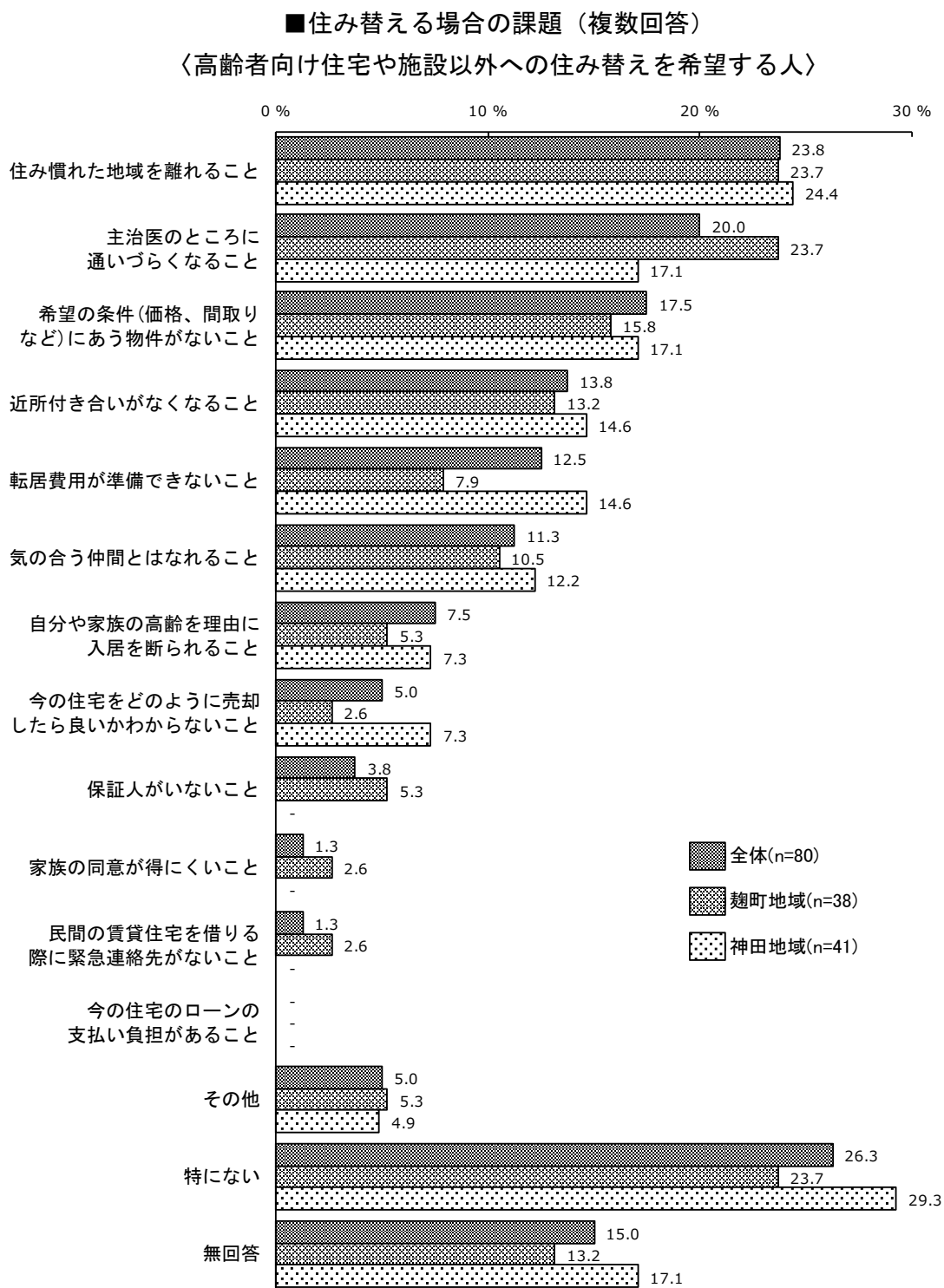
年齢別にみると、65～74 歳は「建て替えやリフォームをする予定である」(13.8%) が 75 歳以上に比べ多く、75 歳以上は「建て替えやリフォームは金銭的な理由などのため難しく、現在の住まいに住み続ける予定である」(28.5%) が 65～74 歳に比べ多くなっている。

		(%)					
		建て替える 予定である	住み続ける 予定である	金銭的な理由 などのため 難しい	その他	特に考えて いない	無 回 答
全体 (n=1123)		11.0	24.6	7.9	53.4	3.0	
性別	男性 (n=481)	15.6	25.4	5.0	51.1	2.9	
	女性 (n=639)	7.7	24.1	10.2	54.9	3.1	
年齢	65～74歳 (n=572)	13.8	21.0	7.3	55.6	2.3	
	75歳以上 (n=548)	8.2	28.5	8.6	50.9	3.8	
認定 状況	一般高齢者 (n=1005)	11.2	25.2	7.6	53.2	2.8	
	総合事業対象者 (n=12)	16.7	16.7	8.3	50.0	8.3	
	要支援 1 (n=65)	9.2	23.1	13.8	50.8	3.1	
	要支援 2 (n=38)	7.9	15.8	7.9	60.5	7.9	

(4) 住み替える場合の課題（問 66-2）

高齢者向け住宅や施設以外への住み替えを希望する人（問 66 で「子どもや親族の家に移りたい」「子どもや親族の家の近くの一般の住宅に移りたい」「上記以外の一般の住宅に移りたい」と回答した人）の住み替える場合の課題は、「特にない」（26.3%）が最も多く、「住み慣れた地域を離れること」（23.8%）、「主治医のところに通いづらくなること」（20.0%）と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「主治医のところに通いづらくなること」（23.7%）が神田地域に比べ多く、神田地域は「転居費用が準備できないこと」（14.6%）が麴町地域に比べ多くなっている。



性別にみると、男性は「近所付き合いがなくなること」(21.1%)が女性に比べ多く、女性は「希望の条件(価格、間取りなど)にあう物件がないこと」(22.0%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、75歳以上は「主治医のところに通いづらくなること」(34.5%)が65～74歳に比べ多くなっている。

		(%)							
		住み慣れた地域を離れること	主治医のところに通いづらくなること	希望の条件（価格、間取りなど）にあう物件がないこと	近所付き合いがなくなること	転居費用が準備できないこと	気の合う仲間とはなれること	自分や家族の高齢を理由に入居を断られること	今の住まいをどのように売却したら良いかわからないこと
全体（n=80）		23.8	20.0	17.5	13.8	12.5	11.3	7.5	5.0
性別	男性（n=38）	21.1	23.7	10.5	21.1	10.5	13.2	10.5	7.9
	女性（n=41）	26.8	17.1	22.0	7.3	12.2	9.8	2.4	2.4
年齢	65～74歳（n=50）	20.0	12.0	20.0	10.0	14.0	10.0	8.0	6.0
	75歳以上（n=29）	31.0	34.5	10.3	20.7	6.9	13.8	3.4	3.4
認定状況	一般高齢者（n=77）	23.4	19.5	16.9	11.7	11.7	9.1	6.5	3.9
	総合事業対象者（n=0）	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援 1（n=2）	50.0	50.0	-	100.0	-	100.0	-	50.0
	要支援 2（n=0）	-	-	-	-	-	-	-	-

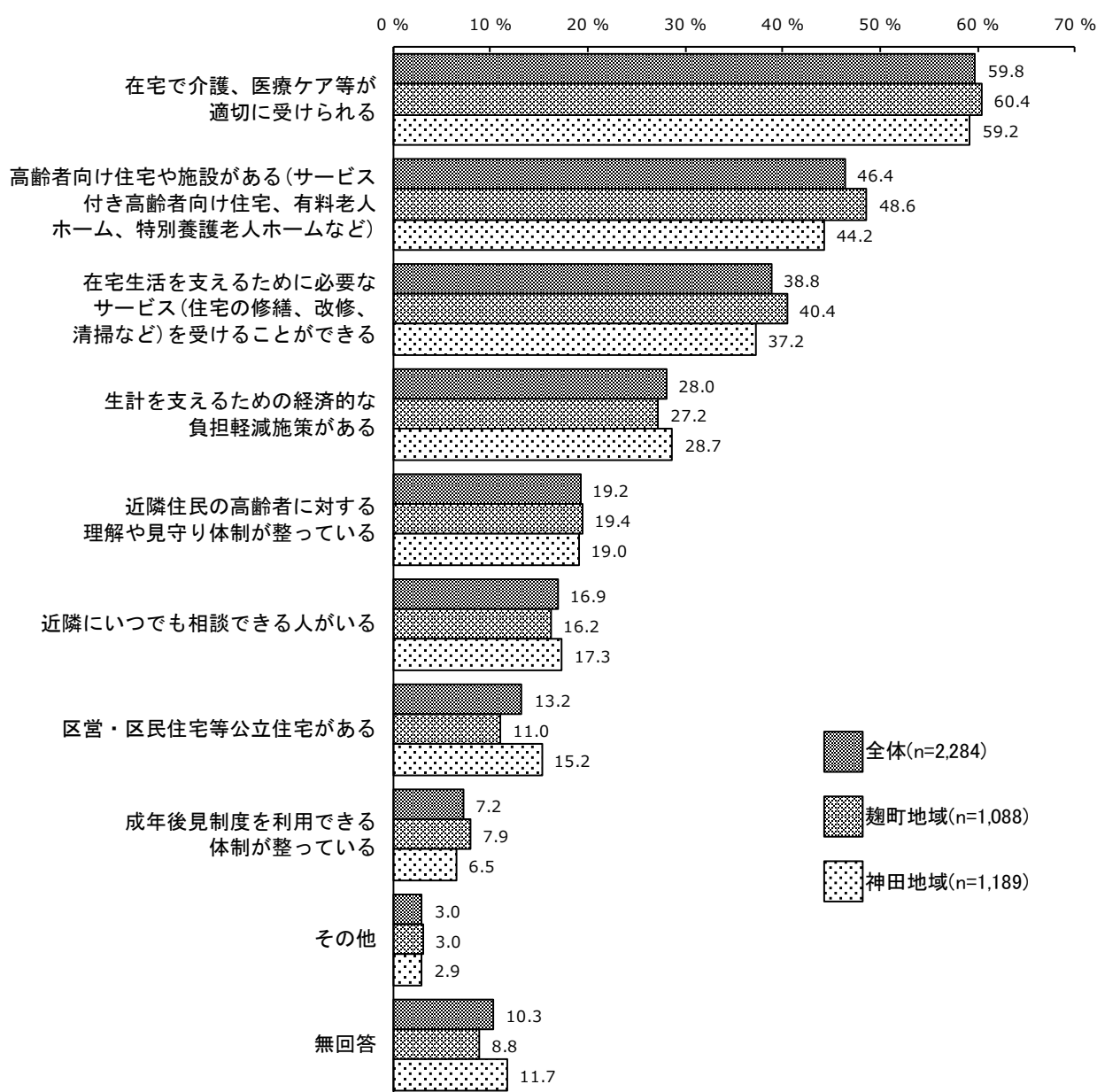
		保証人がいないこと	家族の同意が得にくいこと	民間の賃貸住宅を借りる際に緊急連絡先がないこと	今の住宅のローンの支払い負担があること	その他	特にない	無回答
全体（n=80）		3.8	1.3	1.3	-	5.0	26.3	15.0
性別	男性（n=38）	-	-	-	-	5.3	23.7	18.4
	女性（n=41）	4.9	2.4	2.4	-	4.9	29.3	12.2
年齢	65～74歳（n=50）	4.0	2.0	2.0	-	6.0	26.0	14.0
	75歳以上（n=29）	-	-	-	-	3.4	27.6	17.2
認定状況	一般高齢者（n=77）	2.6	1.3	1.3	-	5.2	27.3	15.6
	総合事業対象者（n=0）	-	-	-	-	-	-	-
	要支援 1（n=2）	-	-	-	-	-	-	-
	要支援 2（n=0）	-	-	-	-	-	-	-

(5) 安全に安心して生活していくために必要なこと（問 67）

安全に安心して生活していくために必要なことは、「在宅で介護、医療ケア等が適切に受けられる」(59.8%) が最も多く、「高齢者向け住宅や施設がある（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）」(46.4%)、「在宅生活を支えるために必要なサービス（住宅の修繕、改修、清掃など）を受けることができる」(38.8%)と続いている。

圏域別にみると、麴町地域は「高齢者向け住宅や施設がある（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど）」(48.6%) が神田地域に比べ多く、神田地域は「区営・区民住宅等公立住宅がある」(15.2%) が麴町地域に比べ多くなっている。

■安全に安心して生活していくために必要なこと（複数回答）



性別にみると、女性は「在宅生活を支えるために必要なサービス(住宅の修繕、改修、清掃など)を受けることができる」(41.5%)、「近隣住民の高齢者に対する理解や見守り体制が整っている」(21.3%)、「近隣にいつでも相談できる人がいる」(18.8%)が男性に比べ多くなっている。

年齢別にみると、65～74歳は「高齢者向け住宅や施設がある(サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど)」(50.2%)、「生計を支えるための経済的な負担軽減施策がある」(32.9%)が75歳以上に比べ多くなっている。

		(%)				
		適在宅 切に介 受けら れる	特ける 別住宅 養(サ 護宅ー 老有 人料 ホ老 ー人 ムホ なム ど)	ける 繕、改 修、清 掃な ど	な生 負計 担を 支え るた めの 経済 的	い理 解近 や隣 見住 守民 の 高 齢 者 に 対 す て る
全体	(n=2,284)	59.8	46.4	38.8	28.0	19.2
性別	男性 (n=921)	60.3	44.4	34.6	26.0	16.1
	女性 (n=1,356)	59.4	47.6	41.5	29.4	21.3
年齢	65～74歳 (n=1,209)	60.6	50.2	41.0	32.9	19.9
	75歳以上 (n=1,068)	58.8	41.9	36.1	22.4	18.4
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	59.9	46.5	39.1	28.8	18.6
	総合事業対象者 (n=24)	45.8	45.8	41.7	29.2	29.2
	要支援1 (n=139)	58.3	43.9	33.8	20.9	25.2
	要支援2 (n=69)	65.2	47.8	36.2	17.4	21.7

		人近 が隣 いる いつ でも 相談 でき る	が区 ある 営・ 区 民 住 宅 等 公 立 住 宅	体制 成年 後見 制度 を利 用で きる	そ の 他	無 回 答
全体	(n=2,284)	16.9	13.2	7.2	3.0	10.3
性別	男性 (n=921)	13.8	12.8	6.7	3.4	10.9
	女性 (n=1,356)	18.8	13.5	7.4	2.7	10.0
年齢	65～74歳 (n=1,209)	17.0	14.1	7.9	3.2	8.6
	75歳以上 (n=1,068)	16.6	12.3	6.4	2.7	12.3
認定状況	一般高齢者 (n=2,045)	16.8	13.4	7.2	2.9	9.9
	総合事業対象者 (n=24)	25.0	8.3	16.7	8.3	29.2
	要支援1 (n=139)	16.5	15.1	5.8	2.2	12.9
	要支援2 (n=69)	13.0	5.8	5.8	4.3	11.6

資料（調査票）

千代田区高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 策定のためのアンケート調査 ご協力をお願い

区民の皆さまには日ごろから区政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

千代田区では、「千代田区高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」を平成29年度に策定するにあたり、皆さまのご意見等をお聞きするためのアンケート調査を実施することにいたしました。

この調査は、厚生労働省の介護予防・日常生活圏域二ーズ調査手法により、千代田区にお住まいの要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の方の中から、無作為に4,000人（麹町地域及び神田地域にて各2,000人）を選ばせていただき、介護予防の観点から日常生活の状況や健康行動についておうかがいするものです。

調査結果は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために使用させていただきます。本調査の集計・分析を行うにあたり、必要に応じて厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録することがありますので、予めご了承ください。なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。本調査で得られた情報については、千代田区個人情報保護条例に則り、適切に管理いたします。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成29年2月

千代田区

記入についてのお願い

1. 調査票上の「あなた」とは、封筒のあて名ご本人を指します。
2. 回答にあたっては、該当するものの番号を○で囲むもの、具体的に記入いただくものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
3. 回答はできる限り、封筒のあて名ご本人がご記入ください。なお、ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族の方などが、ご本人の意見を聞いた上で代わりにご記入ください。

★封筒のあて名ご本人が何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

1. 医療機関入院中 2. 福祉施設入所中 3. 転居 4. その他〔 〕

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

2月16日（木）までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】千代田区 保健福祉部 高齢介護課 電話 03（5211）4219（直通）

基本情報について

問1 調査票の記入日をご記入ください。

記入日	平成29年	月	日	
-----	-------	---	---	--

問2 調査票を記入されたのはどなたですか。(1つに○)

1. あて名のご本人が記入
 2. ご家族が記入〔あて名のご本人からみた続柄〕
 3. その他

あなたのご家族や生活状況について

問3 家族構成をお教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

1. 介護・介助は必要ない ⇒問5へ
 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒問4-1、2へ
 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒問4-1、2へ
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問4-1 問4において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも○)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 3. がん(悪性新生物) 5. 関節の病気(リウマチ等) 7. パーキンソン病 9. 腎疾患(透析) 11. 骨折・転倒 13. 高齢による衰弱 15. 不明	2. 心臓病 4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等) 6. 認知症(アルツハイマー病等) 8. 糖尿病 10. 視覚・聴覚障害 12. 脊椎損傷 14. その他〔
--	--

問4-2 問4において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも○)

1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他〔	〕

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つに○)

1. 持家(一戸建て) ⇒問7へ	2. 持家(集合住宅) ⇒問7へ
3. こうえいちんだいじゅうたく 公営 賃貸 住宅 ⇒問7へ	4. みんかんちんだいじゅうたく 民間 賃貸 住宅 (一戸建て) ⇒問6-1へ
5. みんかんちんだいじゅうたく 民間 賃貸 住宅 (集合住宅) ⇒問6-1へ	6. 借家 ⇒問6-1へ
7. その他 ⇒問7へ	

問6-1 問6で「4. みんかんちんだいじゅうたく 民間 賃貸 住宅 (一戸建て)」「5. みんかんちんだいじゅうたく 民間 賃貸 住宅 (集合住宅)」
「6. 借家」の方のみ
どのような居住支援が必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 保証人サービス
2. 住まいと生活の相談サービス(訪問相談・契約時の同行支援)
3. 良質で廉価な不動産情報の提供・紹介
4. 見守り・安否確認サービスの提供
5. 家財等の粗大ごみの片づけサービス
6. その他〔
〕

問7 現在、住まいのことでお困りごとがありますか。(1つに○)

1. はい ⇒問7-1へ	2. いいえ ⇒問8へ
--------------	-------------

問7-1 問7で「1. はい」(困りごとがある)の方のみ
具体的に困っていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 家賃が高い
2. 部屋が狭い、広いなど生活実態に合わない
3. エレベーターがなく、外出が困難
4. トイレや風呂に段差があり、移動が困難
5. 見守りや安否確認サービスがないため、緊急時が不安である
6. 保証人が見つからず、転居ができない
7. 子ども・高齢者は不可など、契約条件が合わず、転居ができない
8. その他〔 〕

からだを動かすことについて

問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 10 15 分位続けて歩いていますか。(1 つに○)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問 11 過去 1 年間に転んだ経験がありますか。(1 つに○)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

問 12 転倒に対する不安は大きいですか。(1 つに○)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

問 13 週に 1 回以上は外出していますか。(1 つに○)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

問 15 外出を控えていますか。(1つに○)

1. はい ⇒問 15-1へ 2. いいえ ⇒問 16へ

問 15-1 問 15で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ

外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 病気 | 2. 障害(脳卒中の後遺症など)
<small>しょうがい のうそっちゅう こういしょう</small> |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他〔 〕 |

問 16 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 |
| 3. バイク | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス |
| 9. 車いす | 10. 電動車いす(カート) |
| 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他〔 〕 | |

食べることについて

問 17 身長・体重をお答えください。

身長 cm

体重 kg

問 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 19 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 20 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 21 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 22 噛み合わせは良いですか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 23 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(1つに○)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 ⇒問23-1へ

2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし ⇒問24へ

3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 ⇒問23-1へ

4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし ⇒問24へ

問 23-1 問 23 で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 24 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 25 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

1. 毎日ある

2. 週に何度かある

3. 月に何度かある

4. 年に何度かある

5. ほとんどない

毎日の生活について

問 26 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 27 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 28 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 29 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 30 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 31 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 32 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 33 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

問 34 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 35 新聞を読んでいますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 36 本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 37 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 38 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 39 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 40 病人を見舞うことができますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 41 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問 42 趣味はありますか。(1つに○)

1. 趣味あり

2. 思いつかない

問 43 生きがいがありますか。(1つに○)

1. 生きがいあり

2. 思いつかない

地域での活動について

問 44 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑦それぞれに回答してください。（それぞれ1つに○）

	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤老人クラブ（長寿会）	1	2	3	4	5	6
⑥町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 45 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

問 46 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい | 3. 参加したくない |
|------------|------------|------------|

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問 47 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも○）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他〔 | 〕 | 8. そのような人はいない |

問 48 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。

（いくつでも○）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他〔 | 〕 | 8. そのような人はいない |

問 49 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

（いくつでも○）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他〔 | 〕 | 8. そのような人はいない |

問 50 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（いくつでも○）

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他〔 | 〕 | 8. そのような人はいない |

問 51 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。

（いくつでも○）

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 町会・自治会・老人クラブ（長寿会） | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 高齢者あんしんセンター・役所・出張所 | 6. その他〔 |
| 7. そのような人はいない | 〕 |

問 52 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つに○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問 53 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人(いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

問 54 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

- | | | |
|--------------------------------|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他〔 〕 | 8. いない | |

問 55 あなたが、昼間の災害時または急病時に手助けを頼める人は誰ですか。
(いくつでも○)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 同居の家族・親族 | 2. 近所に住んでいる家族・親族 |
| 3. 近所に住んでいる友人・知人 | 4. 近所にあるお店や会社の人 |
| 5. 町会・自治会の役員 | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. 集合住宅の管理人 | 8. 民間警備会社(見守りサービス) |
| 9. その他〔 〕 | 10. 頼める人はいない |

健康について

問 56 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

問 57 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

(1つに○)

とても 不幸										とても 幸せ	
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

問 58 この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1 つに○)

1. はい

2. いいえ

問 59 この 1 か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1 つに○)

1. はい

2. いいえ

問 60 お酒は飲みますか。(1 つに○)

1. ほぼ毎日飲む

2. 時々飲む

3. ほとんど飲まない

4. もともと飲まない

問 61 タバコは吸っていますか。(1 つに○)

1. ほぼ毎日吸っている

2. 時々吸っている

3. 吸っていたがやめた

4. もともと吸っていない

問 62 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

1. ない

2. 高血圧

3. 脳 卒中 (脳出血・脳 梗塞 等)
のうそうちゅう のうしゅっけつ のうこうそく

4. 心臓病

5. 糖 尿 病
とうようびょう

6. 高脂 血症 (脂質 異常)
こうしけつしょう ししついじょう

7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)

8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気

9. 腎臓・前立腺 の病気
じんぞう ぜんりつせん

10. 筋 骨 格 の病気 (骨 粗 しょう 症、関節症等)
きんこつかく こつ そ しょう

11. 外 傷 (転倒・骨折 等)
がいしょう てんとう こっせつ

12. がん (悪性新生物)

13. 血液・免疫 の病気
めんえき

14. うつ病

15. 認知症 (アルツハイマー病等)
にんちしょう

16. パーキンソン病

17. 目の病気

18. 耳の病気

19. その他〔 〕

経済状況について

問 63 あなたの平成 28 年中（1 月～12 月）の収入の種類は、どのようなものですか。
（いくつでも○）

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1. 公的な年金・恩給 | 2. 私的な年金（企業年金、個人年金など） |
| 3. 仕事による収入 | 4. 家賃・地代・配当金 |
| 5. 仕送り | 6. 手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など） |
| 7. 生活保護 | 8. その他〔 |
| 9. 収入はない | 〕 |

問 64 あなた個人の平成 28 年中（1 月～12 月）の総収入（税込み）はおよそいくらでしたか。（1 つに○）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 50 万円未満 | 2. 50 万円以上 100 万円未満 |
| 3. 100 万円以上 150 万円未満 | 4. 150 万円以上 200 万円未満 |
| 5. 200 万円以上 250 万円未満 | 6. 250 万円以上 300 万円未満 |
| 7. 300 万円以上 500 万円未満 | 8. 500 万円以上 700 万円未満 |
| 9. 700 万円以上 1,000 万円未満 | 10. 1,000 万円以上 |

将来の生活について

問 65 あなたは将来どのような暮らしをしたいと考えていますか。(いくつでも○)

- | | |
|---|--------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 配偶者との暮らし |
| 3. 子・孫との同居 | 4. 兄弟・姉妹との同居 |
| 5. 高齢者向け住宅や施設への入居、入所（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど） | |
| 6. その他〔 〕 | |

問 66 あなたは、介護が必要になったときの住まいについて、どのようにしたいと思いますか。（1つに○）

- | |
|---|
| 1. 現在の住宅に住み続けたい ⇒問66-1へ |
| 2. 子どもや親族の家に移りたい ⇒問66-2へ |
| 3. 子どもや親族の家の近くの一般の住宅に移りたい ⇒問66-2へ |
| 4. 高齢者向け住宅や施設に入居、入所したい（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホームなど） ⇒問67へ |
| 5. 上記2、3、4以外の一般の住宅に移りたい ⇒問66-2へ
（自然環境のよいところ、生まれ育ったところなど） |
| 6. その他〔 〕 ⇒問67へ |
| 7. わからない ⇒問67へ |

問 66-1 問66で「1. 現在の住宅に住み続けたい」と答えた方のみ

あなたは、介護が必要になったときに、現在のお住まいの建て替えや、リフォームを行う予定はありますか。（1つに○）

- | |
|--|
| 1. 建て替えやリフォームをする予定である |
| 2. 建て替えやリフォームは金銭的な理由などのため難しく、現在の住まいに住み続ける予定である |
| 3. その他〔 〕 |
| 4. 特に考えていない |

問 66-2 問66で「2. 子どもや親族の家に移りたい」「3. 子どもや親族の家の近くの一般の住宅に移りたい」「5. 上記2、3、4以外の一般の住宅に移りたい」と答えた方のみ

あなたが、住み替えをしたら、課題となることは何ですか。
（いくつでも○）

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 転居費用が準備できないこと | |
| 2. 保証人がいないこと | |
| 3. 今の住宅をどのように売却したら良いかわからないこと | |
| 4. 今の住宅のローンの支払い負担があること | |
| 5. 自分や家族の高齢を理由に入居を断られること | |
| 6. 家族の同意が得にくいこと | |
| 7. 希望の条件（価格、間取りなど）にあう物件がないこと | |
| 8. 民間の賃貸住宅を借りる際に緊急連絡先がないこと | |
| 9. 住み慣れた地域を離れること | 10. 近所付き合いがなくなること |
| 11. 気の合う仲間とはなれること | 12. 主治医のところに通いづらくなること |
| 13. その他〔 〕 | |
| 14. 特にない | |

